# 新座市の地域福祉に関するアンケート
# 調査に係る記入回答

新　座　市
社会福祉法人　新座市社会福祉協議会

# ― 目 次―


第１章　市民意識調査 1

1-1　地域で気がかりなことの具体的な内容（問 23-1） 2
1-2　巻末自由記入 5

第２章　地域福祉担い手調査 15

2-1　地域で気がかりなこと（問 3） 16
2-2　感染拡大による影響（問 4-1） 27
2-3　地域活動はどのように変わるべきか（問 5） 35
2-4　必要だと思う拠点の機能（問 7-1） 42
2-5　地域福祉推進協議会ができたことによって特に進んだと思うこと（問 12-3） 46
2-6　地域福祉推進協議会の課題（問 12-4） 49
2-7　地域福祉推進協議会が今後力を入れるべきこと（問 13） 53
2-8　巻末自由記入 57

第３章　組織のあり方に関する調査 71

3-1　地域福祉推進協議会と協議体のあり方の理由（問 3） 72
3-2　その他地域福祉推進協議会と協議体の活動に関する意見 78

第４章　社会福祉事業者調査 85

4-1　巻末自由記入 86


※　本書は、令和３年１１月に実施した新座市の地域福祉に関するアンケート調査における記入回答を取りまとめたものです。
　なお、記入回答については、個人や団体の特定、差別の助長、他人の権利の侵害等につながるおそれがあるものを除き、記入された御意見を原文のまま記載しています。

# 第１章
# 市民意識調査

# 1-1　地域で気がかりなことの具体的な内容（問 23-1）

問２３-１　問２３で回答した気がかりなことについて、具体的なことがあれば記入してください。

## （1）防犯に関すること（19 件）

○駅前のため、深夜の音・生活音
○隣の人が怖い。
○犯人とかを素早く捕まえてほしい。
○青パト等の人たちが、自分が警察官になったかの様な態度をとる。
○生活マナー、モラル低下、犯罪数増加
○家の前は袋小路になっているが、時々見知らぬ方が入ってくる。
○休日や平日の昼間、市役所関係以外の人が他人の家を調査している。警察（交番）に話してもなかなか理解されないとのこと。一見するとビジネスマンに見えるが、怪しい人がいる。2020 年以降特にあります。
○町会を脱会したと同時に街灯を取り外されてしまい真っ暗になり、防犯の面で不安を感じている。取り外すことを一言行ってほしかった。脱会した人たちで費用を出し合う予定にしてたので、今も不満・不安を感じている。
○防犯対策で街灯をもっとつけてほしい。
○夜近所の公園で遊んでいる人がいてとても怖い。あと夜遅くに中学生が家の前で話していてとても嫌。
○街灯が少ないのでもっと増やしてほしい。
○2021 年に引越しをしました。隣の世帯が引越し日から現在まで道路の専有を続けてこられ、警察や自治会のお世話になっております。今なお嫌がらせが続いており、犯罪防止にしっかり努められる地域にしたいです。
○駅周辺に深夜から朝方まで営業している店が増えた。
○クラブ等飲食店の人が夜遅く外で騒ぐことがある。
○宣言解除の途端に酔った 20～30 歳の男が前の道路で熱唱しながら１軒１軒徘徊し、挙句お縄になっていた。怖かった（23：50 頃）。
○大音量で音楽を流しながら走る車が通ることがある。バイクをふかしながら走る。
○助け合いという名の犯罪で利用されたりしないか？　ボランティアとだましの区別が高齢者にできるのか？
○自転車・バイクの盗難にあいましたので…。
○住宅内の道路街灯（明るい）や防犯カメラの設置をお願いしたい。

## （2）ごみの減量など生活環境に関すること（15 件）

○ごみの有料化。
○ごみ処理場を作るべき。
○ごみ当番が困難な人が多くなってきているので、個別のごみ回収にしてほしい。
○家の周りにタバコのポイ捨て、ごみのポイ捨てをかなりの頻度でされる。
○ごみの戸別収集ができるようになってほしい。ごみ当番はデメリットしかない。減量するためにも！！
○ごみのポイ捨てを見かける。
○ごみのマナーがよくない。
○近所が皆様高齢者世帯が多くなり、ごみの収集など当番制を決めても、担当輪番が困難になっていく世帯が増加する心配あり。一軒ごとの個別収集に変更した方が良いのではと思ったりしている。
○ごみ当番の廃止希望。共働きのため。
○ごみの出し方がわからない、または間違っていることが多い。
○ごみ集積所のカラス被害
○町内会に入っていないごみ集積所にもアルミ缶回収袋を置いていく（回収の分別が変わったのかと思わせる。）。しかもその袋に「アルミ缶以外入れちゃダメヨ！」とだけ書いてあり、町内会の文字がなくとても不信感がある。ほかの町内会でも同じように回収袋を置いたのを見たが、町内会の名前を入れてある。詐欺かと思った。
○高齢者が増加することによってごみ当番の回覧が負担（少人数の）になってくることについて…。
○運転中に畑の中にごみとなるものを捨てていく！！
○地域の集積所等の掃除当番等高齢者が多くなり、若い人たちの負担が気になります。

### （3）子どもを育てる環境に関すること（12 件）

○今はわかりませんが、自分が中学の頃いじめがあったので、環境の改善が行われてほしい。
○保育園の入園がしづらいため、入れるような環境にしてほしい。
○保育園に入れない一時保育も全く利用できなかった（空きがないとのことで。）。
○養育費や子育て。
○子どもが発達障がいなので、障がい枠でサポートを受けながら働ける会社を作ってほしいです。
○今年子どもが産まれました。保育園に入園するにあたり園見学に行くと新座市の保育士不足が深刻だと思い不安になりました（０歳の枠を減らしているところがほとんどでした。）。
○子どもはこれからの新座を背負っていくので、良い環境を整えたい。
○子どもの泣き声がひどい。
○子どもを育てる上で、やれうるさい危ないと厄介扱いする人が増えて辟易している。
○コロナ禍もあり、子どもたちが遊ぶ場所がない。公園に行くと他の人に怒られたりすると…。
○小さな子が激しく泣いている声が聞こえたりする。
○こども医療費の削減や、介護負担率の増加。

### （4）生活困窮者の住まいや就労支援に関すること（９件）

○生活困窮者支援について、コロナ禍になり、そのような人が日本中で増えたため、そういった支援がより一層必要になると感じたからです。
○ヤングケアラーや貧困による学生の教育費への支援。
○生活に困っている方々への支援をきちんとやってほしい。
○年齢から仕事が見つかりにくいです。
○住む所、日中活動する所が不足。
○以前、生活困窮で困って、市へ相談に行った時、支援できないといわれたことがありました。
○義兄に障がいがあり義両親も他界しているため、今後の生活が不安です（姉が気にしていますが…）。仕事・家事・子育てに追われる中、対応が難しい状況です。
○家が古い、壊れそう、お金がない。
○コロナなどで無職になっても誰も助けてくれない！！

### （5）高齢者の生活支援に関すること（７件）

○単身高齢者が多いので、孤独死や火事の心配
○高齢のため足腰が不調のため、いざ災害となった場合はどうすればよいか心配です。
○祖母の支援が足りておらず、母が苦労している。施設料金が高い。
○自分の両親をはじめ、ご近所さんはほとんど高齢者です。高齢者どうしで支え合うなど無理。自分も仕事があるので、支えてあげる時間もお金もない。
○高齢者の中には、人に迷惑をかけたくないという思いの強い人がおられるので、どの様に手助けできるのかがわからない。
○認知症に対して偏見がある。母は日中デイ・ケアで過ごしています。私（娘）は別居ですが、朝晩通いで世話をしています。母ができないごみ当番他…を近所の人は私に要求する。→やっています。町会は辞めましたが負担は続いています。
○ひとり暮らしの高齢者の方が無事でいるかどうか心配です（知人）。

### （6）近所付き合いに関すること（6 件）

○自らの将来、地域とどのように関わればよいのか？
○周りが畑や駐車場のため、隣近所との交流がなく地域福祉の状況は全くわからない。
○道で会ったとき、挨拶しても無視する等。
○新しく転居された方がどんな方がいるのかわからない。
○コミュニケーションが上手くできない人は、近所付合いができない。
○転居して来てからも仕事に追われ、地域交流、近所付合いが少ないし、新座市の中心から遠く市民の活動に参加しにくい。

### （7）自然環境や歴史・文化の保護に関すること（５件）

○新座市は雑木林が有名だが、近年住宅地などが増えて林が減少している。
○森の美化（ごみ・手入れ）。
○大雨による柳瀬川の氾濫

○黒目川で犬にリードを付けずに散歩をしている人がいる（犬が飛び出したり、追いかけられ非常に危ない)。
○馬喰橋の鳥の糞がすごい。

## （8）生きがいづくりや社会参加に関すること（2 件）

○年を取っても生きがいを持てるようなまちであってほしい。
○コロナの件で健康づくりを助ける場になっていた元気アップ広場が中止になったこと。

## （9）その他（23 件）

①道路・交通環境に関すること（11 件）
○自転車で車道を走る時、道が崩れているところが多く危ない時がある。
○志木街道や川越街道がいつも混んでおり、子どもが車内で暴れる。
○学生が通るのに道が狭く危ない。
○抜け道になっている。公道に面しているので、禁止してほしい車が多く通過している。死亡事故が起きますよ。
○交通ルール・マナーがひどいように思います。横断歩道がない場所での横断や自転車の乗り方が危ないと感じます。新座市は道路の狭い場所も多いため、危険マップのようなものがあったらよいなと思いますし、呼びかけも増やしてほしいです。
○車が通る道が狭すぎる。すれ違いも難しい。
○歩道が狭い（ガタガタして危ない。)。
○自転車のマナーも悪く何回も危ない思いをした。
○事故が多い、歩道が狭い。
○児童の通学、高齢者の歩行に対して配慮に欠ける運転を見かける。取り締まりを強化してほしい。
○通学路など子どもたちがよく使う歩道がかなり狭い。交通事故も心配です。

②広報や情報提供に関すること（4 件）
○具体的なことはないが、情報開示は積極的に行ってほしい。
○迷い人の放送が多いと感じます。
○制度の変更についてのわかりやすい広報活動。
○防災無線の声が割れて聞き取りにくい。

③その他行政に関すること（8 件）
○個別のがん検診の案内が来ない。
○まちづくりとして住民の井戸端会議にとらわれない行政との対話の機会があれば参加意欲（地域福祉）が高まりそう。
○公園もちゃんとしたのがないです。
○通院、入院の補助が高３までから中３までに変わったこと。新座市に引っ越した理由の１つでした。
○子どもや身寄りのない高齢者への援助と青少年の倫理感との融和。
○近所の外国人（日本語不可、英語のみ）のサポートをしています。何も大切なことを知りません。サポートなしでは無理です。
○防災について、もしもの時、町内会や市の方でどれほどの救助（物資も含む）ができるのか。
○困った時どこに誰に相談してよいのかわからない。

## （10）その他（5 件）

○ある一部の地主によって開発が遅れていると思う。道路ができているのに立ち入りができない。
○近所におせっかいな人がいる。
○二重人格で時に暴れたり叫んでいる。男 40 代親がかばう。
○優先順位を付けられないが気がかりです（課題認識)。
○この国はもうどうにもならないでしょう。おたくもわかってるんでしょ。もうどうにもならないでしょう・・・。

# 1-2　巻末自由記入

最後に、これからの福祉のあり方や暮らしやすい地域づくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

## （1）コミュニティに関すること（23件）

〇町内会活動は大幅な改革が必要（若い世代中心に変更しないと。）。（男性・40～64歳）

〇市民といえどもインセンティブ、モチベーションを提供すべき。数百円のクオカードで十分、町内会予算がコロナで余ったので、夏季のラジオ体操に参加した子どもたちにクオカードを渡してくれた。そういうところから市民交流など広げるべき。地域の公園掃除でジュース１本でもよいが、もう少し行きたいと思うことを考えて頂きたい。（男性・40～64歳）

〇志木駅前にほっとプラザがあるが、新座駅前にもコミュニティを強化する施設があるとよい。（男性・40～64歳）

〇地域交流を図るため、行政としても様々な働きかけをお願いしたい。（男性・40～64歳）

〇地域のコミュニティは今後非常に大事になっていきます。IT に頼る仕組みではなく、人と人との関係づくりを自治体は本気で取り組んでください。（男性・40～64歳）

〇以前、町内会の年度末決算において領収書のない使途不明金があったので、退会した経緯がある（町内会は必要だと思っています。）。（男性・65歳以上）

〇地域住民間での交流の場所づくり（イベントの参加）（男性・65歳以上）

〇横のつながり交歓会（男性・65歳以上）

〇新座団地に外国人が住んでいるみたいだが、一部の人たちはルールを守らない人が多すぎる。入居する時にその点ルールをちゃんと説明できているのか疑う。特にごみを出す時が多い。もちろん日本人である私たちも…。（男性・65歳以上）

〇駅前などに地域の人たちと交流できる施設（ショッピングモールなど）を造ってってほしい。（女性・16～39歳）

〇若い世代同士の関わりが少ないように思う。横のつながりですら関わることが難しくなってきている時代なので、縦のつながりもいずれ無くなってしまうのではないかと思う（例えば、人が集まらなくなったりして町内会自体が続くかもわからない。）。（女性・16～39歳）

〇盆踊り復活（昔は小学校などでやっていた）イベントが市役所周りでしかやっていない。新座大好きなので良いまちになってほしいです。（女性・40～64歳）

〇近隣地域は見るからに今後10年間で住人の入れ替わりが一気に起きるであろう状況です。既に町内会長に名乗りもなく、選出されぬ年もありました。これからの世代が活躍していくためにも、橋渡しが必要かと思いますが…現状は世代毎の分断に見えます。（女性・40～64歳）

〇政治も同じように、地域の自治会の人も高齢な方が多く、活動がわかりにくい。若い人がいる他の団体と一緒にやってみるのは…。（女性・40～64歳）

〇町内会のあり方を見直してほしい。会費だけ集めていったい何がどう役に立っているのか…。班長だの役員だの面倒なことばかりで、町内会を抜けようと思っています。災害の備蓄もとてもじゃないけどあの量で間に合うはずもなく…。時代が変わり、町内会の役割をしっかり考えてほしい。（女性・40～64歳）

〇マンションばかり増えるのではなく、地域の人を含め地方からも訪れることができる施設やイベントなど増やした方がよい。（女性・40～64歳）

〇自分の住む一番身近な町内会が密になり、親しくなれば毎日が楽しくなると思う、安心もできる。地域の福祉（町内会・自治会）から活動を促進してほしい。（女性・65歳以上）

〇40年以上集合住宅に住んでいるので、自治体は変わってもさほど変化はなく（悪くも）関心のなさを自分自身のマイナスと感じてます。戸建て住宅に住む方の大変さもわからず、自治体とのかかわりも違うのでしょう（考え方）。70歳から医療費の面で免除（高額限度額）していただけることはとても感謝しております。（女性・65歳以上）

〇広報の各家庭への配布をシルバーに依頼され

たように、集金等もシルバーに依頼できたら良いですね！（女性・65 歳以上）

○十数年前に転居してまいりましたが、その際町会の話は一切なし、今もなし。都内在住の際には、交代で町会費集めをしたり、葬式等は近所の方々と揃って参加したので、何事も和気あいあいだった。ここの地域に驚きの連続だったが、現在は年齢のせいか何もなくて良いのか悪いのかよくわからない。（女性・65 歳以上）

○町会を脱退する方が多いので、町会で出費している街灯等の経費は、町会費を納めていない方の責任等はないのでしょうか？また災害等の用意をしたりしていますが、そのような時の支援を会員と同じようにできるとしたら、不公平を感じます。（女性・65 歳以上）

○町内会で高齢者が増加し、班長等の役務ができない等で町内会を退会する方が増えて来た。ごみ当番で現行の箱が重いとの声も多い。高齢者を守り支える地域の体制をつくり、安心して暮らして頂けるようにしたい。(女性･65 歳以上）

○周りに建売住宅が増え、若い世帯が増加しているが、住民の交流もなく市民の一体感が醸成されないのが寂しい。まちおこしの様な土地に根ざすものを生み出されたらいいのにと思う。（女性・65 歳以上）

## （2）子育て・保育・教育に関すること（17 件）

○子育ての支援をしてあげないと少子高齢化は止まらないと思う。（男性・16～39 歳）

○病児保育が必要だと思います。もっと使いやすい形で…。（男性・16～39 歳）

○年配者より将来を支える子ども達に対する支援の充実を期待（男性・65 歳以上）

○通学路や子どものいる公園で歩きたばこをしている人が多い（警察官が目の前で見ていても注意もしない。）。（女性・16～39 歳）

○小学校の規模と人数が合ってなくて不安。（女性・16～39 歳）

○地域独自の子育て支援や出産支援が増えるとよい。（女性・16～39 歳）

○一時保育の利用などが、もう少し気軽にできるシステムや施設が増えるとよい。（女性・16～39 歳）

○問 23 にも書きましたが、新座市の保育園入園にあたり、とても不安に感じています。保育士が足りず、定員の子どもを受け入れできない現実を母になり初めて知りました。復帰のことを考えるとお世話になりたいのですが、なかなか難しそうだと思いました。産後体力も回復しないまま見学に行ってがっかりしました…。園によっては保育時間も異なるので、正社員で戻れるのか？（決まった園によって。）変わってくるのは平等ではないと感じます。この先、この地域で子育てしていくことへの不安が募りました。（女性・16～39 歳）

○子どもの通学路にポケットパークを作って、人が集まれる憩いの場があるとよい。子どもの防犯にもなる。足湯を造る。（女性･40～64 歳）

○子育て世代への応援がほしい。住みやすくて通勤もしやすい所ですが、兄弟姉妹がたくさんいる家族への金銭面での援助、高齢者に対しての優遇の方が手厚い気がする。町内会活動も高齢者向きの企画が多い。（女性・40～64 歳）

○子どもが安心して暮らせる家庭、地域でありたい。無料で勉強を見てくれる所、子どもが安心して相談・お話できる所、子育ての相談・雑談できる所があるとよい。新座の将来を担っていく子どもたちに力を入れてほしい。（女性・40～64 歳）

○子ども達が集まり交流をする場がない（子ども広場）。児童館が新座市で遠くて子どもでは行けないため、駅周辺にあるとよい（ふるさと新座館）。友だちと勉強をする場もないので作ってほしいです。（女性・40～64 歳）

○財政困難から早く脱出して、こども医療費免除を中学→高校までに戻してほしい。新座市の唯一の強みがなくまりました。(女性･40～64 歳）

○塾へ経済的に通えない子などが今の公立学校教育では限界がある。学習できる場所や、身近な大人へ相談できる環境があると、所得格差＝学力格差にならないと思う。(女性･40～64 歳）

○子育て世帯の人たちが働きながら安心して子育てできるようであってほしい。（女性･65 歳以上）

○こども医療費のうち、通院･治療費が高 3 から中 3 までの支給に大幅に削減されます。市税収入は令和 2 年・3 年とも予算を超過しており、9 割を積立金にするほどお金が余っている状態なのに、なぜ福祉予算を減らすのですか？元に戻して下さい。家族や地域に無償で福祉の仕事を押付けないで下さい。（性・年齢不明）

○子どもの福祉の向上（性・年齢不明）

## （3）高齢者への支援に関すること（14 件）

○ここ数年で高齢者向けの介護ホームの増え方が異常だと思う。新座市を高齢者向けのまちにしたいのか？（男性・40～64 歳）

○実家の周りは年寄りしかいません。困っています。地元に暮らしながら何もできません。わかっていることですが、仕方がないことかもしれません。自分もここで年を取っていくしかないことのように思います。（男性・40～64 歳）

○心配なことは高齢者が増えて徘徊が多くなることです。認知症や感情のコントロールができなくなった人がバスで文句を喚き散らして運転手を困らせることがよくあります。（男性・40～64 歳）

○高齢化し、世の中の IT 化についていけなくなり、取り残されそうになる不安はどうしたらいいか？（男性・65 歳以上）

○今年お風呂の補助券（24 枚つづり）が廃止になってしまいました。高齢者にとてっての楽しみが減ってしまい、残念に思います。この様なことがシニア世代に優しいとは思えません。市役所の対応に疑問に思われます。（男性・65 歳以上）

○地域包括センターと市役所は連絡がとれているのでしょうか？（女性・16～39 歳）

○県外から移ってきました。新座市はお年寄りの支援が薄いと感じています。免許証返納者へタクシー割引券やバスの半額券等、以前住んでいた所では回数券を配布していました。志木市は高齢者へお買物クーポン券を配布しています。新座市は何もないと母が嘆いています。（女性・40～64 歳）

○高齢者が運転できる環境を充実させてほしいです。（女性・40～64 歳）

○これからどんどん高齢化社会が進む。高齢者が高齢者を支えるなど無理。それは体力的、経済的にも。自分自身にも生活が苦しくなり、仕事を頑張らなければいけないので、実の親にさえなかなか時間もお金も使うことができない。行政がもっと支援すべき。ひとり暮らしのお年寄りは話し相手がテレビだとよく聞く。胸が締めつけられる。（女性・40～64 歳）

○周りに高齢でひとり暮らしの方が結構いらっしゃいます。お風呂で亡くなられた方もいらっしゃいました。何か高齢の方と定期的に大丈夫か確認できるシステムがあればいいなと思います。毎日本人がスイッチを押すと生存確認ができるようなネットワークとか…。（女性・40～64 歳）

○自分も支援していただきたいので書きにくいことがありました。集合住宅ですが、皆さん会えば「何か手伝いますよ」と言って下さいます。しかし毎回お願いするのははばかれます。商店街の買物も 200 円出せば運んで下さいます。助かっています。（女性・65 歳以上）

○主人が「ガン」で入院中。共倒れになりそう。私自身の心のケアがほしい。（女性・65 歳以上）

○主人が亡くなり一人の生活が１年７か月です。その間民生委員とか福祉の方は誰も来ません。今は何とか元気で生活していますが、もう少し市の方が見守ってほしいと思います。現在 78 歳です。（女性・65 歳以上）

○主人を 13 年近くも介護して参りましたが、民生委員などが訪ねて来られることが一度もなく、何の相談も力添えも頂けなく、形だけ作っても機能されていないのなら無意味ではないのかと？（女性・65 歳以上）

## （4）まちづくり全般に関すること（14 件）

○将来暮らしやすい地域になってほしい。（男性・16～39 歳）

○地方創生・都市開発等のまちづくりや、暮らしづくりが昨今特に耳にするが、この町においては特に変わっている様子はなく、ただ経済的に衰退していくのかと気になっています。積極的な企業誘致と若者のための社会インフラを整えて、これからの 10 年～20 年はもっと画期的な町にしていくための先行投資として組み立ててほしいと思います。応援しております。（男性・16～39 歳）

○並木市長の積極的な SNS、メディア活動を期待します。NACK5 等特集を組むなど、住みたいと思うようなまちづくりを！！（男性・16～39 歳）

○多様性が求められるので、異業種等の人材を確保して新座市を価値ある自治体にしていって下さい。（男性・40～64 歳）

○老若男女がより暮らしやすい新座市となるよ

う今後もよろしくお願いします。（男性・40～64 歳）

○住民の老齢化に伴う若い人たちの住みやすい町作りと協和（男性・65 歳以上）

○そこの町内会、地域社会でもっと密に交流できるように市の方である程度指導して地域活動を活発促進できるように支援願いたい。小さな町内会の中でも話し合ったりする機会は少ないのが実状、ある程度市の方で先取りを行ってくれるとありがたい。（男性・65 歳以上）

○東京都と比較してすべての面で差が大きい。地味に小さくまとまりやすい。（男性・65 歳以上）

○どんな人が住んでも、住みやすい・住んでよかったと思えるような町にしてほしい。（女性・16～39 歳）

○若者の関心を引き付けるような話題性のある取組を新座でやっていただけたらと思います。（女性・16～39 歳）

○新座、住みやすく自然と便利なお店が多くとても好きなまちです。いつか離れることとなりますが、いつでも帰ってきたいまちでい続けて頂きたいですし、自分もできる限り協力したいと思っています。とにかくいいまち！！（女性・16～39 歳）

○時代に全く合っていないシステムです。専業主婦が多い時代ではありません。新座市が考えている様な地域サポートは現代的ではありません。地域活動用の施設は財政難なのですから、すぐに閉鎖するべきです！！　『住民が安心して暮らせるように互いに協力』は幻想です。税に苦しめられています。（女性・40～64 歳）

○地域活性化（性・年齢不明）

○地元で働き、暮らせるようにし愛着あるまちづくり。新座の経済の活性化（性・年齢不明）

## （5）福祉全般に関すること（14 件）

○福祉については、志木市の方が充実していたと思う（以前住んでいたため。）。（男性・40～64 歳）

○政府がお金の負担を後世に任せ、その付けが自治体への支援に影響して来ないのか心配です。（男性・65 歳以上）

○自立と教育、人に頼らない福祉が必要。自立を支援する活動を中心にすべきである。（男性・65 歳以上）

○福祉はビジネス（男性・65 歳以上）

○民生委員の姿、活動が見えない！もっと地域との関わりを持つべきであると思います。（男性・65 歳以上）

○猛スピードで進む超高齢化社会で、限られた原資で増大する福祉関係支出が必要となっているが、行政には無駄のない取組に努めて頂きたい（縦割り的業務から組織横断的な業務への推進など。）。（男性・65 歳以上）

○福祉に関する知識が少ないため、若い世代に向けて講習を開き、福祉への関心を高めていくことも必要だと考えました。（女性・16～39 歳）

○ある会報誌によると、新座市にはコロナ前と同等の税収があるにもかかわらず、税収が減ったとして様々な福祉政策が削られているとありましたが、本当でしょうか？！　もしそうなのだとしたらとても疑問に思いますし、解消してほしいです！！（女性・40～64 歳）

○物質的な支援は大前提ですが、その方達が暮らしていけるよう就労への道づくりは、長い目で見て経費の削減などいろいろ良い面があるのではないでしょうか？　両親の介護をしていましたが、他界し認知症の方を見ると優しくしてあげたくなります。（女性・40～64 歳）

○各々が不安を持たずに暮らせる地域であるために良い方法を探してほしい。介護をされる本人も不安だが、する方も不安や苦労が多い。その中で手続等で時間がかかったり、手続を困難にするようなことは絶対にやめてほしいです。（女性・40～64 歳）

○震災・犯罪など増々地域福祉の役目が必要な時代と思います。宜しくお願いします。（女性・65 歳以上）

○福祉関係の予算がかなり削られていますが、まず不安（女性・65 歳以上）

○福祉については、日本は遅れていると思います。子ども子育て障がい者の福祉支援等も大切ですが、老人に対しての福祉はもっと充実してほしいと思ってます。消費税など上がってもよい。しかし死ぬまで安心して暮らせる福祉がもっときちんとしてほしい。貯金はなくても困らない老人（福祉がしっかりしてて。）を望みます。（女性・65 歳以上）

○専門家を雇ったり新たな雇用を作り、福祉を充実させて下さい。（性・年齢不明）

### （6）地域福祉活動の促進に関すること（11 件）

○コロナ禍で人々とのつながりが減ってしまった。行政と市民のつながりも途絶えがちだが、直接会って話すことの大切さを身に染みて感じられた日々でもある。地域のつながりこそが、災害時では一番大切なことと実感しています。私どもに関わってくださる皆様に感謝申し上げます。（男性・16～39 歳）

○地域の方々との交流はほとんどありませんが、過ごしやすく人柄のあたたかな人たちが多いと感じています。今後も地域づくりについて頑張って下さい。応援しています。（男性・16～39 歳）

○20～40 代の世代が子育てや仕事に支障なく地域の活動やボランティアなどできる人が多くなると、高齢者の負担（見守りや清掃、防犯等）が減ると思いますし、地域の活動がどうして大切なのかもわかると思います。（男性・40～64 歳）

○コロナ禍で地域の交流は減っているのですが、ボランティアと地域のイベントが増えていればいいと思います。難しいと思いますが、参加者へクーポン券などのプレゼントなどあれば口コミで広がると思います。（男性・40～64 歳）

○様々な制度やサービスを行う以前に地域の町内会や自治会等の活動を増やし、新しく入居してきた人が地域に馴染みやすくするイベント等を行ってほしいと思います。また、日曜日だけの活動では参加できない人もいることを考慮してサービス・イベントを企画してほしいと思います。（男性・40～64 歳）

○自助、共助、公助。自ら進んで関心を持つ、持てるような仕組みを作る。共に生きる（思いやりと労い）。（男性・40～64 歳）

○地域でどういうボランティアの要望があるのか定年後時間ができた時に、気軽に応募（参加）できるような仕組みがあればいいと思います。（男性・40～64 歳）

○with コロナにおいて。〈地域一体化計画〉地域にある企業、商店街、学校 etc…が地域で何ができるのか、民は企業他をより知り、協力できること（イベント、支援手伝い）の共有で地域としてのまとまりができる。（男性・65 歳以上）

○あまり関心なく過ごしてまいりましたが、これからは地域に関心を抱くようにすることが大切だと思います。（男性・65 歳以上）

○地域ぐるみで協力する必要性を理解させる環境づくりが必要と思います。子どもの頃からの教育が大切だと思います。（男性・65 歳以上）

○新座市はコロナ禍以前から、志木市や朝霞市に比べても地域イベントや音楽会、バザー等の行事が少なく、市民会館でのコンサート情報も少ないと思ってました。公民館での活動も気軽に参加できるような広報も少ないと思います。高齢者と子どもたちが交流できる催しとか演奏会等を増やしてほしいです。（女性・65 歳以上）

### （7）障がい者への支援に関すること（８件）

○障がい者に関することは、周辺自治体（特に東京）とレベル合わせをしてほしい。（男性・40～64 歳）

○心配なことはたくさんあります。個人的には、障がいを持った子どもが親がなくなった後にも一人で生活していけるかどうか、仕事が続くかどうか等です。（男性・40～64 歳）

○知的障がいの家族がいます。私たちが亡くなった後、兄弟に看てもらうのは困難であり、グループホームはあるが、国や市内に生涯面倒を看てくれる施設をつくってほしい。（男性・65 歳以上）

○一年前に東京練馬から転居してきました。事実婚のパートナーの妹が障がい者で、練馬区の住宅に住んでいますが、練馬区の福祉は充実しているので、ひとり暮らしが可能です（時々支援に行きます。）。新座市も公的福祉が充実していただけるとありがたいと思います。（女性・40～64 歳）

○子どもが発達障がいですが、この地域はとても育てにくいです。自治体も学校も非協力的で閉鎖的です。もう少し力を入れてほしい。（女性・40～64 歳）

○整形外科でコルセットを作り、一部補助金があるとのことですが、市役所まで行く必要があります。身近にある公民館などで済めばいいと思いました。身が不自由なのでこのような装具が必要なのですから…。（女性・65 歳以上）

○うつ病の娘がいます。もっと気軽に相談できる窓口を増やして下さい。職員の教育もして下さい（うつ病に関する。）。（女性・65 歳以上）

○ヘルプマークをいただいて皆様に（市役所の人

や市民の人）に助けられています。自分のお願いしたいことをヘルプマークとは別のケースに「耳が聞こえないので書いて下さい」と書いて見せ、メモをしてもらって色々と教えてもらい助かっています。本当にありがとうございます。（女性・65 歳以上）

## （8）ごみ処理に関すること（7 件）

○ごみ当番が苦痛です。ごみ袋を有料にして自宅の前に出すようにしてほしいです。ごみの出し方が雑な方がいて、カラスに荒らされ他の家の生ごみが散らばってしまい、ごみ当番がかたずけるのは恐怖でしかない。（男性・16～39 歳）
○これからはごみ問題が多くなると思います。袋を有料にして清瀬市や東久留米市のように、個別回収すべきです。（男性・16～39 歳）
○高齢者なので分別できません。（男性・65 歳以上）
○ごみ出しは個人の家の前にしてほしい。（男性・65 歳以上）
○ご近所トラブルの原因になるので、ごみ収集を東京のように各家庭ごとに集めてほしい。（女性・40～64 歳）
○高齢者が増々増えていくこれからごみ当番や、自治会の当番（自治会費や町内会費の集金・班長等）存続できるのか。少ない人数の中で 2～3 年おきに班長が回ってくるようでは精神衛生上芳しくないです。どうぞ、ごみの集積などは各家庭まで可能になれるよう働きかけてください。節に！！（女性・65 歳以上）
○ごみを家の前において…集めてほしい。希望します。ごみ当番（掃除用具を出す・入れる）等困難になる（バケツに水を入れ、あと流す等、現在しているが…）。（女性・65 歳以上）

## （9）治安・防犯に関すること（６件）

○青パト（軽自動車）の見回りは、小学校の前で道の真ん中に停車して、足を上げふんぞり返って長話をしているのを何度か見た。私が後を車で走っている時も止まり、こちらが青パトを抜くのに大変だった（対向車が来るので、大きく右側によけなくてはならなかった。）。（男性・40～64 歳）
○町内、近所の危険人物への訪問注意してほしい。事件になったらどうするのか？　疑問です、ナイフを持ち歩いている。（男性・40～64 歳）
○マンションが建ちすぎて人が多くなっているのも不安（女性・16～39 歳）
○志木駅南口パチンコ屋の（裏手）の路上喫煙がひどい。子どもがそばを通るのをとても嫌がるし、とても不快。パトロールなどでどうにかならないか…。（女性・16～39 歳）
○防犯のために警察官の巡回を増やすべき（特に夜間）。（女性・40～64 歳）
○深夜から朝方まで営業しているお店などが増え大騒ぎする人が多く、治安が悪くなった。（女性・40～64 歳）

## （10）道路・交通環境に関すること（６件）

○学生の通学路（防犯のための）としている道路に街灯をつけてほしい。（男性・16～39 歳）
○国道 254 号や旧川越街道の歩道はとても狭く、歩きや自転車で移動するのが怖く感じます。（男性・40～64 歳）
○一方通行の道（通学路）を逆走する車・バイクが多い。（女性・16～39 歳）
○暗い道、危険な道が多いので事故が不安。（女性・16～39 歳）
○歩道を雨の日でも自転車と歩行者がすれ違える広さを確保している地域が暮らしやすい。（女性・16～39 歳）
○私道だからできないとのこと。他人に聞きましたが、だいぶ荒れているので工事してほしい。（性・年齢不明）

## （11）生活困窮者への支援に関すること（5 件）

○短い時間でいいので仕事できる場所を提供してほしい。（男性・40～64 歳）
○特にないです。仕事が無くなり困っています。（女性・40～64 歳）
○弱者への虐待や貧困対策ができてほしい。（女性・65 歳以上）
○国民年金が少なくなって困っています。（女性・65 歳以上）
○障がい者等に対する配慮も当然ですが、仕事が欲しくても年齢等で働けない…とか、家にこもって我慢している人が見えないところで沢山います。もっと住みやすい新座にしたいならもう少し下の下の方まで見据えてください。無理ですよね！！（女性・65 歳以上）

### （12）広報や情報提供に関すること（5 件）

○福祉などはどこに相談するのか？　新座市は他の市と比べて何が優れているのか？　福祉のことは必要としていないからかもしれないが、何も情報がない。理解していないしできていないです。（男性・40～64 歳）

○調査の結果は新座市のホームページだけでなく、広報新座や福祉関係の月報に載せてほしいです。福祉等を受けるのは恥の文化人の理解のPR をしてほしい。人間誰でも老人になると病気になり、介護・福祉サービスを受けるのは権利です。もっと PRしてほしいです。ＴＶ、ＣＭにより世間には市町村のサービスと思っている人が多いです。（男性・65 歳以上）

○NPO 法人を捜すには SNS 以外で市役所に冊子はありますか？（女性・16～39 歳）

○市がどのような取組をしているのかよく知らないので、SNS の活動など受動的なものではなく、自然に目につくような広報活動をお願いしたい。困った時にどこで、何が自分の役に立つのか、若い人にも誰にでも分かりやすい説明をしてほしい。このようなアンケートをして頂いたのであれば、必ず今ある課題を解決してもらいたい。（女性・40～64 歳）

○知らないことが多かった。PR 不足かも。（女性・65 歳以上）

### （13）孤立防止や自殺対策に関すること（5 件）

○孤立しないよう安心して暮らせる地域になるといいなあと思います。（男性・40～64 歳）

○孤独死を減らすようにしたい。（女性・16～39 歳）

○悩みを抱えている若者の自殺を減らしたい。（女性・16～39 歳）

○市役所に子育ての相談はあるが、孤立している人の相談窓口は何課でしょうか？（女性・16～39 歳）

○自分の年齢からして高齢者のことを中心に考えてしまいました。これから高齢者がもっと増える状況なので、孤立を少しでも防ぐ対策が大事だと思います。（女性・65 歳以上）

### （14）移動・公共交通機関に関すること（5 件）

○バスがまず時間通りに来ない。そのくせに新座駅までのバスの利用が不便（男性・40～64 歳）

○朝霞台や新座駅・志木方面へいくためのバス停が近くにあると便利だと思っている。（男性・65 歳以上）

○バスの便がもう少しよくなるとよいと思います。石神地区の西武バスの乗り入れの話は、なくなってしまったのでしょうか？（女性・40～64 歳）

○高齢者の移動手段が充実されるとよいと思う。（女性・65 歳以上）

○〈タクシー〉志木市のようにデマンドにして下さい。医者に行くのに呼びも入れて 1,200 円かかります。志木の人たちは 500 円で行けます。よろしくお願いします。（女性・65 歳以上）

### （15）健康づくりや生きがいに関すること（4 件）

○ごみ袋少し高くてもよいので、そこで得られたお金でがん検診を再開してほしい。30 代でがんになると進行が早いと聞きます！！（男性・16～39 歳）

○楽しく運動しながら、交流ができ元気な高齢者が活躍されたらよいと思います。（女性・40～64 歳）

○コロナが広がる前は学校でのレクリエーション教室などがあったのですが、今はすっかりなくなってしまい残念です。毎日できるラジオ体操などの会など近くにあるとよいです。家から外へ出る機会を多くつくってほしいです。（女性・65 歳以上）

○地域のお茶会や集まりに参加しても高齢者は孤立するので行かなくなった。高齢者のみの集まりがあるとよいと思う。（女性・65 歳以上）

### （16）相談窓口に関すること（4 件）

○窓口に相談に行ったときに詳しく丁寧に教えてくれるよう職員に伝えて下さい。特に福祉また生活保護は市民はよくわかっていませんので、杓子定規ではない説明をお願いします。（男性・65 歳以上）

○福祉サービスの存在や手続き方法・窓口等をもっとわかりやすくアナウンスしてほしい。義兄のことで、家族皆不安だが相談すべき場所が

わからず不安になっている。（女性・16～39 歳）
〇安心できるまちづくりを考えていただきたいと思います。困った時に相談できる窓口を作っていくことを願います。（女性・65 歳以上）
〇何か暮らしに困った時、とりあえず相談できる窓口をわかりやすく設置してほしい。暮らしやすさは人によって感じ方は様々だと思う。高齢者、子育て家族だけではなく、誰もがいざという時安心して暮らせる新座市であってほしいと思います。（女性・65 歳以上）

### （17）防災に関すること（1 件）

〇防災に関して、地域の放送だけでなく避難所へのアクセスを分かりやすくルートづくりなど、明確にわかるようにすべきだと思う。（女性・40～64 歳）

### （18）空き家対策に関すること（1 件）

〇空き家対策を急ぐべき。（男性・40～64 歳）

### （19）その他行政に関すること（15 件）

〇福祉も暮らしも財源が必要です。ごみの有料化など今までサービスで行ってきたものを有料化し、財源を増やす努力をしなければならないのでしょうか？　今まで通り前にならえでは進歩発展はありません。市職員の方々の新しい発想、これからの決意に期待しています。（男性・16～39 歳）
〇私の住んでる地区は東久留米と隣接しているため、通勤や日用品の買物は主に東久留米を利用しています。新座は他地区が生活拠点の市民が多いと思うので、例えば東久留米駅で図書館の本を借りたり、東久留米スポーツセンターで割引価格で利用できたり…といった他地区との連携がうまくできるようにお願いします。（男性・16～39 歳）
〇新座駅の周辺は志木駅の周辺に比べ、衣料品を買うような店はなく商店街もないので、閑散と感じます。（男性・40～64 歳）
〇住んでみるとなかなか不便で窮屈なまちで、そんなまちのために何かしたいという思いはなかなかわきません。家の周辺には街灯すらありません（市なのに…。）。（男性・40～64 歳）
〇新座は福祉に限らず、全体的に行政のサービスが貧困だと思う。また、市役所職員の対応にも大いに不備を感じる。時代遅れの「殿様公務員」が多いのでは？　以上の理由で自治体としての新座には魅力を全く感じない。（男性・40～64 歳）
〇不法投棄対策も積極的に！！（男性・40～64 歳）
〇ペットの糞害（男性・40～64 歳）
〇問 34、1～19 の全てが必要だと思います。（男性・65 歳以上）
〇文化遺産の保存、修復を学んでいます。新座市内に存在する文化遺産に関して、積極的に他の市・地域と関わりがあっても良いかと思います。市で行っている活動が助成金、補助金の支援のみではなく、プラスαのことをしてもよいと思います。（女性・16～39 歳）
〇隣近所のこと、噂を SNS（画像・動画）に拡散しない。町が暮らしやすい地域…。（女性・16～39 歳）
〇高齢者の多い新座市では、コロナワクチン接種は早く進めてほしい。第 5 波のような医療体制ではなく、誰もがすぐに安心して医療にかかれる様にしてほしい。自宅で放置されることのない様にしてほしい。（女性・40～64 歳）
〇どこでもそうなのかもしれないが、子育て世帯にばかり力が注がれてい過ぎる。子無し現役世帯はとにかく何もかも蚊帳の外と感じる。暮らしに問題はないが、「暮らしやすい魅力のあるまちだ」などとは少しも感じない。（女性・40～64 歳）
〇新座市の財政をよくするためには無駄はなくした方がよい。（女性・40～64 歳）
〇新座市のフードドライブの持ち込みをしました。もっと定期的に開催してもらえると、常にストックしようと思います。（女性・40～64 歳）
〇自身も含めて、インターネットやスマホを利用しない者でも、社会に取り残されない世の中であってほしいと思います。（女性・65 歳以上）

### （20）その他（20 件）

〇アンケートの趣旨がわかりづらく目的があいまいなので、今後はこのような調査はやめてほしい。（男性・16～39 歳）
〇今まで通りでよいと思います。引き続き頑張ってください。（男性・16～39 歳）
〇アンケートに協力、無償で協力しろという時代

ではない。企業でもアンケートを求める場合、何かもらえたりする。（男性・40～64 歳）
〇期待していない。（男性・40～64 歳）
〇夫が手伝ってくれるから大丈夫だと思います。（男性・65 歳以上）
〇現在介護を受けている身なのでお答えできない箇所がありました。（男性・65 歳以上）
〇これまでも頑張ってくれていますので、これからもよろしくお願いします。(男性･65 歳以上)
〇小生昭和８年生まれ､米寿をクリアしました。問に対して満足なお答えができず申し訳ございません。若い人にお願い致します。無責任ですがお許しの程を…。（男性・65 歳以上）
〇地域を見回っていただきありがたく思います。私は足が悪いのでとても感謝します。（男性・65 歳以上）
〇近くに娘夫婦の世帯が 2 軒ありますので、今のところは 88 歳と 82 歳の高齢夫婦ですが、娘たちがいるので何とかやっています。私たちは恵まれていると思っています。(男性･65 歳以上)
〇年齢、体の健康状態で答えられる項目を選ぶのに困る。（男性・65 歳以上）
〇早くコロナウイルスの感染を収束させ自由に活動したいですね。新座市社会福祉協議会役員の皆々様には、厚くお礼申し上げます。(男性･65 歳以上)
〇いきなりこう言うのを配られても困ります。（女性・16～39 歳）
〇コロナで色々な企画が中止になり、本来の姿でないのでどうすればいいのかわかりません。子ども（成人）が助けてくれるのでまだ幸せの方だと思います。明るい世の中になります様にと願います。（女性・65 歳以上）
〇高齢者に解りやすい説明（女性・65 歳以上）
〇自分自身高齢です。まず健康に気を付けて皆様に助けていただくばかりと思いますので、毎日一日を大切にしたいと思います。(女性･65 歳以上)
〇近くから引っ越してきて間もないのですが、暮らしは安定していてよいまちだと思いました。（女性・65 歳以上）
〇ボランティアのお手伝いはしたいと思いますが、高齢になりましたのでお世話になるばかりです。（女性・65 歳以上）
〇皆様の活動ご苦労様です。この近所はずっと皆仲良くしています。でも年齢が高い人たちになって来ましたので、今回のアンケートは私にもよかったです。自分も 78 歳ですので今回コロナで色々考えました。（女性・65 歳以上）
〇私は現在 89 歳なので年が 20 年ぐらい若かったら何かの手伝いできると思うだけです。（女性・65 歳以上）

# 第２章
# 地域福祉担い手調査

# 2-1　地域で気がかりなこと（問３）

問３-１　問３で回答した気がかりなことについて、具体的なことがあれば記入してください。

## （1）高齢者の生活支援に関すること（42 件）

○独居や高齢世帯への声かけ（東部第一）
○高齢者の認知症などが、増えることが考えられる。良く関わり（民生委員など）を密にして情報をすいあげることが必要か。（東部第一）
○高齢者につき、ごみ出し、買物、その他日常生活支援について、主に地域ボランティアは関心を持っているが、その人たちもある程度の年齢に達しているパターンが多い。（東部第一）
○ひとり暮らし高齢者は病気になったときに誰を頼めばよいのか？　普段から話ができる仲間をどう作っていくのか、その手助けをしたい。場所を探し、そこで会合して知識を得たり、一緒に健康な生活をするような体操作りが必要（東部第一）
○ひとり暮らしの高齢者または二人暮らしで共に高齢、病気がちの生活者（東部第一）
○私自身も高齢者の一人ですが、ひとり暮らしや高齢世帯が多い地域です。年々亡くなる方も多くなり、駐車場や新しい住宅も次第に増えて、若い世代の家庭も多くなり、少しずつ変化もあり、明るい住宅街に生まれ変わってきた感じがしますが、高齢者にとっては買物、病院に行く足が無く、現在もこれからも特に難民状態になっていく課題があります。（東部第一）
○高齢者の車の運転を見て、危なさを感じる。（東部第二）
○高齢化が進み、次のような生活支援が必要な方が増えている。
・ごみ出し、ごみ当番が困難な住民が増えているにも関わらず、戸別収集等かなり以前よりある住民の要望が届いているのか、しっかり検討されているのか。
・介護事業者が不足しており、要支援、要介護者の生活を支えることが困難になっている。
・コロナの影響で住民全体の生活が大変になっている中で、虐待への危険（東部第二）
○高齢者世帯が多くなっている。現状把握が大変難しい。（東部第二）
○高齢者だけの家庭が多くなってきているが、他人にお世話になるということは考えていない人が多いと思う。自分で処理しようと考える人が多い。（東部第二）
○コロナ禍の中で、これからが（高齢化が進む中）とても不安になる。（東部第二）
○特に高齢者が増加傾向にあり、見守りを含めて対応に苦心している。また、家族がいながら孤立している人が増えている感があり、サポートする難しさがある。（東部第二）
○高齢化が進み、高齢者のみ世帯（ひとり暮らし含む）増え支援が必要（生活及び防災）。（西部）
○高齢者世帯が急速に増えている。ご近所のコミュニケーションの不足。ごみ当番の負担。新規転入者との関係構築が困難（西部）
○高齢者福祉施設ですが、利用者を外出させることができていない。（西部）
○独居・高齢者・認知症（西部）
○身近にも１人世帯の高齢者が多いため。（西部）
○コロナ禍で高齢者の様子が見えにくくなっている。（南部）
○これから寒くなってくると外出の機会も減り、高齢者の安否確認が難しくなる。（南部）
○高齢者特にひとり暮らしの方をお世話をする組織を作ってください。健康づくりも同じです。（南部）
○高齢者の方が増え、日常の生活にも支障が出ていると思われます。特にごみ出し、近所の方との連携が取りにくくなっている昨今、どのように改善していったらよいのかが、地域でも課題になっております。（南部）
○独居の方で公的サービスへのつながりを拒否される方が結構多い。（南部）
○高齢者の困り事、孤立生活者の困り事、潜在する犯罪や生活環境の課題は顕在化しにくいし、即応が求められず霧消して認識されないことも多いと思われる。地域の生活者間で協議して（まさに協議会がそれ）課題を浮き彫りにすることを継続して定期的にしていくことがまず必要（北部第一）
○高齢者１人で買物に行けないこと。（北部第一）
○ひとり暮らしの高齢者が多い。（北部第一）
○コロナ禍におけるひとり暮らしの高齢者の現

況（話し相手・買物、家事全般について。）。（北部第一）
○身近な所に一人での買物が困難（カートのまま入店できない。）。（北部第一）
○私は一応息子夫婦、孫（１人）と同居していますが、13 時頃から 20 時過ぎ迄一人です。心配事は、これから寒くなる風呂に入ることが心配（遅く利用することも生活のリズムから早めに利用する。）。押し売り等訪問客の応対に苦労…。（北部第一）
○周りに高齢者が増えてきて気になります。自分もそうでう。（北部第一）
○町内会活動は（勿論存在しているのはいくつかの町内会活動だが）、高齢者の生活を支援する活動には余り熱心ではない。催し物では困り事のニーズは掘り起こせない。（北部第一）
○独居世帯の把握が大切です。（北部第二）
○元気な高齢者に対する生きがいづくりや、社会参加は語られているが、要介護要支援の高齢者や障がい者は一方的に支えられる立場に置かれ、SOS を出せない現状にある。（北部第二）
○高齢者の支援について、
①組織につなげる間が難しい。
②独居高齢者が増加、体調などの確認の仕方（本人が様子を見に行くことを嫌がることなどあるようです）。
③介護者についての支援が足りない。（北部第二）
○現在町内会では、高齢者対策としてお助け隊を作って活動している。利用件数が月平均 80 件にもなって、支える側のボランティア（有料いボランティア）が少ないこと。資金面で行政からの支援もほしい。（北部第二）
○高齢者対象の会食、お茶会等中止、月一度のお弁当配布のみ行っているが、本来の安否確認は、できていない。社協事業全般中止、になっている。（北部第二）
○高齢者の１人・２人世帯が多く、認知症の人が増えている。（北部第二）
○コロナ禍でひとり暮らしの家庭訪問があまりできなかったので、心配です。（北部第二）
○団地や低所得、EV がない上層階に住んでいる方への支援を今後どうすればいいのか。事業所としても気がかりに感じている。（北部第二）
○どこまで高齢者の方の日常生活に関わってよいかわからない。（北部第二）
○認知症・疾病のある方で、本当に困った（進行した）からの相談が多く、すぐのサービスにつなげられないこと。（北部第二）
○ひとり暮らしの方が多く、話し相手がほしい。（北部第二）
○独居の高齢者が増えていること。「人様に迷惑はかけられない」とギリギリまで一人で解決しようとして、どうしようもなくなってから、他人の知るところとなる人が多い。「もっと早く、誰かに相談してくれたら…」となるケースが多い。（北部第二）

### （2）子どもを育てる環境に関すること（24 件）

○核家族が多くなっており、人との関わりが少なくなっているため、集まる場所の提供をしていくことが良いと考えたからです。（東部第一）
○家庭力が落ちているように感じます。忘れ物が極度に多い、朝食を食べてこない、つくらない等（東部第一）
○教員の負担増にならないで、例えば中高生パワーを取り込めないか。（東部第一）
○子どもに対して、しつけとは言えない言葉や行動に対して、ご近所の方から話を聞いたので、児童委員の方に相談した。（東部第一）
○子どもの生活状態を知るすべはなく、何かの手助けをしたいと思っても個人レベルでは無理だと思います。現状子ども食堂等、外的支援ができればその点から入り込むことが少しずつできる可能性があるかもしれない。（東部第一）
○コロナ禍で子どもたちはたくさんの我慢をしていると思う。地域の近所付き合いが希薄になってきている中で、子育て世帯が孤立しないような対策がさらに必要となっているのではないか。（東部第一）
○子どもが安心・安全に過ごせる地域の居場所（東部第二）
○子どもに発達遅延があるのだが、保育園に入るのに加配が付けられず断られそう（人手不足のため。）。（東部第二）
○コロナの今、家庭力のない家庭で育つ子どもたちの家庭の現状を見てほしい。（東部第二）
○子ども子育て家庭を支援する地域の活動の消失（西部）
○子どもを保育園に預け、働いている息子夫婦。預けるために働いているような感じ。子育て世

帯への負担の軽減を望みます。（西部）
〇子ども会が無くなり、どこにどんな子が住んでいるのか把握しづらくなった。よって、何かあった時に支援ができない（防災）。（南部）
〇子どもの生活の実態が見えません。石神地区は小学校の学区域が３か所（石神小、八石小、栗原小）に分かれており、PTA との連携が取れていません。地域としては学校だよりを配ることや、栗原小の送り迎えを個人のボランティアが行うなどが精一杯です。（南部）
〇子育て世代が子どものこと、教育のことなど、お互いに情報交換したり、相談したりできる場があるのか？（北部第一）
〇遊び場（北部第一）
〇大和田小学童に駐車場がなく、時に天気の悪い時などコンビニや路上駐車場が多い。子どもたちのことを考えるとしっかり駐車場をつくり、親も子も安全にお迎えができるようにしてほしい。（北部第一）
〇近隣と付き合う機会が減っていることで、子育てしている親が孤立していないかどうか。子育ての悩みがあるのに、どこに相談してよいのか分からず困っていてそのままにしている家庭はないか？（北部第一）
〇子どもたちが十分に遊べる公園がない。（北部第一）
〇児童の不登校の相談を受けた。近所の方からごみの収集について相談を受けて市に連絡したが、解決できない！！（北部第一）
〇働きたくても、子どもがいてなかなか就活ができない状況の家庭が多い中、一時保育が人数オーバーで利用できないという声が多く聞かれる。一時保育や、それに代わるような施設の充実が望まれていると思います。（北部第一）
〇緊急事態宣言で、学校や幼稚園が休みになった時に、公園で遊んでいたらクレームがきた。子どもの行き場所がなく、子育てのしにくさを感じた。地域でのコミュニケーション不足が表面化したものでした。（北部第二）
〇子育にうるさいとの声がある。（北部第二）
〇子どもや若い人たちが気楽に集まれる場がない。（北部第二）
〇近くの公園で、子どもたちの遊ぶ声・ボールの音、時間等が気になるとか。（北部第二）

## （３）孤立の防止に関すること（24件）

〇高齢者の中には、足腰が弱り外出が不要で表に出なくなり、近所付合いがない人がいます。近所の助け合いが大事です。（東部第一）
〇高齢者のひとり暮らしが増えています。コロナ禍の中、家にこもり近所の人との会話もままならず心配です。（東部第一）
〇足の不自由な人の外出及び地域活動の参加促進、及びひとり暮らしの人の社会参加。どこで何が行われているか知らない人が多いため広報の工夫が不足している。（東部第二）
〇コロナ禍の中で、町内会でも亡くなられた方の把握に半年以上かかってしまいました。高齢者の孤立を把握するのも難しい状態です。（東部第二）
〇孤立の防止について、介護予防のためにも重要視しなければならないと思う。高齢者の独居が増加している気がする。（東部第二）
〇高齢者の孤立、孤独死の問題（西部）
〇住民の孤立化。隣人や地域での関係やつながりづくりの消失（西部）
〇コロナで人のつながりが失われて、復活できるのかということ。（西部）
〇高齢者が多くなってきたのに、反比例で近所の付合いが少なくなった。こんな時代だから地域福祉支え合い、近所の交流をいかに必要か、その支援を…。（南部）
〇近所とあまり関わりをもたず生活していたが、高齢になり孤立傾向にあると思います（男性に多い様に思います）。（南部）
〇密の回避の裏で、独居高齢者の孤独死が増えている。避難行動要支援者のみならず、独居高齢者をも含めた支援のネットワークが必要と考える。（南部）
〇老人会が廃止になり、集まれる場所がなくなり、孤立、孤独になることが心配です。また、社協の食事会も中止なので。（南部）
〇ひとり暮らしの老人で、体も弱く友人もなく、こもりがちな方がいる。（北部第一）
〇何らかの理由により、孤立化している方への支援について、支援、受入、拒否等の場合の対応が難しい。（北部第一）
〇開設しても来て下さる方はいつも決まっていて、いろんな場所で楽しんでいる様子ですが…。それでよいのかもしれませんが、本当に孤立し

ている人は来訪されてないのが気がかりです。（北部第一）
○アパートのひとり暮らしの方は見つけにくいと思いますが、民生委員時代に大変収穫も多くありました。こんなことを書くと現在の民生委員に叱られると思います。話では社会調査はなくなったと聞きました。（北部第一）
○高齢者のひとり暮らしや高齢者夫婦が多いため、家に引きこもる方が出ているのではないかと心配（北部第一）
○単身生活者が増えている（高齢者だけでなく）。（北部第二）
○孤立している人たちが地域コミュニティに入るための仕組みがない。（北部第二）
○町内会に非加入者で孤立している高齢者がどこにいるか見えません。とても心配です。（北部第二）
○高齢者の引きこもり（北部第二）
○高齢者世帯が多く、町会会員が減ってきている。独居世帯が増え孤独死が心配。地震や水害への不安はある。（北部第二）
○コロナ禍で人に会う機会がない。そういった場も少ない。（北部第二）
○新型コロナ禍、孤立が進み地域のつながりが少なくなった。（北部第二）

### （4）生きがいづくりや社会参加に関すること（23 件）

○近所の高齢者の方々が外出する機会が少なくなり、ほとんどお見掛けすることがなくなっている。（東部第一）
○高齢者のお話する場がない。１日中誰もが話さず発散させる場や情報を得る場がなく、寂しいと話す方達が多い。老々介護で気持ちが沈んでも、しゃべる相手がいない。ストレスがたまるという方々が多い。（東部第二）
○コロナ禍で、見えない部分に高齢者の閉じこもりや孤立化・心身機能低下等の問題があります。（東部第二）
○コロナ禍も重なって社会参加や他者との交流の機会が減っているので、コミュニティで集いの場があると地域の活性化にもつながると思います。（東部第二）
○ひとり暮らしの年寄りがいるのも現状で、話す機会もなく孤立してしまう。気軽に立寄れる環境の場所を提供するなど市でも対策を考えてほしい。（東部第二）
○コロナ禍で、高齢者の集まる場所も少なくなり、ひとり暮らしのお年寄りの方が歩きづらくなった、体が痛くなった…と外へ出たり、集まって運動、体を動かしたりすることができなくなったので、少しずつでも以前のような誰でもが利用できる場所があれば良いと思う。（西部）
○コロナ禍により、もともと少ない社会参加の場がさらに減った。（西部）
○市報にはいろいろな催し物、講座等の案内がありますが、年配者は足がなくて行けません。選挙にしても投票に行けません。対策がほしいと思います。（西部）
○高齢者が外出する手段が少ない（交通の不便さ）。（南部）
○高齢者はコロナ禍で特に出掛けなくなり、身体状況も悪化。コロナの中でも生きがい（社会参加）となるイベントやサークルなどを続けることができる事業を考えていく必要があると思います。（南部）
○コロナの影響で外に出る機会が少なく、電話対応が多くなり、耳の聞こえにくい方などには厳しい状況です。（南部）
○新座市全体で集まる所（事業）がなくなっている。コロナ禍で自主グループが閉じたままになっている。（南部）
○まだまだコロナ感染の影響で、町内会の行事やお食事、会食会などが開催できず、少しずつ感染状況を見て、開催できることから始められたらよいかなと思います。（南部）
○コロナ禍において、高齢者の外出時間、場所が減少し、身体的、精神的低下が見られること。（北部第一）
○高齢者が増えていく中で、少しでも外出できる環境を作り上げることができると良いのではと思います。（北部第一）
○コロナ禍でイベント中止、体力不足（北部第一）
○東北コミセンで高齢者の方の健康づくり、生きがいづくりを目指しておりますが、東北コミセンが市役所の出張所と本の貸し出しも行っており、手狭になっております。大切なセンター活動をもっと重要視してほしいです。（北部第一）
○リタイア後の男性高齢者の地域社会との関わり方を促進するための活動（NPO 等）（北部第一）

○コロナ禍の影響により、人々が集まることが困難なため、交流ができない。そのため、課題が見つけにくい。（北部第二）
○ふれあいの家の休みが増えて、また利用に制限が多くなり、活発な利用が減った。（北部第二）
○町内会活動等、近所付合いに参加してくれる人が少なく、集合住宅の居住者が行事に出てこない。（北部第二）
○乳幼児から高齢者まで交流できる場が必要だと思います。仕事で（新聞記者）訪れて東京と豊島区にあるような「区民の広場」（区内 26 か所一人口 24 万人余）がモデルになると思います（小学校の校区に１つずつあり）。（北部第二）
○通いの場がある地区、ない地区がある。（北部第二）

### （5）ごみの減量など生活環境に関すること（23 件）

○高齢者のひとり暮らしの方が石油ストーブを使用している。ご主人が亡くなられて、ごみ当番をしない人がいるが、日常の生活は自転車で買物ができるのに、ごみ当番をしない。息子が同居しているのに孤立気味である。（東部第一）
○高齢者のごみ当番について。（東部第一）
○家の周りにごみが山積み（東部第一）
○外国人の多い地域です。ごみの出し方を市の清掃員が定期的にごみのある場所に巡回して指導をお願いしたいと思います。（東部第一）
○高齢により、ごみ当番ができない人が増えている。（東部第一）
○当地域ではごみ当番～班長が順番に回って来る。一人家主が４件、空家１件生活している。できない、しない等があります。生活状況も様々で、ある程度余裕のある家、年金が頼りの家、生活支援を公平に。非常に難しいことです。（東部第一）
○公道にタバコの吸い殻のポイ捨てが多い。（東部第二）
○ごみ当番ができない方が増えています。市民に優しい市としての収集方法を考えています。協議体や協議会が収集方法について検討する力があれば良いですが、ありませんね。自然発生的な見守り活動をと提案しましたが、肩書きがないとできないとの意見もあり、やる気になりません。（東部第二）
○ごみ出し（火・金の生ごみ）（水曜日のリサイクル）等々の処理が現在はよいが、当番制のため、高齢になるのでいつまでやれるか不安になる（現在 80 歳）（西部）
○時々仕事関係のごみが出されている。住民以外のごみも再度ごみ出しの注意を！（南部）
○収集時間、午後収集１時半～２時頃（生ごみ）カラス害・臭い・ごみの散乱あり。３時以降になる時もあり、見直しが必要では!!（南部）
○高齢者のごみの出し方に問題ある。（南部）
○ごみ処理、カラスの食い散らかし（南部）
○ごみの不法投棄（南部）
○ごみ当番の負担の問題（南部）
○アパート入退所の時、不動産屋、大家さんがごみの正しい出し方を説明していないのではないか？（北部第一）
○道路がごみ収集場になっている住宅街でのごみ当番について、高齢でごみ当番はできない！とごみ当番から外れる方が多くなっています。ひとり暮らし高齢者の多い住宅街でのごみ出し、ごみ当番問題はどんどん深刻化しています。（北部第一）
○老齢化でごみ出しの変化（北部第一）
○ごみの出し方についてトラブルが多いです。（北部第二）
○ごみ当番ができなくなる心配から、町会を退会する高齢者がいます。そして孤立化してしまうケースが気がかりです。（北部第二）
○地域に知合いのない方（例えば他の国の方）等、出し方に考え及ばない方々（北部第二）
○ごみの出し方がよくない。市・UR に強く PR すべき問題（北部第二）
○転居されてこられた方がごみ出しルールなど近隣の方と上手な付合い方ができていない。（北部第二）

### （6）防災に関すること（22 件）

○自助についてはよろしいが、共助となると共にできないことが非常に多くある。（東部第一）
○災害時には 30～４０代の働き手は出勤しており、地元にいるのは生徒層である。（東部第一）
○災害時（火災含む）の相互支援や訓練について。（西部）
○避難行動要支援者の対応。①訪問の可否（特にコロナ時期）。②該当者が一見健康そうで、テニスをしているとの言動あり。③実際に起きた時に支援できるか？（西部）

○防災の避難場所が石神小学校になっているので、高齢者が自力で避難することは難しく、ご近所での連携が課題！（南部）
○高齢者が増え、その方達を支えるマンパワーがない、そのため高齢者の孤立化が進み、災害の際の支え合いが難しい。（南部）
○地震等の大規模火災の対応。振り込め詐欺等の増加に対する対応（南部）
○地域の防災対策が遅れているように思います。特に、福祉防災（福祉施設の防災）についてです（令和５年までに福祉防災が義務付けられています。）。弊会にはそのプロセスを推進していくマニュアルがあります。（南部）
○「避難行動要支援者名簿」が生かされていない。町内会との連携、支援体制が確立していない。（北部第一）
○地域での防災訓練が行われていないため、開催してほしいと思っている。（北部第一）
○避難所運営の組織がしっかりしていない。学校、地域、行政が一体となった運営委員が必要。避難所訓練のとき、学校関係者が一切出席していない。（北部第一）
○首都直下地震、埼玉で過去に発生した地震などについての地域の理解（北部第一）
○自分も含めて心配です。（北部第一）
○災害時の具体的な支援内容が不明なこと。（北部第一）
○町内会があまり機能していないので、災害が発生した場合、混乱が予想される。（北部第一）
○マンション暮らし、隣は何をする人ぞ、人付き合いがほとんど無く（難しい生活住環境）、子育て世代でもなく、ペットの散歩もなく団地用の集団活動もなく、非常事態発生時の対応に不安を感じる。（北部第一）
○コミュニティとしての防災の取組が遅れている。防災を考えることから、日常の支え合いを展望する取組につなげたい。（北部第二）
○50 年ほど前に、高度経済成長の担い手として全国から来た人たちの住居として造られた地域の高齢化が顕著になっています。個人の人生の終着を充実して過ごせる地域であってほしいのですが、現実はなかなか…。自主防災会の高齢化、まして昨今は水災と地震とかが心配という中、いざという時の対応ができるのか？とても心配です。（北部第二）
○高齢化もあり、地域での付合いの希薄化が心配。災害の際対応ができるかどうか。（北部第二）
○災害発生時における避難所までの運送や、移動手段としてのリヤカーが１台しかないので、複数台保有する必要があるのではと気がかりです。その他の方法があれば教えてほしい。（北部第二）
○自主防災会が機能しているだろうか。（北部第二）
○自主防災会として、月に何回かパトロールを行っていますが、このコロナ禍により制限（回数）を行っています。（北部第二）

### （7）町会活動に関すること（21 件）

○住宅（町会）が、高齢化してコミュニケーションが取りにくい。（東部第一）
○町会、自治会等で何かできないか。（東部第一）
○町内会が形式だけの面が多く、身近な生活に関することに関わってほしい。（東部第二）
○町内会をやめる人、入らない人が増え人と人のつながりが少なくなっているように感じます。（東部第二）
○現在所属する町内会の１班ですが、町内会会員が減少（20 世帯ぐらいから 11 世帯へ）し、残る会員さんは自分を含め高齢化！　私自身も 75 歳を越えました。この班の将来が心配です。（西部）
○高齢の方の町内会からの脱会が多くなっています。つながりとして、高齢になってからが必要なのではと思います。防水など、近所で助け合える町づくりをもっと進めないと、作っていかないとなくなってしまうのではと心配です。（西部）
○町内会の活動に協力したり参加することが難しくなるからと、町内会から抜けてしまう高齢者が増えている。地域のつながり、支え合いが無くなってしまうのではないか。（西部）
○町内会の行事やサークル活動等の中止によって会話をする機会が減り、生活の様子が見えてこない。コロナ禍で活動しにくい。（西部）
○町会活動に参加者が少なく限られた人になる。（南部）
○ごみ当番、町内会費（支払いをしたくないと考える方もいる）。ごみ当番やらない人もいて、不公平感が発生。町内会という組織をなくすところも増えているということを度々聞く。（北部第一）

〇高齢化に伴い、町内会の役員のなり手がいない。（北部第一）
〇高齢によると、町会を辞する人が増え、ますます交流がなくなることが心配（北部第一）
〇町内会を退会する住人が多い。（北部第一）
〇隣近所との関係性がない。町内会の加入について話が来ない。（北部第一）
〇ひとり暮らしの高齢者や、または中年でも日中働いているからごみ出し当番ができないという理由で町内会を退会したいという人がいます。（北部第一）
〇民生委員の担当地区は、80 代の方々が増えてきてごみ当番ができない。「町内会の班長ができない」と脱退する方が多い。今は何とかお互いに助け合ってしのいでいるが、数年先にはかなり大変なことになりそう。社協等のボランティア活動を担う方々も高齢化が進み、活動自体が先細り、「自助」といわれても自らお互いを助けるという行動はなかなか浸透しない。（北部第一）
〇町会内に近所付き合いのトラブルで相談がある。（北部第二）
〇町内会活動入会者が少なくなる中での活動方法や必要性の件が気になる。（北部第二）
〇町内会について、集合住宅に住んでいると、加入がしにくい。一度加入したが、その後年度替わりの手続きができず、集合住宅にいて回覧板が回らないことや、平日の日中に市外に通勤していることで、加入のハードルが高いことと実感した。若い世代に限らないかもしれないが、町会未加入者の中に加入希望者、加入に関心がある人がいるということも知ってもらいたい。（北部第二）
〇マンション住民の町会脱退問題（北部第二）
〇コロナのため、町会行事、社協活動がこの２年間イベントなど中止、ますます高齢化する町内メンバー班長さん辞退、町会退会、今後どのように注意していくか…情報交換の場が設定できないのが問題（北部第二）

## （8）近所付き合いに関すること（14 件）

〇（孤立）世代の移り変わりで、近所同士のふれあいが少なくなった。（東部第一）
〇同じ班内でも顔を合せて話し合う場がない。（東部第二）
〇近所間のトラブルで相談されることがある。近所とのお付合いがない高齢者が多い。（東部第二）
〇最近は近所付合いする方が減り、あまり近所と接触がないため、どのような方が住んでいるか？　わからないという現状があります。（東部第二）
〇最近、近所付合いも少なくなり、特にマンションやアパートの場合、隣の人も知らないことが多くなっています。（南部）
〇核家族が増え、高齢者も増え、近所付き合いもずっと前から住んでいる方々のみとなってきた。（南部）
〇ご近所でもお顔合せることが少なくなり、お元気なのかどうなのかも、気軽にお聞きできないこと（言葉をかわせない。）が、とても寂しく残念です（私も皆様も引きこもっている。）。（南部）
〇自宅近くにアパートがあり、その居住者の一部の人とは会話するが、その他の人とは対話が難しい。（南部）
〇地域におけるつながりの気薄化による。（南部）
〇近所の交流はほとんどない。（挨拶もしない人がいる）。（北部第一）
〇多世代が自然な関係を作ることができる機会、場所がない。（北部第一）
〇高齢者に限らず、コロナ禍で人との交流が無いことが不安（北部第一）
〇コロナ禍で、近所付合いがさらに後退している。（北部第二）
〇新しい家ができ、交流が難しい。解決には時間がかかる。（北部第二）

## （9）障がい者の生活支援に関すること（12 件）

〇支援に必要な家族に様々な障がい（言葉、家庭内の間違いなど）があり、子どもが安心・安全な環境で過ごすことができていない現状が少ないがあります。（東部第一）
〇民生委員として、障がい認定を受けていない成人（高齢者でない）の方に対し、行政へつなげるまでの難しさを感じた。その方の家族が地域包括や健康センターへ相談へ行っていてくれたのが幸いして行政へつなげることはできたが、「障がい認定を受けていない成人」というところで地域包括でもなく、障がい福祉課でも

なく、保健センターは「病院へ掛かって下さい」とだけ…。役所のどちらから支援を受ければ良いのか、明確にして頂きたい。（東部第一）
〇障がいのある方の「親なき後の生活」をどうやって支えていくかを検討して、支え合える地域を作っていく必要があると考えます。（南部）
〇障がい者に対してどう関わりをもてばいいのか、逆に関わりをもたない方がよいのか、何かあった時気になります。（南部）
〇障がい者の養育支援（南部）
〇福祉バザーなどの開催ができない近年、障がい者の方やその家族が（自力していく手段の方法が減ったという意味で。）困っていないか気がかり。（北部第一）
〇新座市は障がい者が高校に行くのは…和光市には行けず、所沢まで行かないといけないので、和光市に行けるようにしてほしいです。（北部第一）
〇孫が車椅子に乗っています。バスに乗る際「車椅子お願いします」と伝えても、ベビーカーと間違われることが多いです。ワッペンは 2 か所ぶら下げています。（北部第二）
〇障がい児の分離保育・教育が進み、地域での共育・共生の土俵が築けない。（北部第二）
〇親なき後の障がい者の生活支援について、どこまで住民の方に協力してもらうことが可能か？　社会資源が少ない。（北部第二）
〇障がい者が地域で暮らす時には地域の皆様の理解や支援が必要となる時もある。子どもから高齢者、障がい者など誰もが住みやすいまちづくりを考えていくには、地域全体で取り組まなければと思うが、なかなか前へ進めない。（北部第二）
〇障がい者ご本人の生活支援だけでなく、そのご家族（特に高齢化する両親）の支援についても、今後の課題になっていくと考えます。（北部第二）

## （10）防犯に関すること（8 件）

〇大声などで怒鳴る（飲酒）家族も抑えられない。定期的にパトロールをお願いしている。（東部第一）
〇治安が悪くなってきたと思う。（東部第二）
〇人とのコミュニケーション、家族の中でのコミュニケーションが浅く、詐欺や窃盗などの事件が多くなった現在はご近所との付き合いが大切なのに、未然に防げるのに防げなくなってきた。（南部）
〇防犯に関することについて、高齢者宅が多いこと。（北部第一）
〇昼間高齢者だけで、電話詐欺が心配です。（1 対 1 のやり取りで気が付かない。）（北部第一）
〇不審者が多いように思います。（北部第一）
〇不審者情報が多発している。（北部第二）
〇新座は犯罪が多いので、家の周りに家も少ないので不安（北部第二）

## （11）自然環境や歴史・文化の保護に関すること（16 件）

〇新座市内の森林が減少しているのが残念だ。（西部）
〇野火止用水にプラスチック、缶、ペットボトル、スーパーの袋等を投げ込む人の数が増えていること。また、林の中にスーパーの袋に詰めたごみ袋が 20 個以上投げ込まれていること。2 袋ぐらいはカラスが散らかし中身が散乱している状態で、見るたびに心が痛む。（西部）
〇野火止用水の管理にもっと予算や力を注いで頂きたい（欅の木は 2 年毎に大幅に伸びる。堤の土は水路に落ち続けている。）。（西部）
〇「市は観光に力を入れる」と言っているわりには、雑木林を伐採する。（南部）
〇野火止用水の管理は大変だと思いますが、高齢者の散歩コースで自然を感じることができ、これからも是非残していってほしいと思います。（北部第一）
〇地域の歴史文化を感じる取組が必要（北部第二）

## （12）低所得など生活困窮者の支援に関すること（4 件）

〇低所得など生活困窮者については支援すべきで、現在、政府与党の言う給付金については非常に疑問がある（新座市ではこのようなことのない様お願いします；）。（東部第一）
〇困窮している人が増えて何かしなければいけないような気がしますが、何してよいかわからない。（西部）
〇外からは見えずらい貧困、年金額が少ない。病院に行けるお金がない。税金が滞納されている。（南部）
〇コロナ禍で飲食関係のパート切り等、低所得者世帯がさらに困窮している昨今、どのように支

援していくのか？（北部第一）

### （13）青少年の育成に関すること（3件）

〇他の年齢層と違い、青少年に対する育成などへの対応、支援などが少ない、もしくはない気がする。孤立などの原因になっているのでは。（西部）

〇青少年育成において、彼らが自分の育ったまちについて考える、或いは思い出すような状況や年齢になったとき、あの頃は良かった、楽しかったという記憶を少しでも増やしてあげるための活動、イベントについてあまり知らないということ。（北部第一）

〇地域に子育てや青少年育成の組織が無くなって久しい。このままでは、子どもや青少年の将来的なことが気がかりです。（北部第二）

### （14）健康づくりに関すること（2件）

〇高齢になってくると、体が思うように動かなくなって大好きな趣味や関心事にも意欲がなくなります。そうならないように健康づくりには気を配り、そこから生きがいとなるものを思い出して行けたらよいと個人的に思っています。（東部第一）

〇外出を控えて進行するフレイルが気がかりです。（西部）

### （15）子どもや高齢者等への虐待に関すること（2件）

〇高齢者世帯が多く、昔のように近所付き合いもなく、孤立しており、虐待など問題がここ２年で倍以上になっている。（西部）

〇コロナ禍で家庭の中に閉じこもり、虐待が起きたとして見えにくい構造となっていること。（北部第一）

### （16）外国人に暮らしやすいまちづくりに関すること（1件）

〇文化の違いで理解できていないことで差別（？）される。→ドイツなどは、まず文化教育をしているようです。（北部第一）

### （17）その他福祉に関すること（30件）

#### ①困りごとなどが見つけにくいこと（6件）

〇自分自身が活動に時間的制約があったり、コロナ禍により人と顔を合す機会が少ないため、地域の課題をしっかり把握できていないことがまず気がかり。（西部）

〇この地域に住んで15年程になります。最近まで都内の職場に通うのみで、民生委員の役を引き受けたものの、地域の実情に疎いままです。自分なりに訪問等して努力しているつもりですが、打開できていない状況です。表立ってはいませんが、気がかり点は沢山あると思います。（南部）

〇専門職が職場の中に閉じこもり、地域や家庭で起きていることに対応できないでいること。（北部第一）

〇現況の把握がなかなか進まない。（北部第二）

〇個人情報やプライバシーもあり、生活実態が簡単に把握できない（民生委員活動の実態と支援内容がよく見えない。）。（北部第二）

〇町内会に加入していない住人の情報がないため、非常時に対応できない。（北部第二）

#### ②福祉意識の向上に関すること（4件）

〇自己中心者が多くなってきた。共存意識がなくなりつつある。（東部第二）

〇地域住民に福祉の考えが根付いていないこと。（北部第一）

〇地域全般の環境整備等への参加意識が低い…。（北部第一）

〇地域との関わりに興味を持たない世帯が増加し、困難に対しても各個で抱えることが増え、また建物の構造上見えなくなっている。更に公園が少なく交流の場面も減少気味、自分さえよければ…というのも、ごみなどの問題へ。（北部第一）

#### ③8050問題に関すること（3件）

〇8050問題（西部）

〇8050問題の対応（南部）

〇高齢者と息子さんが一緒に暮らしていて、いい年齢の息子さんなのに、親に頼りすぎている親子（南部）

④財産管理に関すること（１件）

○高齢者の方で金銭管理ができず、後見人の話をしたが、お金がかかるため保留になる。また、その方のところに近所の方がお金を借りに来るが、もういくら貸しているのかわからないくらい。「500 円、1,000 円貸して」と来るのでできるだけ貸さないようにと話をしているが…。（北部第一）

⑤その他福祉に関すること（16 件）

○当市は福祉関係予算がバッサリ削られ、近隣の福祉職間でも話題になっている。（東部第一）

○ネットワークをしっかり作るべきではないか（プライバシーの問題はあるが…。）。（東部第二）

○地域の役員が一人で何部会もやっている。そのため高齢化が進む中で役割の分散が必要ではないでしょうか。（西部）

○財政非常状態宣言により、福祉サービスが縮小されている。（西部）

○高齢者の運転が心配。自分から運転をやめるといわなければ、事故を起こすまで放置している警察や自治体に疑問を感じる。自ら買い物や病院などをお願いする人は少なく、自治体から個人へ、何歩も進んで声掛けやサービスを行ってほしい。（西部）

○協議体で主に取り組んでいる項目にチェックを入れました。協議体参加者の関心度が高く、問題解決に向けた取組が優先度が高い項目だと思います。（南部）

○これからの老人会のあり方について、現在役員が減っている。会に寄せるあり方も。昔と違って束縛されずに趣味を活かしたい人が多い。……語り合う機会が少ない。生活支援は一番大切なことと思います。健康のこと、食事のことです。（南部）

○問３の１～15 ほとんど全ての項目が地域にとっては大切な問題です。外国人が増え、近隣との接点や日常の生活支援、また高齢者の外出や生きがいがコロナ禍で見えにくくなっています。（南部）

○当地区の地域活動は、うまくいってきているとは思うが、短中期的な新たな方向付けが必要かと感じている。具体的には、高齢化対応の中での施策を、一つずつ組み直していくことが必要です。（南部）

○民生委員の行動、高齢者の見守り（南部）

○今、身近でそういう対象者はいないのですが、自分自身何もわからないので、わからない時に窓口がどこにあるのかを市民が誰でも分かるようになるとよい。（北部第一）

○伝えたいことが多過ぎて書ききれない。（北部第一）

○訪問する正当な理由がほしい。（北部第二）

○多人数での会議が思うようにできない。（北部第二）

○介護サービス以外のちょっとした困り事をつなげる先がない。（北部第二）

○やってあげるだけでなく、本人自らの気付きを促していけるような対応を考えて、本当の支援になればと思う。（北部第二）

## （18）その他行政に関すること（19 件）

①道路環境に関すること（10 件）

○道路整備（東部第一）

○家庭から公道に木々の枝がはみ出し、伸びた枝に通行人がケガする危険性の高い歩道があ。傘や顔などにあたる。（東部第二）

○車の交通量が増えているが、道路が狭いこと。（東部第二）

○ごみのポイ捨てや犬の糞の放置が時々みられること。（東部第二）

○車の通りが多く危険（東部第二）

○安全な歩道が少なく、高齢者が安全に散歩したり、外出したりする環境ではない。白杖の方や電動車いすの方を見かけるとイライラしてしまう。20 年前の旧道らしさが消え、ドラッグストア販売店ばかり増えて、落ち着きのない町になってきた。（東部第二）

○車をよく私道に止めて置く人がいるので気になります。（南部）

○自転車・バイクが常に道路上に停められている（大きな車が来た時は移動したりしている。）。（北部第一）

○歩道が狭く、信号も少ない（市内全域で言えます。）。（北部第二）

○志木駅の 3 階にある本屋に行きたくてもエレベーターがなく行けないことです。（北部第二）

②公園に関すること（４件）

○地域の公園などの草刈りなどを、自助対応で進

められれば。（東部第一）
〇中原町内会には公園がないこと。（西部）
〇近くに集会所、公園などがない。（北部第一）
〇公園の使い方や、住宅街の中で習い事をしている場所の騒音問題に困っている人がいる。（北部第一）

③その他行政に関すること（５件）

〇ここ半年間に、複数住戸について、騒音（含、ペット）苦情が寄せられているが、広報誌で「互いに気をつけましょう…」との対応でとどまっている。（東部第二）
〇資料館の充実を…。（南部）
〇騒音問題（北部第一）
〇空き家が多いが、持ち主がわからない。（北部第二）
〇個人商店が不振で町や地域が暗くなった。（北部第二）

（19）その他（３件）

〇将来起こりえるであろうということで、具体的にはありません。市の内容を見ておきたいと思うし、外に出る機会を作りたいと思います。（東部第二）
〇空き家の近隣住民から空き家の庭の木の枝のことで相談があり、交通防犯課の方に近隣住民ご本人から直接電話してもらい対処して頂きました。（南部）
〇企業として、地域にどの様に貢献できるのか思案しております。小・中学校への次世代育成教育など、何かお役に立てないかと思っています。（北部第二）

## 2-2　感染拡大による影響（問 4-1）

問４-１　上記で答えた影響について、具体的に記入してください。

### （1）通常通りの活動ができている（8件）

○今までは制約が大変でしたが、現在は平常に戻りつつあるので安心しています。（東部第二）
○貧困などが多くなり、活動が増えた。（東部第二）
○外出・買物・近所付合い・運転その他普通に生活している。（西部）
○コロナ禍でも高齢者の方から連絡があった場合には、感染対策をして訪問をさせて貰っています。（南部）
○最新の注意を払って業務を推進している。（南部）
○今年はスポーツ施設は使用禁止がなく活動できている。（北部第一）
○密を避け人数を制限しながら、感染予防に気を付けています。（北部第一）
○ほとんど影響受けていません。（北部第二）

### （2）活動に制約や影響を受けている（233 件）

○会議の延期や中止があった。（東部第一）
○会議の中止や、人数制限により会議に参加できない。勿論、活動もほぼできない。（東部第一）
○活動ができなかったことや、人に会って話したかったことが制約されてがっかりした。（東部第一）
○活動施設の使用人数の縮小による活動中止（東部第一）
○感染を防ぐため、会議、イベントができなかった。（東部第一）
○県外への活動の制限など。（東部第一）
○公民館の利用がしにくかった。（東部第一）
○サークル活動、訪問活動、お茶飲み等、いきいき広場（東部第一）
○昨年は訪問に関してピリピリしていましたが、今年は相手の方も少し変化があり、心良く応対をして頂けています。（東部第一）
○三密回避のため交流の場が持てなくなり、会員の動向がわからない。活動も役員が中心になり、かろうじて行っている。（東部第一）
○時間制限・人数制限・飲食制限によって、自由に楽しい交流ができない。（東部第一）
○集会所での食事会、今としてはイベント中止（東部第一）
○集会所の使用期間が短いので、会議ができなかった。（東部第一）
○集会所はここで多少使用が緩和されたようだが、いきいき広場に関してはコロナウィルスの感染症と同時に管理人の人件費の問題とのことだが、優先順位を上げて議会で一刻も早く可決し、広場を開放して頂きたい（高齢者の方々が心身共に困り果てていますのでお願いいたします。）。（東部第一）
○生活介護事業所へのボランティア支援が令和３年１月より出入中止となっている。（東部第一）
○全大会はできず、今年度の事業も難しい。（東部第一）
○地域で行うことに密になるな！　２メートル以上離隔をとる。仲間と合わない。個人個人で行うこと何ができるのかな！！（東部第一）
○町内会のイベントの中止（東部第一）
○直接対話がならずに電話で対話、しかし説明不足や資料等の手渡し時には、先の対話の労に報われない結果が多い。（東部第一）
○定例会の場所が集会所から公民館に変更になったこと。コロナによって訪問する際、訪問先が嫌がらないか心配した。（東部第一）
○党支部は会員が多く、集会所での活動については、人数制限等幅広い活動はできなかった。（東部第一）
○ひとり暮らしの方への見守り、訪問の回数がかなり減ってしまった。（東部第一）
○ひとり暮らしの高齢者宅の訪問回数が減りました。（東部第一）
○訪問できない、拒否される。（東部第一）
○訪問できなかったので、見守り程度で訪問した。（東部第一）
○訪問等があまり行えず、地区を歩いて外から様子を見るなどした。（東部第一）
○本人が面接拒否をすることで、病状が悪化したケースがある。（東部第一）

○毎月の研修会や支部の交流ができなかった。（東部第一）
○面接回数が減っている。情報交換の機会がない。（東部第一）
○集会所での会食が中止。バス旅行の中止（東部第二）
○PTA での活動の再開（東部第二）
○PTA の全体役員を実施できない。委員の活動が縮小（東部第二）
○集まって飲食ができない。子ども食堂も再開できない。（東部第二）
○イベントの会議ができない。よって活動ができなせん。（東部第二）
○色々な行事ができていない。（東部第二）
○顔を合せる機会が減ったため、コミュニケーションや情報交換がとれない。（東部第二）
○気にかかる家があっても、訪問するのをやめていた。相手から話があった時のみ相談にのっていた（今は少しずつ訪問を始めている。）。（東部第二）
○気になる家庭に訪問できないこと。（東部第二）
○行事や集まり等ができないまたは制限がある。（東部第二）
○戸別訪問がなかなかできないので困っている。（東部第二）
○集会、会合、家庭訪問等、人と人とが接触する活動がほとんどできてなかった。（東部第二）
○集会所が使いずらい。（東部第二）
○集会所使用不可につき町内会の事業が中止（東部第二）
○制約があったり、プライバシーの問題で何が起こっているかもわからず、民生委員としての活動ができていない。（東部第二）
○相談ひとつ、訪問・面談ひとつとっても感染リスクが付いて回る。媒介者にならないように業務制限させるを得ない。（東部第二）
○対面調査が難しい。（東部第二）
○町会イベントが中止になった。老人の楽しみであった食事会ができなくなった。（東部第二）
○町内会の活動。会食会等の中止（東部第二）
○町内会の行事が行えない。（東部第二）
○特にイベント関係（東部第二）
○都心に事務所があり、通勤及び会議が開催されない。（東部第二）
○訪問活動ができない状況が多くなっている。（東部第二）
○訪問できない。集まれない（お食事等）。（東部第二）
○訪問できない。集まれない（食事会他…。）。（東部第二）
○訪問なども、感染予防をしていても、拒否されることもあり、実態把握することが困難なケースもある。（東部第二）
○密となるイベントを中止している。（東部第二）
○町会総会が 2 年続けて書面総会となり、会員の生の声や意見が届きがたい！　自粛要請の中で各種イベント（お茶会等）が無く、人に会う機会が減少した。高齢者からは「安否が不明・足腰が弱くなる・認知症の悪化」等の声が届く。（西部）
○入館や職員の訪問について、制約（制限）がある。出前講座ができない。（西部）
○利用受け入れ人数の制限。人の集まる事業などの中止（西部）
○集まりに制約があり、リモートでもできる人が限られる。（西部）
○以前はありましたが、再開されているようです。（西部）
○多くの人が集まる取組は中止になっている。（西部）
○会議ができなくなったり、行事が中止になったりしました。（西部）
○会議等中止になった。研修等も中止になり受けたかった講習が受けられなかった。（西部）
○活動に必要な定例会ができなかった。（西部）
○感染で対人関係に気を付け、自由に動くことができないため、商売ができなかった。（西部）
○協議会の集合会議が中止されている。（西部）
○県外への出張が全て中止となり、テレビ面接で実施した。（西部）
○健康相談を予約制にして密を避けている。（西部）
○健康づくりの体操等の場がなくなってしまいました（いきいき広場）。（西部）
○現在、妻は入院中ですが、面会の制限があり少々気になります。（西部）
○公共施設の利用制限。関係性の分断。孤立化に拍車（西部）
○戸別訪問について、感染への警戒から敬遠される場合がある。（西部）
○施設利用やイベント開催での制限（西部）
○対象者との面接ができず、具体的なフォローが

できないこと。（西部）
〇多人数が集まってのイベント開催等が困難となっている。（西部）
〇地域サークルの休止など、交流機会が減り情報が少なく関わる時には重大な問題になっている。（西部）
〇町会行事（敬老会・お茶会・夏祭り）や役員会ができなかった。（西部）
〇町内会活動ができない。高齢者が多いため、直接会って話するなどが必要なのに集まれない。（西部）
〇町内会の催し物が中止している。（西部）
〇町内で集合した活動ができない。飲食を伴う活動ができない。（西部）
〇通年行われる学校行事が行われないため、活動が大幅に減っている。（西部）
〇月の定例会のみの活動になっていること、今までの活動を見直す必要があると思う。（西部）
〇定期的な事業（人を集める）ができない。（西部）
〇夏祭りの中止や、役員会が一部オンラインで行った。（西部）
〇場所や集まる人数制限（西部）
〇防災訓練、夏祭りが中止、会議を人数制限している。（西部）
〇訪問、面会、面接がためらわれる。各団体 etc との会議が書面会議になったりしている。（西部）
〇見守りが主であり、また人との接触は控えている。（西部）
〇民生・児童委員の活動がほとんどできなかった（毎年・定期的に行事としてなされていたこと等）。（西部）
〇民生委員の積極的な活動ができていない。（西部）
〇面接の制約（西部）
〇メンバーが集って協議する機会が減りました。（西部）
〇集まっての話し合いを終えた後、お疲れ様（お茶会・食事会）ができない。交流ができない。活動ができない（世話役もお客様も）集まれない。（南部）
〇会食会ができなくなった。各家庭の訪問ができなくなった。（南部）
〇社協活動で毎月（1 回）、を高齢の方々に集会所を開放して、それぞれの趣味（手芸・折り紙 etc…）をして頂いておりますが、コロナ禍でなかなか開催できなかった。年に４回の食事会（高齢者）も開催できなかった。（南部）
〇2 年近く町会の活動が休止のため、回覧もなく全く情報がない。（南部）
〇集まる機会に情報交換していたので、それが激減した。（南部）
〇飲食関係から感染発症が第一。不特定多数の集まる場所だから。その場所の設備無くして解決はない。日本列島的実行が必要（南部）
〇多くの住民の参加が可能なイベントができない。（南部）
〇お食事会、おしゃべりの家が中止になっている。（南部）
〇お年寄りの食事会と話し合いの場、子ども食堂、町会のお祭り、お年寄りの旅行（南部）
〇オンラインでのミーティングに参加できない方が多く、話し合いがストップしてしまった。（南部）
〇会食会などできない状況で、お元気な顔が見られない。（南部）
〇該当世帯への訪問を減らした。（南部）
〇各家庭に訪問することができなくなった。（南部）
〇活動の日程変更など。体力・思考力の減退（南部）
〇感染しないようにしていると制約と制限があり、思うように活動できない。（南部）
〇感染の危険を考えると、訪問を控えざるを得ませんでした。（南部）
〇協議会が書面会議や中止になっている。PTA 活動では、会議の回数が通常と比べて減っている。（南部）
〇協議体を開けないことがある。協議体の企画をやれずにいる。（南部）
〇行事等団体で行うことが無くなった。（南部）
〇高齢者のお食事会が開催できなくなったこと。それに伴い対象者への訪問ができず、高齢者の健康面や生活面の状況把握がとれなくなったことなど、コロナ期間中に入院し、高齢者世帯だった方が独居状態になっていることの把握（南部）
〇高齢者の見守り活動ができなくなっている。（南部）
〇声かけ訪問が行きずらい。（南部）
〇個人情報の壁があり、個々の生活状況を把握で

きない。自分自身と個人がつながりにくい現状であり、構築するための時間が必要（南部）
○セミナーや習い事が中止になった。仕事上に必要な高齢者との接触ができなくなった。（南部）
○集会所やふれあいの家の使用制限（南部）
○多人数での集まりができず、コロナ前にしていたことができなくなりました。（南部）
○地域の見守り活動に支障をきたした。（南部）
○町会でも、コロナ禍で行事が中止になり、地域の皆さんが集う機会がなくなった。（南部）
○町会の全てのイベント、行動を中止している。（南部）
○町会の役員会が少なくなった。祭り等ができなかった。（南部）
○町内会、老人クラブ活動及び個人的行動の全て（南部）
○町内会役員等の意見を聞いて、活動の可否を判断する場合、どうしても安全側に傾き、結果的に「中止」等になってしまう。（南部）
○通常の活動に制約され、戸別訪問できていない。（南部）
○定期的な会合が開かれない。（南部）
○ドアホン越しになってしまうので、なかなかお目にかかれない。（南部）
○人が集まる機会が減ったことで、地域の様子が見えなくなりました。（南部）
○人とのコミュニケーション不足。アート作品が展示できない。（南部）
○病院、施設等に入院・入居されている方の様子を見ることができず、本人たちも不安を感じていた。（南部）
○福祉施設の事業者ですが、旅行等の外出のプログラムや、野外での販売イベントがほとんど全て中止になり、参加できない状況が続いています。（南部）
○訪問等できなくなり、行事等も中止になり地域の方の状況がつかめない。（南部）
○保護司として対面との面接が制限されている。（南部）
○毎月開催が不定期になり、課題を進めていく中で、熟さない盛り上がりがない。２時間⇒１時間では。（南部）
○毎月社協の食事会で、皆さんにお会いできて状況確認ができていたが、食事会がなくなり会える回数が減った。訪問してもインターホンで終わる時もある。留守電で出ないのか声も聞けない時もある。（南部）
○前のようにすぐに会うことができなくなっている。（南部）
○密にならないようにするため、行事等控えている。（南部）
○集まって協議ができない（ZOOM）など使えない高齢者もいるので）。（北部第一）
○他所へ出張できない（したくない。）等（北部第一）
○お稽古事ができない・スポーツ関係（大会がなくなる、観戦ができない。）（北部第一）
○旅行に行けない（地方の仲間に会えなくなった。）。（北部第一）
○会が行えなかった（中止など）。（北部第一）
○人と会えない（老人介護施設などに行かれない）。（北部第一）
○定例会などが中止。会いたい人に会えない。（北部第一）
○行事が中止になり人々の様子がわからない。（北部第一）
○研修会等への参加ができない。人との接触ができなかった。（北部第一）
○高齢者対象の活動、イベントが中止になりました。（北部第一）
○今まで得ていた情報が入らなくなっている。（北部第一）
○打合せや会議を控えている。交流の機会が減っている。（北部第一）
○歌声サロン（森の音楽会）など音楽活動（北部第一）
○外出を控え、多人数会食を控え、人との交流が難しい。（北部第一）
○会場の制限があり、人の集まりができなくなった。多人数の会合が難しい。（北部第一）
○会食会や色んなイベントができない。（北部第一）
○介助者不足につき、外出が怖い、困難。助けてください。（北部第一）
○各種の会合が中止となっている。（北部第一）
○グループ（5～6 人）で集まっていたが、ふれあいの家などが利用できなくなった。（北部第一）
○計画通りに進まない。（北部第一）
○研修が行われていない。（北部第一）
○公共施設の利用が制限されることで、打合わせを行えない。（北部第一）

○高齢者対象のふれあい会食がこの 2 年間できなかったため、社協の特例の取組を受けて、お菓子を配って喜ばれた。（北部第一）
○高齢者の見守りや声掛けなど。（北部第一）
○高齢者への対面活動を自粛しているため、生活状況があまりわからない（電話対応はしている。）。（北部第一）
○個人情報が制限されている今、民生委員はあまり必要性を感じない。人数を減らしてもよいと思う。（北部第一）
○戸別訪問ができなくなり、現況がわからない。（北部第一）
○コロナ前強く困っている状況ではなかったが、訪問をしなくなり現況がわからない（洗濯物の状況や照明の状況、ポストの様子市かわからない。）。（北部第一）
○サロン的活動の中止。これまで参加していたボランティア活動の休止及び縮小（北部第一）
○自身の趣味の活動の制約（北部第一）
○仕事の制限があったり、感染症対策に追われた。（北部第一）
○社協の食事会ができないでいる。（北部第一）
○社協のボランティア活動（ふれあい会食、餅つき等）ができない。（北部第一）
○集会等でも各班長さんとの接触時間を短時間で行うようにするため、書類の受け渡し等にとどめている。（北部第一）
○自由に来られるはずの支援センターの利用が完全予約制や人数制限をする状況になっており、利用者さんにとって利用がしづらいことがあります。（北部第一）
○総会資料（決算書）を届けるには書面が総会開催か…。（北部第一）
○対面での会話が減少（北部第一）
○町内会、社協のボランティアの活動が全くできません。（食事会、敬老会、餅つき他）お年寄りの情報が前のように入りません。（北部第一）
○町内会は活動できていないイベントなど、小学校（父親の会）は制限しながら、小規模で行っている。（北部第一）
○月１回のふれあい広場の中止（北部第一）
○集まって会議をすること等（北部第一）
○定例会などが行えなかった。最近は少しずつ行えるようになった。民生委員は高齢者が多いので、感染者が多い時は不安だった。（北部第一）
○登山・揺曲サークルの集会、同窓会等、交通機関や飲食店利用の活動は制約される。（北部第一）
○人が集まれないため、困っている等の情報が入りにくい。（北部第一）
○訪問活動があまりできない。（北部第一）
○訪問活動等が制約される。（北部第一）
○訪問活動や民生委員の行事など。（北部第一）
○本人の行動や心情が見えにくい。（北部第一）
○やはり会って話したがるのがお年寄り。寒くなると玄関先での立ち話でも難しくなり、訪問しづらくなります。（北部第一）
○労災に関する研修会や、体験等できていない。（北部第一）
○老人会の定例会など開催できないでいる。第２福祉センターに行くバスが出ないため、新バスをもっと何便も出してほしい。（北部第一）
○定例会が中止になった。（北部第二）
○活動が制限された。（北部第二）
○集まることができない。（北部第二）
○イベント等、人が集まる機会が取りにくくなっている。（北部第二）
○イベントの自粛等、活動内容の制約により外出を控えている。（北部第二）
○イベントの縮小や中止（北部第二）
○飲食を伴う活動ができなかったり、公共施設は人数制限があり、何でもかんでも自由にみんなで伸び伸びとできなくなっていると感じます。（北部第二）
○飲食を伴う行事ができない。（北部第二）
○大勢が参加して行う行事ができない。（北部第二）
○会議が開けない。（北部第二）
○会議等ができない。（北部第二）
○活動自体ができないこと。（北部第二）
○活動している市の施設が、使用できなくなり、会員が辞めてしまった。（北部第二）
○気軽な声掛けができず、見守るのみ。（北部第二）
○休止した行事が多数（北部第二）
○行事・会議の中止や、縮小にリモート対応など（北部第二）
○業務を行う上で、それまでしていた会社内での行事を行うことができず、楽しみにしていた方に対してフォローを行う。（北部第二）
○居住者宅訪問や、集まりを規制されている。（北部第二）

○緊急事態宣言時は全ての行事を中止した。集まる人数が制限され、多人数の会議を分けてする必要ができた。（北部第二）
○緊急事態宣言により、イベントやサークル活動が中止、中断してしまった。現在も参加人数を制限して開催している。（北部第二）
○近所との交流（北部第二）
○研修ができませんでしたが、だんだんできるようになるのかなと思います。（北部第二）
○公共施設使用が制限される中、私的施設を有料で借り、複合や臨時の立寄り所を行ってきました。もちろん、感染対策に注意して。（北部第二）
○公共施設の利用に制約があるため、話し合いも地域の人々の集いも十分できません。その中で、感染対策しながらできることで、模索して活動しています。（北部第二）
○公的集会所の使用制限があり、情報交換や活動が思うようにできない。（北部第二）
○高齢者の方より連絡があったり、よく周知している方なら問題はないが、マスクをして初めて訪問となると、顔が見えないので一歩家を訪問するのは制約がありすぎる。（北部第二）
○これまでつくってきた地域でのつながりが切れ、孤立化が深刻になっている。地域福祉の理念が否定され、力の弱い人たちがつぶれている。民生委員の見守り機能が働かず、行政のセーフティネットが頼りないものとなっている。（北部第二）
○時間の短縮や書面での会議等（北部第二）
○室内での活動がしづらい。（北部第二）
○集会所での会議活動ができない。（北部第二）
○出勤率を 50%程度にするなど、調整をしています。（北部第二）
○ソーシャルディスタンスや三密対策を行ったうえで活動を行っています。感染防止に対するガイドラインがないこと。（北部第二）
○対面活動での人数制限。コロナ禍での新たな活動の展開。（オンライン活用や屋外活動など。）。（北部第二）
○対面で話すことが難しい。（北部第二）
○町内会活動（北部第二）
○町内会や団体などからの情報提供を多くするためにはどのようにしていくか考え、また以前のような活動を取り戻せるか皆で考えていく。（北部第二）
○直接の訪問は控えている。（北部第二）
○人が集まりにくい。（北部第二）
○ふれあいの家での会議開催ができなかった。行事も行えず会員との新睦は行えなかった。（北部第二）
○訪問回数が以前に比べて減っている。（北部第二）
○訪問ができないこと。（北部第二）
○密にならないような広い会場等あれば？　今現在考慮中（北部第二）
○ユニサークルの活動場所を失った。地域交流のためのカフェができなくなった。（北部第二）
○利用者が楽しみにしているイベントなど、行事ができない状況になっている。（北部第二）

### （3）活動ができない状況になっている（71 件）

○会議が行われず書面上。行事もない。（東部第一）
○会社としてストップしている状態です。（東部第一）
○コロナ前に実施していた活動が休止しているのみならず、コアメンバー以外の会議が行われていない。オンラインに対応してない。（東部第一）
○集会はできず、個人宅訪問もダメでした。（東部第一）
○町内会等の活動が難しい。（東部第一）
○2 年間何もしていません。（東部第二）
○以前から続けてきた活動ができない。（東部第二）
○協議体が始まったばかり（再開）なので、活動の具体的なところまで進んでいない。（東部第二）
○コロナ禍のため、家の訪問ができないことと、定例会などが行えなかったため、色々な情報が少ないように感じます。（東部第二）
○施設の利用制限（東部第二）
○情報もなく、近隣のみの限られた範囲でしか訪問できない。最近は少しだが声掛けもできて改善している。（東部第二）
○町内会の活動ができず、親睦が図れなかった。（東部第二）
○直接訪問ができなかった。（東部第二）
○訪問等ができない。（東部第二）
○老人会、福進協等の会合の場所が使用できない

ため、開催することができなかった。（東部第二）
〇会議等ができていなかった。（西部）
〇外出が少なくなったため、情報がなくなっている。（西部）
〇個人（施設）だけでの判断で変えていくことは難しいです。（西部）
〇コロナで会議がなく、私自身一度も参加できていません。（西部）
〇社協ボランティアをしています。「もうそろそろ何かして」と言われますが、なかなか以前のような活動ができません。何とかできるようにしています。（西部）
〇接触が困難（西部）
〇月一の定例会（西部）
〇会議を開催しづらい。（南部）
〇イベント、事業を開催できない。（南部）
〇高齢者の見守り訪問ができない。（南部）
〇いろいろなイベントが中止になってしまい、イベントがあれば参加した高齢者の状況が把握できるのだが、それができない。（南部）
〇各イベントの計画も予定もなくなった。自粛が呼びかけられ、高齢者は話すことがなくなった。（南部）
〇活動によるクラスター発生が怖いため。それと期待されて次回から無になった場合のショックが大きいため。（南部）
〇公共施設の利用は、人数や回数・時間が制限され思うような活動ができません。市の財政・政策で市民のことを考えたあり方を考えてほしい。（南部）
〇高齢者の食事会、子ども食堂の手伝いをしているので、活動はすべて中止です。（南部）
〇この二年間、催事はほとんど中止。会議も必要最小限になっています。（南部）
〇社協支部について、食事会など老人対象。子どもの交流会ができない。（南部）
〇集会が行われておらず、ボランティアの活動もできていないので、高齢者の方にも寂しい思いをさせている。（南部）
〇集会所、老人施設の利用の制限がありすぎ。（南部）
〇食事会が来年３月まで開催できない。（南部）
〇責任問題（主催者）（南部）
〇町内会や社協の行事を中止している。（南部）
〇町内会が活動停止のため、社協の食事会も行えません。（南部）
〇民生委員、町会活動、ボランティア活動などの地域活動の制限がある。（南部）
〇高齢者が集う会（場所）が無くなり、再開の問い合わせが多かった。（北部第一）
〇個人的な悩みごとの訪問、電話の対応（北部第一）
〇令和２年度の事業はすべて中止。令和３年度も 11 月から事務局会議を実施しはじめた状況（北部第一）
〇ある会で、高齢者の方の話し合いの会を作りました。「出席は半数に抑えてください」と言われて、会は中止となりました（延期）。（北部第一）
〇会議などの開催ができなくなり、当初予定していた活動を中止にしている。（北部第一）
〇会場のスペースの都合で三密になるため、会食禁止（北部第一）
〇高齢者施設へ洗濯物処理のサポートに行っておりましたが、出入りが中止になりました。（北部第一）
〇高齢者にもしコロナ感染させたら…と思うと訪問に行けず、多い時期は電話等で対応してきました。（北部第一）
〇コロナ禍で認知症カフェ、ボランティア中止（北部第一）
〇サークル活動ができない。（北部第一）
〇指示に従う。（北部第一）
〇集団で集まることが制限されてしまい、福進協の活動などもできなくなってしまった。（北部第一）
〇親睦が主な目的である事業が全て中止を余儀なくされた。（北部第一）
〇町内会行事全般が未実施（北部第一）
〇直接顔を見る訪問をどの程度してよいのか不安（北部第一）
〇できるだけ接触を避けることが相手の命を守ることだということで、現在はほとんど活動ができない。（北部第一）
〇当社の店頭で開催されていたサロン活動が止まってしまった。（北部第一）
〇発表ができません。（北部第一）
〇防災訓練等、年間計画していたことが、実施できない。（北部第一）
〇防災訓練等が中止のまま（北部第一）
〇見守りが主だが、外出する人が少ないので状況

が把握できない。情報や知識を得る機会が少なくなってしまった。（北部第一）

〇活動ができなかったことで、会員の顔が見れなかったことで、高齢者等の体力低下、身体的衰退のある人が出た。（北部第二）

〇緊急事態宣言を受けて、活動ができないことが多かった。また、やってよいかの判断が難しい場面が多くみられた。（北部第二）

〇自宅に行けない。（北部第二）

〇集会場、公民館の利用の制限により町会のコミュニケーションが取れなかった。（北部第二）

〇全行事の中止で、近所付き合いもなくなった。（北部第二）

〇都内に行けない、行きたくない等（北部第二）

〇町内会、年間行事の中止、社協お楽しみ会、老人会、体操中止（北部第二）

〇町内会の行事がコロナの影響で中止になっている。（北部第二）

〇訪問とかができなかった。（北部第二）

〇老人給食、子ども食堂の調理場、会食会場の制約のため（北部第二）

〇会食ふれあいの会などができていません。（不明）

## （4）その他（６件）

〇福祉政策課ができるだけ活動しないよう指示している。住民にピンポンを押すと話したい人が多い。（東部第一）

〇周辺がうるさい。（東部第二）

〇２年前に就任して、いろいろ経験を積まないまま２年も過ぎてしまい、コロナの影響は私の未経験に影響した。（北部第一）

〇高齢者が閉じこもりになっているため、今後身体面・精神面での低下が予想される。（北部第一）

〇コロナ禍のスタートだったこともあり、いまひとつ活動の仕方がわからずにおります。（北部第一）

〇私自身が、活動自体をあまり理解できてない。（北部第二）

# 2-3　地域活動はどのように変わるべきか（問５）

問５　コロナ禍による新しい生活様式の普及に伴い、あなたが行う地域活動は、今後どのような点に配慮して、または変わっていくべきだとお考えですか。具体的に記入してください。

## （1）基本的な感染対策の徹底（34件）

○今まで変わらない生活。ただしマスク着用と1.5m以上離れ 10 分以内を守る。（東部第一）
○衛生面はもとより、健康管理（体温等）に注意しながら孤立しないよう活動･集まりを広げている。（東部第一）
○各々が感染予防を行う。手洗い・消毒・マスク等（東部第一）
○感染の拡大状況を見て、可能なら会合を復活させる。行事も感染対策の上やり方を考える。（東部第一）
○手指消毒、換気の基本が守れるように居場所に必ず備える。換気できない雨の日などは活動をしない。（東部第一）
○マスク、手洗い、除菌のエチケットは欠かせない。（東部第一）
○ウィズコロナとして大声で話さない、マスクはこれからも気を付けていくべき。（東部第二）
○感染対策を行いながらも、出会い･集える地域づくり。（東部第二）
○コロナ対策を徹底し、従来のコミュニケーションの場を作る必要がある。（東部第二）
○手洗い・うがい・マスク着用は基本にして、コミュニティでの健康管理も考えていければよいと思います。（東部第二）
○特にない。マスク、アルコール消毒に気を付けるぐらい？（東部第二）
○現在の感染防止対策の徹底（東部第二）
○感染防止に注意しながら、これまで通りの活動ができればよいと思う。（西部）
○感染防止に努めながらできるだけいつも通りの活動をする。（西部）
○感染予防に配慮した対面またはWebを活用した交流（西部）
○個人が気を付けながら、元の活動に戻っていくことが先決（西部）
○マスクある生活、集団行動等大変なことがあります。個々の一人ひとりが自覚を持ち行動すること。（西部）
○マスクだけはまだやって行くべきです。（西部）
○自らが媒介者にならないよう感染対策を徹底する。（西部）
○一人ひとりが感染予防に気を付けること。（南部）
○感染対策を続けて訪問したり、手紙を入れたり声掛けをしている。（南部）
○基本的な対策をして、活動の幅を広げていきたい。（南部）
○衛生に関心を持ち、コロナが終わるまでは密な関係を持たないよう配慮する。（南部）
○とりあえずマスクに手洗い･消毒を今まで通り続け、人数制限し密にならないように活動する。（北部第一）
○衛生面は当たり前に継続すべき（あなたが行う地域活動は？→指示通り）。（北部第一）
○感染症がなくなるまでは、マスクやアルコール消毒をして大勢で集まることを避ける。（北部第一）
○感染対策の徹底と、感染状況の見極めをしながら活動していく必要がある。（北部第一）
○感染対策をして、拡大状況に応じて地域活動を行う。（北部第一）
○感染に気を付け（マスク・消毒等）、担当地域の人々と会えたらいいと思う。（北部第一）
○感染予防対策を万全にして、訪問や話し相手（電話ででも）になってあげなければと思う。（北部第一）
○一人ひとり感染予防をし、まず自分が気を付けて接していくこと。今まで通りに…。（北部第一）
○感染症対策をしっかりした上で、現状の活動を継続していくこと。（北部第二）
○感染対策をしながらの活動を目指していく。（北部第二）
○第一に健康面に注意をし、今後も感染拡大を防ぐための意識を連携して持つことが重要だと考えます。（北部第二）

### （2）SNS などデジタル技術の活用（29 件）

〇Zoom などで会話ができる。どこに行っても大丈夫な状態が良いかなと。（東部第一）
〇オンライン研修会などの検討（東部第一）
〇高齢者や児童生徒には「密」を避けることが必要。タブレット操作支援等などデジタル化社会を意識した取組を考えるべき。（東部第一）
〇コロナによって簡素化することなく活用できるオンライン会議や非対面による伝達手段を用いて、必要な活動をしていきたい。（東部第一）
〇タブレットなどを使用して様子を観察する。（東部第一）
〇コロナ以前への生活が完全には戻れない状況の中、新しい生活様式とならざるを得ない。リモート会議等を実施してはいるが、50％止まり（東部第二）
〇非接触でも、行えるような活動方法。ネットや電話での活動（東部第二）
〇デジタル化の活用推進とリアル交流のバランスのとれた活用（西部）
〇リモートのツールを活用したコミュニケーション方法も取り入れる。（西部）
〇インターネットを活用した、実際の接触を伴わない取組を考えていかなければならないと感じています。（南部）
〇人との接触が少なくなっており、リモートによる速やかな連絡が取れるようなものにしてほしい。（南部）
〇Zoom などの活用や利用の支援をする必要があると思います。（南部）
〇新しい生活様式のキーはやはりデジタル化かと思います。しかし年配者が多いこと、デジタル化には出費が伴うことなどから、ほとんど元に戻るような気がします。まずは、市役所から FAX をなくすことから始めましょう。（北部第一）
〇新しい生活様式の中で、これまでの事業を再開するとともに、非対面・非接触でも十分進睦が図れるような事業展開が求められる（SNS の活用）。（北部第一）
〇アナログからデジタルに、非接触型でもデジタル機能活用で映像による VR を活用した取組など。（北部第一）
〇可能ならオンライン等で様子を伺えればよいのですが、かなり難しいことでしょう。（北部第一）
〇感染防止に注意しての活動はもちろんですが、個別の活動が難しい場合には、リモートや電話連絡等で可能な活動をしていく。（北部第一）
〇感染予防対策は継続するしかない。誰でも使えるオンラインの方法を導入できるようになるとよい。（北部第一）
〇外に出ることが難しい状況でも、家で孤立することがないようネット環境を駆使し、家にいながらでもコミュニティに参加できるように配慮していけたらと思っています。（北部第一）
〇できる会議はリモートで。リモート会議に参加できない人との情報の共有手段、タイミングの再検討（北部第一）
〇特に高齢者の IT スキルの向上、町内会等（市・JA）書類・資料のペーパーレス、SNS の活用（北部第一）
〇ネットを利用した相談窓口を設置し、つなげるようにする。子ども食堂等、地域の人々がつながりを持てる場を提供する。（北部第一）
〇全体会の会議数を減らしたり、LINE やメールで済むものは活用したほうがよいと思います。（北部第一）
〇オンライン会議・書面会議の導入（北部第二）
〇オンラインとオフラインの組み合わせ（使い分け）。活動場所と規模の選定。感染防止の観点では広く参加者を募れないことも出てくるのでは…と思う。（北部第二）
〇高齢者支援は対面になるとは思うが、会議等については無理に集まらず、Web での参加が主になるべきだと考えている。（北部第二）
〇町内会、自治会がオンラインで会合するように。（北部第二）
〇テレビ電話なので本人と連絡が取られたらよいと思います。（北部第二）
〇全くゼロにしてしまうのではなく、オンラインやライブ配信なども利用してできることをしていくしかないと考えています。（北部第二）

### （3）活動内容の変更（24 件）

〇コミュニティの場としての提供、及び自治会や町会のあり方の見直しも同時に重要だと思います。（東部第一）
〇集会所においては、会議の短縮や会食は弁当の配布に。（東部第一）

○コロナ禍の状況を踏まえた活動を見出していく。（東部第二）
○例年やっているからという理由だけで行っていることは、取捨選択するべきでは。（東部第二）
○相手の方の意向に添いつつ自身の安全を考慮して活動して行きたい。どう変わっていくべきかは、経験がそこまでないのでわからない。（東部第二）
○手紙や電話で訪問できない部分を補う。カードなど配布していただけるとありがたい。（東部第二）
○コミュニケーションが取りにくくなっているので、取れる方法を考えていく必要があると思います。（西部）
○今までは、こちらから気になる方の家を訪問しておりましたが、今後は相手の方から相談に乗ってほしいとの要望がある方のみの活動でいいのかな？　と感じております。（南部）
○この１年半で、地域活動の必要性を見直す機会となった、今後に大いに参考として、大胆な切替えを望む。（南部）
○コロナ禍だからこそ、正しい認識の中で地域活動方法を考え、新しい活動方法で事業を行うべき。（南部）
○コロナ禍だからこそ、丁寧に地域と関わりたいです（高齢者のみの世帯は特に。）。希望する人にやさしい団体でありたい。（南部）
○ワクチン接種を受け、コロナ対策を続けながら少しずつ地域活動を再開していく方向が望ましい。（南部）
○新しい生活様式の普及という認識はない。現状の中断している活動が元に戻り、その先で改善・改革を考えていく。（南部）
○高齢化に対応した活動（身の丈に合った活動）。若いスタッフの育成が進まないため。（南部）
○高齢者のふれあい会食から会食を伴わない、おしゃべりやゲームをしたりのお楽しみ会に変わっていけたらと思う。（北部第一）
○できる範囲の形を考えて行う。（北部第一）
○無理をせず、少しずつ地域活動をスタートできると良いのでは？　コロナ対策をしながらの活動を望みます。（北部第一）
○自分の体に気を付け、身の丈で活動する！（北部第一）
○地域活動はコミュニケーションで集まることなので難しいです。その時の対策を取りながら進めていくしかないと思います。批判も怖いです。（北部第一）
○飲食に対しての配慮は、必要であるものの、憩いにはお茶等が必要と思う。距離に配慮して再開したい。（北部第二）
○回復できるものは、今まで通りに回復する。ソーシャルディスタンスに配慮して食事以外の活動を考えていく。（北部第二）
○これまでの地域福祉の取組を全てストップさせるのではなく、こんな時だからこそ、コロナ禍でできるやり方を真剣に考えてやっていきたい。（北部第二）
○公園等屋外での活動を重点的に実施したい。（北部第二）
○コロナの不安から閉じこもるのではなく、対策しながら活動して行きたい。（北部第二）

### （4）孤立の防止や安否確認への対応（20 件）

○生活様式とは少し異なるが、高齢者の増加の中特に独居世帯に対し、安否確認をこれからも心掛けて行かなければと考えています。（東部第一）
○地域の集まりが減ったので、一人住まいの方の生活が心配なので、もっと声掛けをしてつながることが大切（東部第一）
○非常に難しい、訪問がダメということなので電話でと思ったが、半数以上の人は出てくれなかった。（東部第一）
○日々見守り活動を続け、問題があれば関係機関につなげるようにしたい。（東部第二）
○見回りの強化。電話での対応の仕方（東部第二）
○高齢者の孤立の防止に取り組みたい。（西部）
○独居高齢者に接する機会を高齢者相談センターと密に連絡を取り合いながら、情報を共有することを深めていければと思います。（西部）
○感染対策をしっかりして、できるだけ戸別に訪問をしたい。また、地域での催しなどある時にはできる限り参加をしたい。（南部）
○おひとり暮らしの方には訪問活動をしている。（南部）
○感染状況で、訪問を増やしていきたいと思っています。（南部）
○高齢者食事会などできないので、お弁当などを持っていき安否確認などをする。（南部）

○恒例の行事ができず、高齢者の方（特にひとり暮らしの人）の安否を把握することが難しくなってきた。私もできるだけ見守りするなど気を付けたいと思いうが、ひとり暮らしの人に関しては近隣の方々の目、情報が必要である。（南部）

○ひとり暮らしの人の孤立化を防ぎたい（若い人も含め。）。（南部）

○TEL での見守り（南部）

○実際訪問するのは難しいが、定期的にポスティングができるものや、返信してもらえるような方法を見つけていきたい。（北部第一）

○友愛的な見守り（北部第一）

○一人住まいの方が多いため、訪問できないので、電話をかけて確認している。町会の人も気にかけてほしい。（北部第一）

○コロナ禍で外出も制限され孤立状態にならないように近所の人たちと交流の機会を作っていきたい。（北部第二）

○見回りと気が付いた家に声掛けをしてみる。（北部第二）

○気になるお宅に対しては、隣近所の目配りを促しながら、安否確認して行きたいと思います。特に町会非加入者への目配りをしていきたいです。（北部第二）

## （5）三密の回避（15 件）

○コロナ対策を進め、三密などの対応を守りながら、新しい薬剤にも期待しながら。（東部第一）

○三密、マスク使用などで少しづつでも活動ができることを望んでいる。（東部第二）

○三密を避け、各自健康観察を行った上で活動する。（東部第二）

○三密にならずに、人との関わりを持つために工夫が必要。集会所には１名ずつのアクリルパーテーションと空気清浄機（西部）

○三密を考えた活動には、どんなことができるか、上に立つ人が考え話し合っていくことが大事だと思う。（西部）

○三密を守り、感染しない・させない取り組み方が大切と思います。（西部）

○しばらくは、密を避ける活動が中心になると思います。また、屋外での（活動）行事が多くなると思います。（西部）

○密を避け、感染予防しながら活動を行う。（西部）

○三密、マスク適用等に注意していくようにしたい。多人数の集会は控える。（西部）

○人の多くいる所にはいかない。（南部）

○引き続き、三密回避とマスク着用厳守を前提として可能な範囲で慎重に再開（北部第一）

○ボランティア清掃など、密にならないように取り組んでいます。（北部第二）

○三密は避け、安心安全に生活ができるよう配慮して行っていける行事があれば注意しながら行えるよう会員に周知していく。（北部第二）

○マスクと三密の徹底（北部第二）

○マスクを着用して三密をさける。（北部第二）

## （6）規模の縮小（15 件）

○大勢で集うことは無理なので、趣味的なことで小さな事業にしても良いのでは。（東部第一）

○人数･時間など制限を付けて行う。（東部第一）

○コロナ禍でも「参加しやすい小さな活動」を増やす。（西部）

○小規模で行うことで、安心感のある取組にしていけたらと思う。（西部）

○集まる回数を減らして、短時間で会議を開くようにと考えている。交流会などはまだわからない。（南部）

○声がかかった場合のみの活動。見守りは必要（南部）

○食事を伴う行事はまだ無理だと思うので、密にならない人数で集まりなどをしたいと思います。（南部）

○小さな小さなイベントを（密にならないため）行う。公民館集会所などは、オープンにした方が良い（密にならない工夫を）。（南部）

○集まり等の人数制限（お食事等はスタッフ含むと 100 名近くになる。）（南部）

○感染症対策は今後もするべきである。人数制限やワクチン接種などは必要である。（北部第一）

○コロナ対策を優先しつつ、少人数にて実施（北部第一）

○シルバー会員として、少人数による地域活動（清掃、要介護者の援助等）（北部第一）

○地区ごと、グループごとなど、少人数で行う。参加して顔を合せることが大事（北部第一）

○地域のイベントは、交流を深められる大事な場でもあったので、新しい形（規模を縮小するなど）でのやれる範囲内でのイベント再開を願う。（北部第二）

〇必要のない行事、会議は減らしていく。（北部第二）

## （7）直接的なコミュニケーションを大切にする（12 件）

〇人と人との交流は、できる限り変えるべきではないと考えている。（東部第一）
〇臨機応変に効率的な会議や研修などにより、誰でも参加できる意見が言える場を作る。（東部第一）
〇リモートも良いが、一方的に決められる恐れがあると思う。（東部第二）
〇プライバシーに配慮しつつ、なるべくコミュニケーションをとる様に心がけていきたい。（東部第二）
〇人との交流できる機会を増やす。（西部）
〇人との接触、特に高齢者に関しては、感染予防をしながら心のこもった対応ができればと思います。（西部）
〇コロナ禍ですが、サークル活動（運動や会話）は大切にしたいと思います。（北部第一）
〇コロナ禍でも可能な地域との交流の場の継続、大変でもお祭り、イベント、フェス（学校含む。）（北部第一）
〇コロナに気を付けながらも、人とのつながりを大切に。オンラインではないリアルイベントが大切（北部第一）
〇高齢者にリモート対応は難しい。短時間でも顔を見て、声を聞いて表情を読取る機会が何より。広場でのラジオ体操などで、ご近所の交流の機会を作ることが何より。（北部第二）
〇高齢者は、インターネットが苦手な人がいらっしゃるので対面での活動を行いたい。（北部第二）
〇直接顔を合せることが大事でこれは変わらない。（北部第二）

## （8）情報の収集や提供方法を工夫する（9 件）

〇情報収集のあり方（東部第二）
〇訪問や接遇に代わり、必要な情報がどう活用されるのかが重大になっていくと思う。（東部第二）
〇時代に合せた PR 活動（必要な人が支援を受けられるような）を模索していくこと。（西部）
〇情報発信の活発化（西部）
〇デジタル化（フェイスブック等）を取入れて町会の情報発信を強化する。（西部）
〇デジタル化を苦手とする高齢者への対応では「回覧板」の更なる向上を図る。（西部）
〇避難行動要支援者やひとり暮らし高齢者などが感染し自宅療養になった場合、地域の防災部に何らかの情報提供があると動きやすくなります。（南部）
〇放送等でお知らせしてくれると（祭りごと等のお知らせがあると）大変助かる。（北部第一）
〇コロナ禍で、活動に制限がある中で、広報（わかりやすい表現のもの）をもっと活用してはどうか？（北部第二）

## （9）関係機関・関係団体同士の連携・協力（8 件）

〇学校と連携して活動していく。（東部第二）
〇自治会、社協、市役所、担当者等と市民間のコミュニケーションをもっと増やすべきだ。（西部）
〇自治会・民生委員等の交流機会を増やし、情報収集や相談に来やすい環境を整備（西部）
〇地域包括支援センターが主体となり、社協、民児協、町内会との連携を図り、PR と福祉活動の充実・強化を図る。（北部第一）
〇民生委員の活動内容と町内会の活動内容をお互いに理解し、把握した上での協力が必要と思う。（北部第一）
〇感染防止策として、関わりのある学校や事業所と連携して、感染防止のための情報共有を行うこと。（北部第二）
〇地域活動による町内会、防災会、PTA の相互協力、理解が必要だと思う。（北部第二）
〇町内会、社協、民生、児童委員などが連携するシステム作りが必要。現在はほぼなし。（北部第二）

## （10）町内会の活性化（3 件）

〇町内会の活発な活動への参加意識を高める。（東部第一）
〇町内会役員も高齢化している現状で、市内各地区の町内会のあり方など、もっと地域の方が参加できるような形を作ってほしい。町内会の役員もある程度年齢制限をして頂き、若い方が入れるような対策を！（東部第二）
〇町内会の活動を中心にし、町会長 etc との接

触、接点を多くすること。委員の交流が少ない。（西部）

## （12）その他の対策（37件）

○同じやり方は今後難しいと思う。（東部第一）
○個人のモチベーションを維持すること。全体でコロナ禍が収まれば全員集合で行う。皆に話をしました。（東部第一）
○コロナ禍で、不安な住民が多かった。そんな時、地域に気楽に何でも聞ける場所があったらよかった。（東部第一）
○困っている人や弱者を助けていける仕組みを作ってもらいたい。（東部第二）
○市や住民全てがコロナ禍での人のつながりの形、支え合いの気持ちをもってしっかり議論する場が必要と思う。（東部第二）
○住民が自ら進んで行うことにつきます。（東部第二）
○新、旧の住宅のコミュニケーションがとれればよいかな。（東部第二）
○外に出ることを控えないよう促す。（東部第二）
○周りの方々と協力して自分にできることを協力し合うことが大切だと思います。（東部第二）
○もっと多く活動的な生活困窮者への支援として地元農産物の無料配布やリサイクル品を提示（東部第二）
○陽性者及び回復した人が安心して暮らし、村八分にならないように。（東部第二）
○個人が負うのではなく、地域全体で支える体制の構築（西部）
○どんな状況になっても、目的をもってできることをする多様性が必要となってくると思う。（西部）
○子ども達の成長に必要（顔の表情がわからない、呼吸の妨げによる体への影響等）と思われる。マスク不要の生活に変わっていくべき。（西部）
○ある程度、行政の手助けが必要（南部）
○コロナが収まるまで中止でよいと思います。（南部）
○コロナ禍の早期解消を願い、元の町会活動を復活させ、より絆の強い密度の高い町会活動を推進する。（南部）
○コロナだけでなく、感染症に対する意識を持たないといけないと思いました。（南部）
○コロナによって近隣の方々の距離が縮まったような気がする。多くの立ち話の中から、少しでも助け合いの気持ちが生まれることを期待したい。（南部）
○作業の効率化・簡素化（南部）
○上記のようにみんなが同調すること。バラ蒔きはいつまでも続く。（南部）
○地域の一体感が意識的にも、物理的にも必要（南部）
○地域を細かく分割し、分割した地域ごとの協力体制を作る必要がある。（南部）
○何処にどのような方が生活しているのか、現在はなかなか把握できない状態です。もう少し情報がほしいです。（南部）
○役どころに責任を持たせ、もう少し個人情報を緩和させて踏み込んでもいいのでは～。（南部）
○老人施設今あるものを自由に使いたい。（南部）
○相手方（日々）の健康状態の確認を事前にする。（北部第一）
○安心・安全（北部第一）
○安心・安全な日常がほしい。（北部第一）
○在宅避難、日常備蓄等の理解と実践を推進していくこと。（北部第一）
○市が実施する統制下で、活動を実施する。（北部第一）
○社会福祉法第106条の3「包括的な支援体制」を形だけではなく進めていく「意識」を行政、社協と共有すること。（北部第一）
○地域で防災に取り組んでいけるようにしたい。（北部第一）
○自由に使用できる活動拠点を確保し、色々な問題窓口として市民との交流を深めたい。（北部第二）
○多勢の眼での気付きを集積する。（北部第二）
○なるべく担当地域を歩くようにして、日常の様子を知っていけば、小さな変化にも気づくと思う。（北部第二）
○ワクチンの打てない方もいますが、その方達を排除することのない地域活動をと思います。（北部第二）

## （13）その他（34件）

○今は分かりません。（東部第一）
○今までの地域活動は変わらないと思う。早くコロナが落ち着いて以前の生活様式に戻ることを願っている。（東部第一）
○自分自身もそうですが、若い世代の方は仕事を持ち、日中は住宅街で交流がほとんど無く、ご

み当番制等課題が多く、行政のお力を期待するところです。（東部第一）

○外からだけではわからないことが多く、十分な支援ができていないのではないかと思う。（東部第一）

○第２・第３のコロナを見据えた行政。東部第一）

○コロナ禍が収まるまで待つ外はない。（東部第二）

○早くコロナ前のように戻ってほしい。（東部第二）

○便利とされたリモート授業も、貧困家庭には不都合が多い（Wifi など）。（東部第二）

○地域でのふれあい活動が難しくなると、自主防災・地域福祉・緊急時対応等に、何らかの制約が加わることを心配している。（西部）

○定年を終え、妻は入院中なので人（他人）との接すること会話もない日が多くあり、少々こもりがちです。（西部）

○無理して進める必要はないと考える。（西部）

○分かりません。（西部）

○一日も早い終息を祈るばかりです。（南部）

○一般人の私共としては、ひたすらコロナに対する安全を完全に継続させて、収束を願うことのみ。国・県・市としては、大いに（後手後手にならず対策を）頑張っていただきたい。（南部）

○お互いに無理のないよう少しずつ前の生活に近ずきたい。（南部）

○変わらなくてよい。コロナ禍以前に戻れれば…。（南部）

○具体的にまだ考えられない。これからどのように変わっていくかを見てから考える。（南部）

○地域の方々がどのようなことに対して心配しているのか詳しく知りたい。今自分にできることは何か、考えながら一緒に進んで行きたい。（南部）

○新座市では活動できないと思う。国や県の意向第一では発展や進歩は無いのでは。（南部）

○模索中です。（南部）

○一旦人と人との関係が希薄になってしまい、それでもよいとなってしまった。それを取り戻すことはとても大変だと思う。今まで以上に気力・体力が必要（北部第一）

○近隣との交流が減り、また転入者との集いもなく、市の活動イベントに期待する。（北部第一）

○コロナが下火となってやっと先が見えてきたと思っておりましたが、オミクロン株が流行と聞きがっかりしました。（北部第一）

○コロナ終息後に体調管理での参加（北部第一）

○食事会などまだまだ先が見えない。（北部第一）

○個人情報が制限されている今、民生委員はあまり必要性を感じない。人数を減らしてもよいと思う。（北部第一）

○隣近所のお付き合いのある地域は限られると思います。そこに地域包括ケアシステムと名前はいいが、地域で活動すること自体困難と思います。（北部第一）

○とりあえずは、コロナの終息を願うしかないと思う。（北部第一）

○あまり心配せずに通常通り生活する方がよい。（北部第二）

○行政の指示に従うことで、応えることはない。（北部第二）

○具体的に案はない。（北部第二）

○ふれあいの家の立寄りスペース、いつまでクローズなのか、もっと具体的時間を決めて利用可能にしてもらいたい。（北部第二）

○元に戻れば変えたくない。（北部第二）

○食事会のお手伝いの皆さん高齢になっていてこない。（地区不明）

## 2-4　必要だと思う拠点の機能（問 7-1）

問7-1　どのような活動の拠点が必要だと感じていますか。拠点で活動したい内容や拠点に必要な機能、条件などを具体的に記入してください。

### （1）東部第一地区（12 件）

〇誰でも利用できて、話をすることができる。それぞれが自分の居場所と思える場所

〇いきいき広場があった時は気軽に（近くにあったので）活動できていた人が沢山いたが、閉じてしまったので気軽に行く所が少なくなり、家に引きこもりがちなお年寄りが増えた。外に出て会話することはとても大切だと思います。

〇会社での使用しても良いスペース

〇学習と共に遊びふれあう（やんわり形の学び）。例）スマホ教室及び相談室、活用編の登用等

〇活動内容、住民同士が何でも話せる場作り（空き家の利用）、本やコーヒーの提供

〇高齢化により会員数が減ったので、グループ育成事業を公民館にお願いしたい（高齢者学級の枠に入れてもらい、グループ紹介を兼ねた講義とする。）。

〇社協の食事会、希望者が増えて集会所では満員状況、場所を確保しても委員の数も必要になる。

〇地域の人に活動内容を知ってもらえる（興味をもって会員になってもらえる）。地域の人とのコミュニケーションが生まれる。孤立者を救える。

〇中央公民館にエレベーターがなく１階に会議室がない。障がい者、高齢者は心身ともに苦労している。ボランティアの方々も高齢化している。

〇当支部は一丁目～五丁目まで広い地域であるため、三丁目集会所の改装（台所）：常設の場所を確保したい。例えば、空き家の利用ができれば、もっと広く皆の居場所、集会等が開放的にできると考える。

〇利用者の悩みや相談を聞いて必要な諸機関につなげること。

〇地域住民がお互いに助け合える組織、団体にしていくこと。

### （2）東部第二地区（13 件）

〇足の不自由な人の参加が楽にできる場所、（公共交通機関）が容易にできるところ。

〇集まる場所がないために、遠くの場所に行かなければならないため、高齢者への支援ができない。

〇各地区の若い方から高齢者までが気軽に立ち寄れる場所を提供し、民生委員…市の方などが出入りして市民の困りごと…相談事、話し相手になるなどの場所を各地区に作ってもらうと、孤立化した今の地域が良くなると思う。

〇学校、グランド、神社、寺

〇活動に必要な道具器材含む机等を保管、管理ができるような専用スペース

〇カラオケの設備があれば嬉しい。

〇施設はありますが、歩いていくと 30 分～40 分位かかり、近くに 10 分～15 分位の所にあれば行くと思います。

〇集会所を建設してほしい。

〇住民の横のつながりがない。町内会の会員を増やすことに力を入れたらどうか…、市としては何もできないのか？　意識が変わるのはないか？　施設の利用も活性化するのではないかと思う。

〇情報発信や相談員に気軽に相談でき、生活の困り事の解決方法や、相談先を知らせることが必要だと思う。

〇地域が広くて、何かやろうとしてもそこの場所が遠くて行けない。マイクロバス等の移動手段を整えてほしい。

〇皆様も集会所等もって使ってコミュニケーションを図るべき。

〇子どもが安心して遊べる場を確保しながら、若い両親が学んだり交流できる場

### （3）西部地区（9 件）

〇今のところ、集会所での活動で確保されているが、運動場のような場もあると、子どもと大人と一緒に動ける活動をしたいと思う。

〇親と子どもが楽しく活動できる広い公園が設営されることが望ましい。コミュニケーションのため。

〇行政、民間で活動中のクラブ等の有無がつかめないので、また私自身個人的な事情で、参加不

能な者として何とも言えない。
○現状の施設を有効に活用すればよい。
○公共施設の規制緩和、正しいこと等の理解、役割意識
○高齢者がいきいき広場が使えなく、家に閉じこもっていて認知症になりやすい。
○高齢者が必要に応じて集まり、一人ひとりが安心して人と接することができれば。一人ではないと思われる地域活動が必要であると思います。
○立場上プライベートを重視する観点より、新座にもサポートセンターが必要と思われます。
○駐車場の確保、交通不便な公共施設での会合は駐車場の確保が先決である。

## （4）南部地区（26 件）

○笑顔の里へのバスを復帰させて下さい。だめなら、交通手段の具体策を示して下さい。
○日常的に集える場所として気軽に立ち寄れる場所づくり。そして、日常の語り言を話せる場所づくり
○空家対策として集える場をつくれたらと思います。
○安全なスペースの確保
○一か所でやらず、圏域内を転々としてもよいと思う。
○医療の充実、人も、施設も、費用も…等!!
○活動拠点の家屋が古く、障がい者の方が見えた場合、部屋に入って貰うにも人の手が必要で、トイレも狭いので使い勝手が悪いと感じております。
○活動場所が増えても人が集まらない！
○近所で屋内、屋外でもいつでも簡単に無料で使える場所がほしい。
○現在は今まで通りの活動しかできない。集会所利用で OK です。
○現時点では、それほど活動していないので、常設の拠点では不要です。
○公共施設等は、緊急事態宣言などが出ると、使用できなくなるので。
○公民館・集会場は申し込みが必要。時間にも制約がある。いつでも誰かがいて、相談おしゃべり、学びができる場所が必要なのでは。何かを作り、食べる。有料でも OK。誰かがやるのではなく、皆で行う活動
○高齢者、子ども、親子で参加できるもの、気軽に相談できる場を増す。
○高齢者、子ども、障がい者等のカテゴリーを設けず、地域の誰もが集える総合福祉センターを設置する。
○コロナ禍で思ったこと、公共施設等の使用は行政の通り休館になることが多い。この一年半は活動が全くできなかった。しかし公共施設は各町会にあり、利用者にはとても便利。拠点を定めては、その地域以外の方は不便になる。拠点に対しては、まだ内容等必要か否かわからない。
○集会所の台所のコンロが家庭のものより小さいので、３か所あっても実際は２か所しか使用できない。
○集団活動が地域で問題なく実施できる場所の確保
○地域の社会的資産を明確にし、その資産の所有者同志の協力体制の構築。活動のための拠点が必要
○地域の住宅の中にある空き家を借り受けて頂き、近隣の高齢者で運営して、地域の子どもたちが毎日自由に出入りして、遊び場として使えるような空間として利用する。
○地域の方々にお知らせしたり、活動に参加していただける場があっても良いのではないかと思う。
○独居の方等が楽しく会話ができる場所であり、日常会っていた方が最近見えないなどの、周囲からの支えも活動の壁となるのでは。
○何をするにしても集会の場と駐車場の確保が前提条件です。会のたび、場所が限られるので、新しい発想が浮かばない。
○なるべく早く集会所を建て替えてほしい。特に食事会などの場合に、台所が狭いので台所だけでも造り直してほしい。
○場所よりも人材
○町会の集会施設が活用されていない。是非、活用を考えてほしい。

## （5）北部第一地区（26 件）

○「地域の縁側」として誰もがぶらりと立ち寄れて出会い、つながることができる拠点（住民が専門職と共に共同管理する。）
○委員が高齢化しているため、活動の準備（椅子、机を出したり）が、簡単にスムーズにできれば、体への負担等少なくなると思う。
○一時保育の要素を取り入れた未就園児のお子

さんを対象とした「プレ保育」をぜひ立ち上げてほしいと思っています。次年度入園を希望している（保育園）、お子さんと保護者の方がいざ保育園に預け始めると、環境に慣れずに不安定になったり、体調を崩したりすることが多く、保護者の負担ははかり知れません。約一年間プレ保育を行い、保育園に行くための慣らし保育として、子ども･保護者･保育士の負担を軽減。保育園での一時保育はリフレッシュのみを受け付け、プレ保育園では就労のご家庭を預かるシステムにすると効率的な施設になると思います。

○一部無償で利用できる複合型施設（集会所、図書館、展示室、多目的ホール等を含んだ。）の必要性を感じる。また、その施設の一部には若いスタッフが常駐し、今後増加する高齢者を中心とした娯楽、団らん、茶飲み等ができる場所を確保し、見守り活動を行っていく。

○医療･福祉に関する相談所、気軽に立ち寄れる場所をつくりたい。公共施設の利用も良いが、資料を持ち込むのが大変、料金の負担が発生する。いつでも立寄れる場所としては使えない。

○音が出ても大丈夫な飲食ができるスペース

○会場の広さ、備品の整備

○学校、PTA の仕事を手伝ったり、話をする機会を増やし、高齢者だけではなく、児童の悩み事も身近になり、相談受けやすくなるのでは。（イベント手伝い、校庭や花壇の手入れ）

○拠点場所や施設より、個々にもっと寄添うやり方はないものかと思います。

○近所（高齢者・障がい者が歩いて行ける範囲）に気楽に立ち寄れる拠点が沢山あることにこしたことはない。但し、人件費がかかるのが問題だと思う（ボランティアを募るか？）。

○高齢者が歩いて行ける場所等で、気軽に利用できる施設

○個人との接触が必要であり、相談事等もありますので、個室の数が必要です。

○今回新たに 5～6 人の近隣の委員グループができたので、こじんまり集まったり、情報交換できるようになるとよいと思います。

○地元にある会館のオープン化。主婦向け勉強会、ミニセミナー等子ども向けレコード鑑賞会、ラジオドラマの名作を聴く会

○集会所、ふれあいの家に付属してちょっとした集まる場所を作り、ごみ袋・竹ぼうき等設置しておけば、話し合い場所・清掃活動等ができると思う。

○集会所を主な拠点として使用しているが、新しい生活様式では手狭になり、会議の開催や事業の実施に支障がでる。

○「スペースともに」のように、色々な年齢層の方々が集まり活動のできる場所。（子どもから成人そしてご高齢の方々の場所）障がい者の人々もです。

○生活密着型、生活圏地に隣接したバリアフリー施設

○ダンス（フォークダンス）、健康体操、コーラス等を高齢者と行っております。床張りの部屋が（ホール的）が少ないので、活動が制限されています。机や椅子が移動式になり、広い空間が確保できるようにしてほしい。光が丘にデイケアや市の出張所も兼ねた複合施設があります（お風呂も必要かな？）。

○地域の方がいつでも気軽に立ち寄れる居場所づくりのための拠点が必要。無償で提供してくれる（例えば空家とか、使っていない事務所等）家屋があればありがたいです。

○町会の既存の会館はとても古く、市で新たに造ってほしいのですが、地元の圧力が強く、周りからの意見はできない状態です。

○場というのも必要であると思うが、これ程ネット社会になっている現在では、利用（活用）できるネット上の場が必要。例えば、HP のようなものがあり、会員が利用でき尚且つ一般人も知れる場

○ふれあいの家にエレベーターを設置してほしい。

○ほっとぷらざ閉館により、活動場所の確保が制約される。

○老人と子ども、子育て中の親どうし、ひとり親の安心できる場。食事、交流できるような場所や機会

○老人などの集合場所は比較的あるが、子ども達（年齢を問わず。）が集まる場所→居場所がない。また、そこに大人が入って関わりを持てるとよい。

### （6）北部第二地区（24 件）

○打合せのできる部屋

○一時は集会所の建て替えを希望したが、望めばきりがない、現状で止む無し

〇活動に必要な備品を納めて置く場所があり、予約等が必要なく緊急的に会議や集まりが可能なところ。
〇感染者も減少しているので、一歩前へ進んで施設利用の条件を緩めるべきと思う。
〇気軽に歩いて出かけられる場所
〇健常者のみならず、高齢者及び子どもが参画できる場の提供と、参画者の環境調整が必要だと思う。
〇公共施設はあるが、使用割合が少ない。
〇公的な活動場所はコロナ禍でまっ先に閉鎖されてしまった。住民が自主的に管理できる拠点があることで、地域のつながりが切れずに困っている人に対しては民生委員、住民、専門機関が協力して対応を考えることができた。大きな拠点でなくても、人通りのある目立つ場所に災害時の支援拠点のような、人が立寄れる場所が必要である。生活支援コーディネーターの足場となれる地域拠点があることで活躍してもらえると思う。
〇高齢者や子どもの居場所
〇コミュニティワーカーの配置。事務機能の設置。バリアフリーで各事業の集約をし、地区内の情報の集積と発信をするところ。
〇コロナ禍となり、人数制限がされるようになった。ふれあいの家、軽体育館のような場所が気軽に安価で借りられると良い。
〇時間に制限されずに話し合いや交流の機会が持てること。情報の集積、発信の場として必要な機器や人がいること。誰もが立寄れるような場所（商店街の一画 etc）にあること。
〇資機材倉庫内が狭く、保管物品を整然と整理できない状況にある。
〇施設の老朽化の目立つ集会場が多数ありますので、予算を付けて改修してほしい。
〇地域の学校や公民館、集会所等
〇特別支援学校を卒業する方などが新規で入所する先がどこも定員に達している所も多く、困難になっていると思う。また、親の高齢化に伴い、今まで通りの通所している事業所に通い続けていくための生活の場、グループホームなども必要になってくるのではと思う。相談支援事業もどこもいっぱいいっぱいで行っている現状も、とても苦しくなってきている。
〇日常生活での打合わせ、会議、簡単な作業、事務机、長テーブル、椅子等
〇日常的な活動拠点と、ある程度所得保障のある地域に根ざしたコミュニティワーカー。
〇人の寄合う場所がほしい。時間の制約によって、流れを中断されるのではなく、いつでも誰でも気軽に立寄れる場所が地域福祉には必要です。また、活動に必要な書類や備品を保管するための場所としても…。
〇閉店が増えた商店街にも、活気が出るような活動拠点が必要である。日常的にみんなが集まってワイワイできる活動を考えていきたい。
〇遊具のない公園（野球・サッカー等ができる場所）
〇理想ではあるが、公共施設では利用目的や時間に制限があるので、住民団体が独自で持つ拠点があると、地域の関わりがより深まるのではないかと思う。公共施設ではない拠点、活動場所があると、地域の支え合いにおいて有益だと思う。
〇相談事ができる部屋
〇自由に出入りできる部屋（家）

## 2-5　地域福祉推進協議会ができたことによって特に進んだと思うこと（問 12-3）

問１２-３　特に、どのようなことが進んだと思いますか。具体的に記入してください。

### （1）東部第一地区（13 件）

○（この２年間は別として。）活動の中で顔が知れる仲となり、関心を持つことによって支援につながる例があったと聞いている。
○いろいろ勉強会が行われている。
○ごみ出しのことを話しているので、少しずつ地域の関わりが増えていくのではないかと感じました。
○コロナ禍以前は掲示板、回覧等で活動が報告されていた。
○コロナ禍で行事ができないが、希望者には食品等の品物を配布している。
○昨年よりのコロナ禍により、活動自体が中断、難しいのではないのでしょうか！
○参加者が増えてきた。
○社会資源を発掘していただいた。掃除やごみ出しなどの件
○地域の企業などにも声をかけ、連携を図っている。
○地域福祉推進協議会の活動で、地域の中でどんな活動をしている人たちがいるのかが理解し合えるようになった。
○町内会など地域活動、見守り隊、パトロール、防災訓練、募金活動
○町内のお散歩により、どこに何があるか、または参加する人々により色々な会話を楽しむことができる。勉強会ではお薬のみの方や認知症のお話を聞いたりすることがある。フェスティバル参加においては、沢山の人とのお祭りでふれあいも意味あることと思います。
○福進協の活動を知ってきた住民が、少しずつ多くなってきた。防災など、地域で心配するようになった。

### （2）東部第二地区（11 件）

○あまり進んでいないと思う。
○イベント参加者が増えつつある。
○各イベントが口コミで広がり、図を重ねる毎に参加者が多くなっている。
○具体的な活動内容が分かりません。
○高齢者の集まる機会ができた。
○参加してないのでわからない。
○地域の人たちとの顔を合せる機会（お茶飲みや趣味の集まり他）を作ったが、参加者を集めるのがひと苦労
○特定の人（参加している人）はよく活動をしているが、その他多勢の人は何もしていない。
○福進協主催のイベントが行われた。
○福進協は独自の活動をしていると思うが、各町会の参加や意見を耳にすると分からなくなる。
○よくわからない。

### （3）西部地区（10 件）

○顔の見える関係が作られつつある。
○行政内の会議、地域の会議体が設けられただけ。
○計画策定の会議に参加することで、互いの顔の見える関係が少しずつできている。
○コロナ禍のため、会議もできず今後に期待したい。
○コロナ禍のため、会合が中止されており、当初の協議段階のみ進んだ。
○コロナ禍のため活動がストップしている。
○進んだ施策は身近に見えない。
○西部地区は策定中なのでわからない。
○地域の問題に深く目を向けられた。
○不明

### （4）南部地区（23 件）

○居場所づくり（おしゃべりの家）イベント
○上手く利用できている人にとってはよいと思う。
○おしゃべりの会の参加者（以前）さんに気軽に声が掛けられるようになったと思う。
○各町会、施設等のどのネットワーク
○近所に困りごとがあった場合に対応することができるようになりました。
○近隣町会研修会への出席、各町会に声をかけた懇親会の企画など、地域の融和に貢献していると思います。今後、防災をテーマにした町内会どうしのネットワーク作りに取り掛かる予定です。

○近隣町会相互間で、情報交換、共同活動を行うことができている。
○高齢者への声掛け
○コロナ禍以前には、高齢者の方々に対する場など。
○コロナ禍以前の状態でいうと、おしゃべりの家の参加者が多くなっている。
○人的交流の面で、その人数、交流の密度は少しずつ進展があった。
○他地区の情報が共有できた。
○地域に存在する団体が顔合せて話をすることができることで、協力する意識が強くなったと思います。
○特に進んだと思っていない。
○独立していた地区内の町内会、自治体、自治会との横のつながりが広がった。特に防災訓練など貴重な体験
○人の輪が広がることにより、知らず知らずの間に、人の助けになっていることに気づかされた。
○福祉推進協議会が活動していることは聞いているが、内容がわからない。
○福祉について、考えられる南部の志がすごい。
○防災についての話が多く、ちょっと方向が違うように思う。その時社協として何ができるかを話し合ってほしい。
○防災に関して
○まず集会の機会がないので、何も考えられない。
○よくわかりません。
○分かりません。

## （5）北部第一地区（29 件）

○様々な人・団体が立場を超えて、出会い、つながり、支え合いの関係を形成してきたこと。
○様々な「当事者性」や「生きづらさ」を分かち合い「共に生きる」関係や文化を少しずつ形成してきたこと。
○集まって会うことにより、知らない人たちと友だちになる。
○あまり進んだ感はない。
○今はコロナ禍で思うような活動はできませんが地域の方々からは楽しみにしているとの声がある。
○各戸の高齢者の把握と声掛けが進んだ。
○喫茶室のイベントの充実や、認知症家族の会（名前覚えてません、もしかしたら福進協所属ではないかも。）の活動
○協議体での色々相談できる場所
○公民館での集まりができた。
○高齢者の居場所づくり
○高齢者や自力で買物に行けない方を対象とした移動販売の評判は耳にします。
○コロナ禍の中で、外出できなくて行く場所もなく、人と人が顔を合わせることでリフレッシュや孤独感・安心感ができる。
○コロナで停滞したまま、今度はオミクロン株
○コロナで福祉協全部中止となっています。
○コロナ前は学校とも連携し、まちづくりなど環境に関して活動していたと思える。
○コロナ前までは定期的行事でふれあいがあった。
○参加して月が浅いため、進んだかどうか以前の状況など、比較対象が明確でないため答えは控えたい。
○自分の町内会の方だけでなく、他の町内会の方と顔見知りになれ、挨拶ができるようになった。
○住民の誘い合うことが重要と、皆で取り組み参加すること。
○種々のプロジェクトが各集会所で開催されている。今コロナで中断されていて残念ですが…。
○他地区からの参加者が増加傾向にあり、一時的ではあるが、懇談する機会が増えている。また、自宅ではできない折り紙、合唱（ピアノによる。）、お手玉遊び等ができるので、皆喜んで帰宅している。
○地域ではお茶会など催し、沢山の方が喜んで参加してくれ、楽しみにしていました。
○地区ごとの特色ある事業展開により、地域を超えた親交の輪が広がった。
○茶話会をすることにより、参加者が増えた。
○町内会単位ではなく、参加者同士の地域の広がりが生まれた。健康体操や新座館での集い(上記による互いよる挨拶の広がり)
○出会いが悪い人たちと出会うことができました。それによって挨拶ができました。
○横のつながりが前よりは、よりつながったと感じられた。顔など覚えられたりできて、話や挨拶しやすい。
○子ども食堂
○わからない。

### （6）北部第二地区（35 件）

〇「はつらつピンポン」や「ふれあいの会食会」「お茶会」等、参加者が増えつつある。
〇集会所を活用して様々な催し
〇公民館を活用してふれあい会食（高齢者・子ども）
〇障がい者との交流による相互理解
〇色々な催しを通して、地域との交流
〇遊びの広場やふれあい紫陽花キャンプなどいろいろな世代や栽培の人が交流できる場が増えてきていると思う。
〇イベントや行事等に参画することにより、自治会長や福進協の人たちと連携し、困りごとや相談や NPO の行事に参加し、手伝ってくれるようになった。
〇お茶会を中心とした交流の場づくり。防災キャンプの取組
〇各種イベントへの取組が活発した。
〇活動する際に町内会との連携をした上での協力ができるようになった。
〇企業として参画していますので、生活面のことは分かりませんが、自治会活動等を見ても細やかに取り組んでいらっしゃると思います
〇北二フェスタと防災キャンプ
〇行事を通して顔見知りが増えた。
〇拠点があることで、様々な立場の住民や専門職がつながり、協同歩調をとることができた
〇具体的にイベントや立寄り所などできている。
〇現在、コロナ禍のため、活動が休止
〇広報誌を出しているので、地域の様子や問題点などが広く住民に周知できていると思います。
〇コロナ禍の中、孤立する人が地域で交流する場を作り、内容を広げたことは成果と思います。臨時の立ち寄り所→軽い運動の場づくりに発展、それが地区用の社協支部などにも広がりました。十数年にわたり福祉協が培ってきた人々の信頼関係によるものと思います。
〇様々な方の外出の場として、気軽にふれあうことができていると感じる。民生委員や地域包括の職員も参加し、連携も取りやすくなってきている。
〇世代や性別を問わない、住民同士のつながりや支え合い
〇代表の方は一生懸命頑張っています。ただ、北二で言えば、地区により偏りも…。
〇地域活動の情報が必ず出されていること。コロナで実施できなかったイベントもあるが、実行委員会等の活動は盛んである。
〇地域の人が地域福祉の事業に関わって、高齢者や病弱の人への思いやりが育っていると感じます。各事業に参加しながら助け合いの輪も広がっています。
〇地域防災について（北二地区は特に）
〇地区内のつながりができた。
〇中間報告会が開かれ、そこで活動報告を開く機会があります。その中で安否確認のため等、顔合わせる様子を見守ることができる立寄り所等が開かれている。
〇町内会を超えた地域住民のつながりができた。
〇定期的に集まれる場、活動の場が定着した地域がある。
〇テーマを抽出し、それに対して取組を行う姿勢が見られている。
〇ふれあいの家が使えないため、地域の商店街で活動している。高齢者が定期的に集まり賑わいを見せている反面、歩道でバザーを行ったり呼び止められたりして、歩きづらいという苦情もある。
〇防災対策に力が入っている。参加者も増えてきている。
〇防災に対する取組が進んでいる。
〇他の町会との交流により、相互を理解し、協力できるところはあると思う。
〇顔の見える環境が醸成されてきた。
〇集う場所や相談室があり、運営が続けられていること。

## 2-6　地域福祉推進協議会の課題（問 12-4）

問１2-4　地域福祉推進協議会の活動に関し、どのようなことが課題となっていますか。

### （1）東部第一（17 件）

○コロナ禍と言って会議は中止、代替え案もなく意見を聞くこともなく、一年以上経過している。このことからも、状況に即した行動力、やる気を求めます。
○住民に対し、存在と役割の周知
○活動の内容が一般家庭に届いてない。
○一度やったらやめられない！　断れない！　変わりがない！　リーダーさん次第で困っている話をよう聞く。
○役員の負担が大多い。
○実績を積んでいく。
○活動するなり手が少ないです。
○居宅も訪問事業所、デイサービスなども参加して皆で意見を出し合える場にするためには、Zoom 会議なども必要では？！
○社会全体を巻き込むこと。対応がどれがベストか、あるいはどう対応するべきか。
○協議会の会員がいつも先導しなければならないために、今後参加している方々にも自ずから動いて活動してほしい。
○地元に長く住んでいる方と、転居・転入してきた人が地域の課題を共有すること。
○まず地域に存在を知ってもらうこと。そのための広報活動
○イベントをするが、その後の住民とのつながりがない。
○災害発生時の対策
○アンケートを取る時期がおかしい。この２年間はコロナですべてが活動停止状態
○地区によって全体の盛り上がりになっていない。
○活動費用、スタッフの手配と大変でしょうが、地域住民の交流が多くなる行事をお願いしたい。

### （2）東部第二（21 件）

○会うことがあまりない。
○一部の限られた人に、活動の役割や負担があるような気がする。
○イベント活動に終始している。協議体を協働し、地域の支え合いの仕組みづくり等、もっと地域の困りごとに目を向け、何ができるのかしっかり向き合い、考えるべき。
○イベントに力を入れ過ぎで、個々の人への支援が滞っているように思う。
○活動している方が高齢化しているので、若い人の参加を希望したい。
○活動に参加して下さる皆さんが固定化してしまう。
○具体的に分かりにくい。
○元気な高齢者、社交的な人にはよいが、対象が限られている。
○参加してないのでわからない。
○参加者が固定化している。一般の人が参加しにくい空気感がある。
○市からの専任組織ではなく、片寄りがある。
○政党が片寄っている。
○存在のアピール
○地域活動をもう少し行い、地域の住民により多く参加してもらうこと。
○地域の方々とのふれあいの場。どのようにしたら沢山の方々が望めるか。
○地域福祉協議会の活動を住民に伝える方法がよくわからない。
○町会活動と重なる部分がある。
○町会行事と重なることがあります。
○町内会が協力的ではない。町内会の役員会でもテーマに載せない。
○もう少しアピールすることも必要なのかと思います。
○よくわからない。

### （3）西部（23 件）

○高齢化対策
○防災対策
○防犯対策
○新たな議題と考え方が出ると思うので、その対応
○会議が開催されていないです。
○顔を合せて多くの人で話し合う場、活動する機会の減少
○各世帯の世代間に少々開きが感じられるその

点を如何に調整するか。
○休止している地区活動計画の策定を実現させる。
○居住地域が広く、地域ごとのニーズが異なり、方向性が一致するのかよくわからない。
○啓発
○現在、会議そのものがコロナ禍のために休止となっており、計画策定のスケジュールが大幅に遅れている。
○コロナ禍により、活動が停滞してしまっている。
○コロナという今までに経験したことのないような状況となって、会議等が中止となってしまったのは仕方のないことだとは思うが、困ったときにこそ活動すべき協議会なのではないかと思う。活動が停止してしまったのは残念
○社協会費は払うが、内容が分かっていない。
○周知されていない。
○知らない人が多くいると思います。
○西部地区は始まったところで、コロナ禍の影響を受けてストップしています。改めて最初からスタートする方がよいと思います。
○町会・社協・行事と重複しているため、推進協議会での特別な活動はあまり必要を感じない。
○町内会の役員との活動範囲。具体的に何をしようとしているのか？
○中身のある変化をもたらす活動
○早く計画を策定し、実行に移す（西部地区）。
○福祉制度と制定の理念の理解啓発
○まず、町内会の様に地域福祉推進協議会を誰にでも分かる様にPRすべき。

## （4）南部（26件）

○PR活動の内容について、町会相互が連携して協力して支援する。
○新しく入る人にとってはハードルが高い。
○以前は、町内会と競合するような状況が見られましたが、近年は融和が進んでいます。この流れを更に進めていくことが大切と思われます。
○一部のみしか理解していない。地域の人の理解を知ること。
○いつも同じ人が参加されてます。これからはもっと多くの方に参加していただけるようになればよいかな。
○感染対策を行いながらどのようにイベントを開催するのか。人が集まることについても、意見が分かれているように感じます。
○おしゃべりの会のみ参加しています。
○各団体を代表してと言うよりは、個人としての参加的色彩が濃い。各団体の参加意識の違いがあり、それぞれの団体全体を巻き込んで合同の活動を組み上げて行くことが困難
○活動に協力いただける方を増やすことが課題である。
○活動のレベルについて、私個人としてその評価を客観的に図る指標がほしい。
○活動を支える人たちの高齢化
○協議会の活動内容が若い世代に周知されていないため、年配者だけの会合になっている。発想が狭い内容でしかない。
○拠点の整備。常に支援体制をとれるコーディネーターの復活
○高齢化、若い人を集める。
○高齢化
○コロナ感染により活動ができない（難しい）。
○災害時の取組について、どのような方法で活動を進めたからよいか迷っています。
○参加者は多くありがたいが、役員決めが大変です。
○集会から始まる。
○少しでも多くの方に携わって頂く。
○地域福祉協議会として、地域の活動をみてPRしてほしい。
○町内会と重複しており、同じ役員が活動している例が多く、こうしたボランティア活動をしている者が限られているためと思われる。
○何をすべきか？（目標に対して。）　具体的な方針。町会との連携と役割分担
○より多くの方が参加しやすい環境づくり
○よりきめ細かい活動舞台になるか、他の組織をコーディネートし、より大きなネットワークとし、必要な支援をすることができる組織を目指してはどうか。いずれにしても、目的、目標をより明確にすること。
○理解している方、知っている方が少ない。新しい人が興味ない。

## （5）北部第一（39件）

○活動を構成する委員自体の老齢化
○イベントのマンネリ化（来てくれる人が特技、得意分野を広めたり、教えたりできる機会を増やす。）
○活動をしている人はしているが、声のかからな

い人は参加していない。
○本当に困っている人に手が届いていない。
○2 年間のブランクがあったので、意識が薄くなったと思うので、委員間の交流を図り、頑張ってやりましょうという気持ちを盛り上げる必要があると思う。
○PR 不足とスタッフ（ほとんど高齢者）、参加者が限定され、形式的な活動になっている。本来ならば自宅での孤立者、閉じこもっている者を参加させることが目的であるが、いかにして参加させることができるかが課題である。
○あまり協議会に参加できていないこと。
○一番が高齢化、次いで一般の方への活動の目的、意義の啓蒙努力がやや弱いかなと感じました。
○大勢の人が集まる広い会場が近くになく、現在集まっている所は 2 階のため、足がお悪い方は来られない（参加できない。）。参加できる方が毎回同じになってしまう。会場が狭く、できることが限られ、社協でやっていることと同様のものしかできない。
○活動内容や企画の維持
○活動の中身、楽しんでもらう内容。どうしたら参加して頂けるか。
○活動の範囲は限られており、進んでいる活動とそうでない活動になっている。地域やイベントの内容により、参加者の人数に差がある。若年者の参加が少ない。
○協議会と協議体があり、地域福祉推進協議会としての目標設定が難しい。
○啓蒙活動が必要。全く知られていないので、あってもあまり意味がない。
○現行の活動利用施設が狭く、内容に制約を受ける。
○交流会に参加する人がいつも同じメンバーになりがちなので、もっと色んな人が参加にできればよいと思う。
○高齢化
○高齢者の困りごとや、ひとり親支援の話が最近の課題にあがった。
○高齢者の集いと充実した時間づくりの提供（上記による趣味の達人、指導者の募集で若返りの促進）
○ここ数年、コロナ自粛等もあり、活動中止だったことなどのせいか、特にこの取組に気づきにくいのかと思います。
○コミュニケーションの場を設けているが、参加者が少ない。マンションなど集合住宅が多いので、住民との対話が難しい。
○コロナ禍で、先が見えずにいる中、課題が見つからない現状があります。
○コロナとオミクロン株が早く終息し、「中止」の二字を消したいと思います。
○参加者がもっと楽しく生活できるように力を入れられたらと思います。
○周知、認知が低い。関係者内部の自己満足的活動
○人員を増やす必要がある。児童福祉など対象を広げていく必要がある。
○進んでいる内容はほんの少々で、情報として一般に行きわたっていない。一部のほんの少数だけの活動になっている。
○世代間継承の問題。社会が変わり、これまでのやり方が上手くいかなくなっていく中、新しい担い手が力を発揮できる素地を作るため、現在の中心メンバーとの間で、様々な橋渡しを行っていく必要がある。
○多少なりとも関わったことのある人は、理解していると思うが、ほとんどの住民は活動そのものを知らないと思う（興味も無いのでは？）。大切なもの、必要なものであるなら「どうして…」と言うことを知らせていくことをしないと協力しようと考えるのは高齢者ばかりでは！！
○何を何故、何のために誰がどう策定し、その結果がどのように役に立ったのか生きた報告（目標設定・達成などのデータ共有）がないことが課題だと思っている。
○何を話し合う場なのか。
○認知症ボランティア、ごみ問題
○認知度が低い。若手の活動が少ない。
○場所が限られもっと広い所で、近くでできれば！
○場所の家賃代（お金）不足です。
○福進協について知られていない。茶話会はコロナ前には何度も開催したが、何のためにやるのか？　ということをきちんと定めず、開催することに意義がある！　という方向に進んでしまった。
○他の協議会と連携した活動→一体化
○本当に困っている人たちの情報が届きにくい。
○催しを行ってもいつも同じような方だけが出てくる出席者と、手伝い者が同数位、出席の方

が少ない。

## （6）北部第二（35 件）

〇活動するメンバーに若手がいない。
〇高齢者ばかり(先細り間違いなし。)。
〇活動の拠点が確保されていないこと。情報発信も、通年活動の備品の収納も決まった場所と人材がいてこそ可能となります。
〇事務能力を持つ人材が少ないこと。PC による効率化、文書管理も現代では必要。でも習熟した者がいないため大変苦労しています。
〇自由に使用できる拠点の確保(使用料の問題)。若い人たちの助け
〇メンバーの高齢化
〇メンバーの高齢化による負担感の増加と意思決定の固定化
〇一部の地域の活動では？
〇一部の人間の活動場所になっている。この地区の町内会はどこも参加していない。
〇多くの人に参加してほしいが、今の状況では難しいと思う。
〇限られた時間の中で、多くの方が参加する会であるにも関わらず、限られたメンバーしか情報を発信していない。参加者一人ひとりの意見を抽出することが課題の一歩だと思う。
〇活動地区に差があり、11 町内会での平等性はない。地域住民から始まったが、各町会長の参加はバラバラである。各町会への平等な行事内容の検討が必要と思われる。また、個人的に団体への応援は不必要と考える。
〇活動場所が設定（施設）されていることはよいが、広範囲の市民を対象と考えると、常に参加者が部分的に利用しやすい。
〇活動をもっと広く知らせていく。
〇拠点がないため、活動の継続が難しいことが多くあります。現在は、決められた曜日の活動、短時間の活動を繰り返しています。
〇拠点となる場所や倉庫がない。
〇公共性に欠けて、一部の団体の活動になっているように見える。拠点が選挙事務所に使われていることは、住民の不信感につながっている。
〇公的な立場の地域で活動するコミュニティワーカーや、コーディネーターが不在なこと。住民の頑張りだけの限界に直面している。
〇高齢化（委員を含む活動の担い手の）
〇孤立している住民をどのように支援していくべきかと思います。
〇コロナ禍の中で、集まる場所等が課題？
〇若年層の参加
〇周知活動(学校にチラシ配布やポスター掲示など。）は十分できているのに、なかなか浸透していない。もっと違う方法で知ってもらう必要があると思う。
〇人材不足。町会との連携がうまくいっていない。市民の認知度があまりにも低い。
〇地域一般市民への広がり。
〇地域的活動拠点が、片寄っているため、無関係の方、また活動自体理解されていないことが課題となる。
〇町内会イベントとの合同化、活性化が足りていない。
〇どの様な活動が主に動いているかあまりよくわからない。
〇日常活動に必要な拠点の確保
〇担い手の不足や高齢化
〇包括としての意見として、もっと介護保険課（行政）と連携し情報共有をしてもらいたい。
〇ボランティア活動として活動をしているが、活動員が増えない。
〇メンバーの拡大
〇若い人に知ってもらうための教宣活動
〇若いボランティアの方が参加してほしい。

# 2-7　地域福祉推進協議会が今後力を入れるべきこと（問 13）

問１３　今後、地域福祉推進協議会は、どのような活動に特に力を入れていくべきだと思いますか。

## （1）東部第一地区（21 件）

○安心・安全な住みよい環境の維持
○イベントを通じて顔見知りになり、相談・SOS が出しやすい地域づくりをする。イキイキ生活できるよう、講座や勉強会を多くする（地域の福祉、行政や専門事業者を知ってもらう。）。
○色々な世代が参加できるような活動をしていけるとよい。
○活動に参加してくださる方は決まってしまうのではないかと思われる。活動についてのアピールを強化し参加しやすく、また興味を持ってもらえるようなアイデアを出し合っていく必用があると思います。
○関係者しかわからない状況の一般への開示
○具体的な活動が全く見えていません。現状がコロナなのか、ごめんなさい…よくわからない。
○高齢者主体の活動を総年齢傾向に変える。
○高齢者対策（支援）そのためにも、町内会、自治体などの地域との連携
○高齢者のみの世帯や、独居老人の見守り。共働き家庭の児童の安全
○コミュニケーションといいますが、多様な付き合い連携のとれる人間関係のつながりができるまちになればと思います。これは国全体の問題でもあると思います。
○孤立防止からの支援
○社会資源の担い手づくりの市民教育
○集会所の利用での地域住民の交流
○状況・情勢に柔軟に対応できるように他地域での活動を知ること。
○多様な人と自然に付合えるようになるための取組
○単発的な事業ではなく、地域が安心できる連絡網と楽しみを持つこと。
○地域が広いので、興味はあっても体調等で参加しにくいこともあるので、時には小さな区分けでの活動があっても良いのでは…。
○町会会館等を利用して、福祉に関する相談会や勉強会、ボランティア募集などの催し等
○とても魅力がある活動だと思われるようにするには、参加してくださる人が「何をしたら楽しいのか、嬉しいのか？」を意見交換などして具体的なことへと進めたい。
○防災
○分りません。しかし、おざなりな底の浅い活動はしたくありません。

## （2）東部第二地区（21 件）

○気軽に立寄れるまたは参加できるような会合またはイベント
○活動内容がよくわからない。
○活動の基に地域住民が多様な付合いや情報交換。安心生活ができるようになるのでは…。
○広報と多くの人の参加
○高齢者がお互いに話し合える場所で、自分の考えを伝え、また他の方の考えを聞いて自分に合った生き方ができれば良いと思う。
○高齢者の気軽な居場所をたくさん作れたらよいと思う。
○高齢者や子どもたちへの支援に力をいれてほしい。
○声かけ運動というか…地域で困っていること、困っている人に手を差し伸べるような活動をしてほしいと思います。
○コミュニケーションのとれる場所があればよい。
○社協とはどんなことをしているのかを伝えることが第一だと思います。
○自立と尊厳が守られ、SOS の出しやすい内容の地域づくり。
○存在をアピールする事業の提案
○誰もが安心・安全に過ごせる居場所づくり。
○地域全体の活動や考え方
○地域の方々との同じ思いで活性化。高齢者を一人にしない活動
○土台を作っていかないと、なかなか結果が見えてこない。
○福祉面だけでなく広い範囲で物事を考え行動できるようにすべき。
○マンパワー不足の解消のため。人材を増やす・人材の育成
○皆が参加する。できるだけ多くの人が参加する。
○リタイアした男性にとっても意義ある活動や

勉強の機会、ボランティアに得意分野で力を出して頂く。
〇少人数でも、身近な場所でお互いを分かり合えるような会合

## （3）西部地区（19 件）

〇高齢者対策（高齢者夫婦、高齢者１人住まい対策）
〇防災
〇運動（ウォーキング）や食事をとれるイベントを開催できるとよいと思います。
〇団体同士が定期的に集合し、継続的に情報交換や関係づくりに取り組む（リモートを活用し、離れていても参加できる仕組み）。
〇活動は分散化が必要と考えます。
〇広報、PR 活動の推進
〇子どもや子育て家族を対象にした活動にも取り組んでいけたらと思います。
〇周知、なり手の育成
〇地域関係機関との連携・協働の充実
〇地域住民への情報発信。ほとんど知られていません。
〇町内会の各行事に参加する。もっと交流を多くする。
〇ネットワークづくり。身近な問題でお互い支え合える体制
〇目的を明確化して、目標を立てて具体的に活動して行くべきと考えます。
〇若い世帯の方々がもっと関心を持てるよう地域を盛り上げていくべきと思う。
〇分かりません。
〇子どもが健やかに育つ優しいまち及び高齢者が生活するのに心温まる対人関係の持てるまち
〇各組織（自治会+社協）の連携活動
〇ひとり暮らしの高齢者対策
〇子どもたちが伸び伸びと過ごせる場所

## （4）南部地区

〇地区間による情報共有
〇あまり人が集まらない場所があるので、集まるように声かけなど。
〇今のところよくわかりません。
〇今までの活動実績について、振り返りなど町会の各部会に働きかけ
〇動ける人だけの会の様です。集会が無い。
〇協議体との連携（できれば統合）
〇近年は町会、老人会、子ども会などの運営が難しくなっています。高齢化に加え、近所意識が気薄になっていて、地域活動を不要としている人が増えました。このような状況を共有し、出口を模索する取組が必要と思います。
〇孤立する家庭がないよう地域で見守り
〇参加者がいつも同じメンバーなので、発展性を望みます。
〇職員がもっと地域に出ていったらと思います。
〇推進協議会を知らなかったので、意見はありません。
〇外の福祉関係の団体等が仲良く共同で問題にあたったらいいと思う。
〇縦社会が根強いため、横社会を構築する。特養ホーム・病院の増加、介護ヘルパー増員と勉強会を作る。
〇地域での昔のような、隣近所の付合いができて、情報交換がしやすい活動
〇地域にある社会的資産をコーディネートし、ネットワークをつくり、機能的できめ細かな活動をできるようにすること。多くの団体が資産あり皆同じような重複する無駄な活動しかしていない。
〇地域のコミュニケーション
〇小さい子どもがいる家庭の人たちが喜んで参加できる活動があるとよい。
〇町内会活動との連携強化により、具体的事項をアピールしていく。それを続けていき効果測定をしっかりやること。
〇町内会活動をバックアップすること。
〇町内会や社協支部の加入の有無に関わらず、支援が受けられる体制が整うとよいと思います。
〇月数回、短い時間でよいので体操等運動を中心とした活動
〇独居の方を孤立させない。
〇幅の広い内容で、活動して行ければよいと思う。
〇必要、不必要な活動の整理
〇避難行動要支援者制度に於ける地域支援者の各団体での組織を緩やかに統合し、地区一斉のキャンペーン、行動を行うべき。
〇前向き（問 12-4)の如く、指標があれば励みになると思う。
〇若い人を積極的に入れ、行動できる会にする。
〇分かっていない人がいないような PR の工夫
〇防災対策（台風・地震など。）

## （5）北部第一地区（38 件）

○支えを必要としている人々への具体的支援
○地域に関心がなかった人やなじみのなかった人が徐々につながっていくための「地域への入口」づくり
○もっとたくさんの人が参加できるよう工夫していくべき。
○一般の方の啓蒙と書きましたが、「一般」は一種類ではなく、小・中・高校生などがあるわけです。そのため、本来は定めた対象に対して、その人たちに合った表現で、地道に説明することが大切かと思いました。
○今までの日常に戻った時に、計画通りに進んでいけば素晴らしい活動だと思います（私の所では町内会の活動と一緒になっている。）。
○お互いに助け合うことが大切だと思う。やってもらうことを待つのではなく、参加して何かをやる。
○健康で明るい地域づくり（生きがいの手助け、場所の提供、年齢により近距離・遠距離可能選択）
○現在、実施されているお茶会等は、年３～４回に限定され、形式的な行事となっている。今後は、地域活動の拠点としての場所には若いスタッフが常駐し、いつでも休憩、団らん、お茶会、ゲーム等のできるような場所を設けて頂ければ、高齢者の励みにもなり、参加者の増加も見込まれると思います。
○広報チラシなどを注目して協議会の認知度アップを図り、多様な人材の発掘に努め、活発な活動を推進する。
○高齢者が多くなり、介護、子どもの教育、若い人の参加など。
○高齢者だけではなく、保護者の子育て相談など…児童福祉
○高齢者の身体の不自由な方々、子どもの貧困に。
○子どもの貧困対策、世代間交流など。
○自分たちで、何が必要で何ができるのかを考えることがまず大事だと思います。
○市民が参加しやすい環境づくり
○社交的な人は、問題ないと思いますが、家から出たがらない高齢者をどうするかだと思います。身体的もありますが、集団は嫌という人もいて、性格も関わるので大変です。
○集会場、公園内でできれば…。子ども達も一緒に！
○住民との交流
○スペースともに広場に足繁く足を運んで顔を出し、現場の声を聴くこと。
○すみません…具体的な活動をどういう形で行っていくかは考えがまとまらず、断言することはできませんが、風通しのよいまちづくりをしていくこと、そしてそうなることを願います。
○生活困窮者の支援、子どもの貧困
○組織、実際の活動（ニーズ、実施、結果評価のメリット等）、連絡、報告など、全面的に見直してほしい。
○地域の方が安心して集える場所を提供していくこと。
○地域の住民に存在理由を理解してもらうため、PR や啓発活動を推進する。
○地域福祉の推進
○町内会、社協と協力した全ての人が参加する茶話会等の活動
○知力、体力とも衰える老齢者に対して、孤立させないよう訪問。医師・栄養士等の講和会の開催
○できることには限界があります。そこに興味のある方が集まる。
○一人住まいの高齢者、高齢者だけの住まいの方の外出を促すことになる。
○身近なできることから。
○もっと多くの人、団体が協力し合って行える活動にしていくこと。
○もっと住民同志のつながりが幅広くなればと思う。今は、ほんの一部の人にしか認知されず残念
○友愛活動を望む。
○リタイア前の 50～60 代の地域デビュー。リタイア後の特に男性の地域活動参加促進のPR、交流会の開催
○高齢者同士のふれあい機会の増設
○生活圏域（生活しやすい距離や環境）活動。周知徹底、地域資源（ヒト・モノ・知恵）の掘り起こし
○行政・社協・専門機関との協働体制づくり
○町内会をもっと活用して身近な人との支え合いに重点を置くべき。

## （6）北部第二地区（39 件）

〇誰が何を何のためにやっているのか、一般人は知りません。
〇高齢者の問題（独居老人等）
〇これまで行ってきた活動を継続すること。
〇自立した生活
〇SOS を発信できる環境づくり
〇各事業への広範な人々の参画と、信頼関係づくり、縦割りを超え各専門機関、民生委員、住民の協力関係づくり
〇活動場所の地域ボランティアの方が多い。町内会との連携イベントがもっと進めばよいが、各町内活動が衰退していることにどう対応していくかと思う。
〇既存の活動方針でよいが、まず 6 ブロックの足並みをそろえることが大事では。
〇協議体と協議会を一本化し、義務化されている協議体が、音頭を取った方がよいと思う。特に力を入れてほしい内容は底辺に立って、住民一人ひとりを支え支援できる内容を考えてほしいところです。
〇行政との連携
〇広報
〇高齢者が増えている中、一人住まいの方等の安否確認など、姿・お顔をみられるような活動が大事だと思う。
〇子ども・高齢者・障がい者、誰もが住みやすいまちづくりにするため、地域の皆さんとさらに巻き込んでもらえる橋渡しのような存在でいてほしいと思います。
〇子どもの地域活動を支える活動にも力を入れてほしい。子どもが元気だと地域も明るくなるから。
〇支部員を増やす必要性をかんじている。
〇情報の発信・正確さ
〇世代を超えたつながり
〇専門的で答えられない。
〇その前に問 12-4 が先決です。現在も老人と子どもだけ（対象）でなく、そこに住む人老若男女を視野に入れた活動
〇多世代が交流できる活動を進めていくべき。呼びかけに応えて参加する人だけでなく、様々な事情を抱えながら地域の顔を見せることの少ない人たちが参加できる事業、活動を考慮していくべき。地域には、誰ともつながりが持てず、ひっそり生きている人（特に高齢者）が多くいます。
〇多世代等多様な人々の居場所と活躍の場づくり
〇地域全体からの参加を。
〇地域にこのような組織があることが知られていないため、もっと知りうるために工夫をすべきかと思います。
〇地区内の全町会・自治会の人たちが参加できるよう声掛けをし、現在はあまり関わりのない人たちとも交流できるよう工夫をして行くべき。
〇地区の一体化
〇町会活動との二層構造をなるべくなくすこと。
〇集いの場や体操など、進んでいない地区へのアプローチ
〇年代により、何か必要なのかを支援する側が理解していくこと。
〇引き続き、地域で子どもから高齢者・障がいのある人も皆で行える活動を行っていってほしい。
〇人が集まる場所と行事の推進
〇人との付き合いは難しいが、協議会活動に入りやすい方向にしていくべきだと思う。
〇要支援者への対応強化。防災会との合同対応強化
〇子どものお年寄りも安心して生活できる環境の整備
〇障がいを持つ方、その方に携われる方々の包括的な支援活動に力を入れていくべき。
〇若い人たちの活動への参加
〇コロナに対応しながら、新たな活動を取り入れながら住民が出会い、関わり、支え合いにつながる活動をしていくこと。
〇孤立にしない。
〇居場所づくり、多様な付合い、おしゃべり、趣味を楽しむ、知識を学ぶなど。いきいき広場の再開を強く望みます。
〇活発に活動していると思うが、一部の人が頑張っていて、新たに関わりたいと思っている人が加わりにくい様に見える。

# 2-8　巻末自由記入

最後に、これからの福祉のあり方や暮らしやすい地域づくりについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

## （1）東部第一地区（26 件）

○家にいても何かしら関わりが持てるようにネット環境を整える。公民館でもよい。

○３～5 年のうちに人口 20 万中核市を目指す。①千代田、新宿で職を持つ人の 1～２万人を市内に定住させる。②地下鉄の延伸。③都心に最も近く自然（川・台地・作物）を PR。④野火止台地の地盤の強固性PR⑤野火止台地を真っ二つに開削した関越道は他に例を見ない造形です。両サイドコンクリートではもったいない。アクリル樹脂で覆い、地層をリアルに表出させる。武蔵野台地の地層を見れるのは新座市しかない。台地のリアル。関東ローム層の成り立ち。費用はふるさと納税。両サイドの 1/3 を広告面として活用。地下鉄延伸もその延長にある。市民は両サイドの台地から見学。東日本高速道路（株）のご理解が得られるか？

○地域福祉協議会の会議は、Zoom で開催検討お願いします。

○コロナ禍でもできるイベントの再開検討をお願いします。

○多職種間での情報共有ができるようにしたい。

○高齢者とか障がいある人とかの枠を外して、誰でも自分のこととして考えて、問題解決に向けて地域全体で取り組めるような地域づくり。

○社協の方、他福進協の方、市の職員の方はそれぞれ高い意識で活動されていますが、それが「地域」に広がっているかというと、正直なところ疑問です。地域連携ネットワークの構築が国から求められていますから、ネットワークという耳に聞こえ良く便利な言葉を単に使うだけではなく、具体的な連携システムを作り、そのシステムを関係する団体や個人が共有するべきかと思います。この結果は公表されるのですか？

○互いに信頼関係が築けるような地域づくりが必要だと思う。それには、リーダ的存在が大切になる。

○市の委託により、市民後見人が成り立てばよいと思います。よりよく生きる方向性は受け手も被対象者の方々を喜びと楽しみが存在しなければ成り立ちません。ボランティアは一時しのぎの活動員です。全ての人々が共に生きるのですから…。人間育成も重要なところでしょうか？　現役を離れ、これまでの体験や経験を生かすための後見人育成が重要なのではないでしょうか？　尊厳と尊重を理解し、判断し実行と代行が確かな人材により成り立つことが望ましいと考えます。後見人を市の特別職員としてほしいと思います。弁護士さんや、司法書士さんを優先しない市民後見人を、対象者さんの懐に飛び込み理解を伴うことに後見力は発揮するものだと考えます。

○高齢社会に向けて年次計画を立てて、具体的に市民にアピールをする。

○空き家が増えると雑草の放置、地域の防災について意見交換、一人住まいの対応、家々の生活格差等ある。

○テーマ毎に意見を徴収し、５か年計画を発表する。市民の生の声を聞いて作ることである。

○名目だけの団体等は無意味ではないかと考える。〇〇団体、〇〇集会、〇〇会等、同じ老人たちの時間だけを費やし、進展も活動も自身たちだけのお楽しみ会となり、何かをしたところ活動報告だけが残るような中身がない集会等。有志〇〇人とか？　意味があるのか？　実態を知っていないのでは？　本当に住民の立場についての活動なのか？　大きな事ではなく、小さな事から広げるようなことは無理なのか？

○近くで日向ぼっこをしている高齢者が気になって声をかけた時、体調が悪いといわれたが対応が分からなく…2 日後に亡くなられたのはショックでした。

○今後生きていく中で、地域の方にお世話になることがあると思います。現在は、身も心も健康であると認識していますので、誰かのために助けてあげられること、支えてあげられることがあれば、私では小さい小さい力かもしれませんが、関わっていきたいと考えています。

○市役所の福祉政策課には期待できない。コロナ

問題でも何もしないことが良いと考えている。どうしたら皆のためになる市政かを考える観点がない。このようなアンケートも何かの行動を起こすためと言うより、何かをやっているジェスチャー感が強い。

○国全体が高齢化が進み、自分の地域でも私自身も含め、そのスピードが早く単独世帯も増え、雪が降ったら雪かきができない。車の免許の返納で、病院、買物が自力では無理、市民清掃デーに出れない等々、困った課題も多くなって来たように感じます。行政の方でも、フリーパスや巡回のコミュニティバス（商店、病院の）等、望んでいる人が多い。

○少人数で活動。縦組織から横組織の活動。立案から実行まで時間が長すぎる。

○一旦決めた事について、変更ができない・新規の事ができない委員の育成のレベルアップなど。委員に資格など、取らせるまたは与える。

○各グループの製作物（作品）の販売等

○コロナ終息後がどうなるかわからないので、それがはっきりしてから考えたい。

○少しお金がかかっても、質を向上して良いものを長く使うことが大切（物や、制度やその他のこと）

○地域の活動、障がい児支援事業の勤務を通して、日々感じることは支えられる親や家族がいて必要な機関とつながれる間は心配ないが、高齢になったり家族が離別した際に、大きな困り感が出てきている。近所の方とのつながりや、頼まれる方がいない場合、現状を把握するところから始まるが、職務上難しいところもある。やはり、ご本人やその家族が必要な行政機関に相談することが第一歩であるので、それに必要な情報をお伝えし、相手に寄添い話を聞き、安心してご相談を頂くことが、私達の務めであると感じている。地域社会が希薄であり、現役時代の余裕の無さ、ネットや利便性が高くなったが、日本文化・習慣・コミュニティが乏しくなっているという状況で、地域の皆様が安心して暮らせるサービスがより必要な時代であると痛感しています。

○イベントを通じて顔見知りになり、助け合いの気持ちが生まれるようイベントの工夫

○気楽に話すことができる居場所づくり。地域の情報や活動内容を伝える掲示板的役割。地域の人がなんとなく行きたくなる場所がある大切さ。

○各家庭に無線装置で情報が流せるといいですね。迷い人や、その他の市の広報で流す情報は車の音などで正しく伝わらないので。

## （2）東部第二地区（18 件）

○地域福祉の拠点が必要。常設で、いつでも誰でもがどんな小さな件でも話し、相談し解決策が見つけられる場所が必要だと思います。

○地域福祉推進についてあまり知っていなかったので、今後勉強したいと思いました。

○地域といえば、町内会が最小単位だが、その町内会の加入者（世帯）が減少し、機能しているとは思えない。マンションが増えて自治会でもある管理組合が、町内会的役割をはたしている。管理組合が福祉の領域までになっていないのが現実である。他人のことに無関心なのも戸建てよりマンション住民の特色であるので、地域福祉の問題を持ち込まないのは、難しいものがある。個人のマンションを越えて横断的な地域の拠点 NPO、ボランティアグループなど組織するのが望ましい。

○３次計画の取組には今いち具体性が見えてない。スローガンだけに見えてしまう。

○高齢者だけでなく、独居の人を孤立化させないのが、緊急の課題だと思う（自分の地域に限った偏見になってしまいました。提案でなくてすみません）。

○敷居を低くして、誰でも気楽に参加できるような工夫が必要

○本当に支援の必要な人、また老人等で PC・スマホ等を使いこなせない人がいる。アナログの対応も必要な時がある。

○多数が集まるイベント等が多くできればいいと思う。

○役員の方々、会員の方々の活動が生かされることを願っております。ご苦労様でございます。

○向こう三軒両隣の方と親しくすることが一番だと思う。そこから少しづつ輪を広げて行くのがよいと思う。住民の人たちが積極的に参加してもらいたい。閉じこもっていてはいけないと思う。

○町内会や福進協の方も一住民であり、このコロナの影響もあり、皆自分の生活をしていくだけで精一杯の方々が大多数と思います。そのような状況で、自主的な地域づくりの取組を住民に

求めるのは困難極めることと思います。

〇オンデマンドタクシーを試験運用するなどは、とても良いことと思います。なぜなら、市民の要望にしっかり答えたこと、それによって市民の市への信頼が上がるからです。同様にごみ出し、ごみ当番の問題、畑中地区に集会所がいまだないこと、古くからの住民からの要望にしっかり向き合い、少しずつでも応えていく中で、住民の自主的なモチベーションも上がっていくのでは無いでしょうか。財政困難なので市は何もできないけど、「自主的に動いてほしい」では住民は動かないと思います。住民の困りごとにしっかり向き合い、応えていくこと。それはまず、市や社協がどこよりも率先して進めていくことが重要ではないでしょうか？

〇北二の場合、各町内会の考え方と、福進協の関係性にとても問題があると感じる。他地区の設立方法なら、地域が納得するのでしょうか？とても難しいと感じる。

〇行政や、地域の活動に興味を持っている人が少なすぎると感じます。そのため、広報 PR に力を入れる必要があると思います。

〇町内会として、様々な年代への活動アピールを行い、気楽に挨拶のできる地域づくりを目指す。

〇他地域からの転入者が多く、関心が薄い感じがする。どうしたらよいかわからない。

〇いろいろ知りたい！！　学びたい！！

〇住宅街を車が通ります。通学時間帯に、見通しの悪い箇所が多く、「交通指導員の方が多くいてくれたら…」と思うことがあります。スピードを落とさないトラックも多いので、本当に危険です。八街市でおきた事故のようなことは、新座市でも起きかねないと思います。もっと真剣に受け止めて対策を行ってほしいと思います。

## （3）西部地区（29 件）

〇安心して暮らせる地域にするため、老後の高齢化、病気、障がいに対して手厚いケアが絶対に必要です。そういう市政になれば人口（若者）が増え、明るい地域になり経済も上向きになると思います。不安を取り除く市政として地域福祉に努めたいと思います。

〇進んでいる市を真似したらいいと思う。

〇障がい者の人の手当やタクシー券を減らして困ってるという相談がありました。そういう制度は削らないほうが、障がい者の人たちも出かけたり豊かに暮らせると思います。

〇こまめな小規模のイベントや茶話会などを沢山できればと思います。

〇役員のなり手不足は深刻で、若い人を地域で活躍してもらうための対策は急務

〇子どもの職業体験などを、地域の商店の力をかりでできないかな?!　と思います。

〇本人次第である。行事に参加する意思がなければ何も進まない。

〇アンケートの内容がおかしい、都合の良い回答を得ようとしている。

〇福祉に関しては、スピーディーな対応をお願いします。要介護認定を受け、半年も経っていないのに認知機能の低下、足腰の老化が進んでしまった。また認定の面接等受け直す必要があるのか？

〇近年世間では大変な変動で、ましてコロナウイルス等また毎年自然災害による官、民の困難は心配です。ただ私が思うに、今の若い人または就学生等（0～18 歳）に対する給付の支給が検討されていますが、少々甘いと思います。私等は夜学へと親、政府等に頼ること無く自分で将来をまた親の苦労を考えると自発的に昼間働き夜学へ進みました。今の若い者にそのような気迫は皆無です。最近世間を騒がす事件の多数を見ると、自分の行動・思考・志向等にも問題があり、自分を甘やかしています。はっきり言ってもっと厳しくあってもと思います。市の今回の福祉推進の件は良いですが、それを受ける人（市民）がもっと向上心を持つことも大事だと思います。

〇町会とは、別に地域福祉の PR を行い大勢の参加を促す。

〇Zoom や LINE のビデオ通話のようなものでコミュニケーションを取れるとよいと思います。

〇定期的なお茶会・ウォーキング・体操を、いろいろな場所でできるとよいと思います。

〇誰もが遠慮なくお話ができる場。気楽にお話ができる場

〇具体的に考えたことがない。

〇地域づくりといえば、住民同士の結びつきということになるでしょう。しかし、その集いに参加していただくために、どうすればよいか？場所はコロナ終息後何とかなって行くでしょ

うが、集うための手段が欠けています。同じ町内でも呼びかけがないと参加できません。呼びかけがあることに気づかない、または例え呼びかけがあったとしても、ほんの近い距離でも行くことができないのが現状です。誘って連れて行っていただける手段とか…、遠い場合には市内循環バスをもっと便利にするのがよいと思います。

〇今、“超”がつく高齢社会になりつつあります。手厚く、新座市はやってくれていると思います。しかし、子どもに対してはどうでしょうか？　親の収入により学歴の差は広がっております。私が住んでいる所は駅に近いので、比較的問題は少ないかとは思いますが、それでも声をあげられない家庭もあるかもしれません。何はなくとも教育です！！　教育格差の無い様になるべくしてあげたい。子どもがあきらめてしまわないように、希望を持てるようにちゃんと教育を受け就労し、納税できる社会人を作るのが大人の任務です。地域で対応する新座市でいてほしいです。福祉というと、子どもの教育は違うかもしれませんが、地域福祉推進委員会でも、是非進めて頂きたいと願っております。

〇コロナ禍で地域福祉全体がストップ、後退したと考えますが、これは日本・世界共通する状況です。公には、それを超えて課題に取り組む姿勢を市民に見せる必要があったのではないでしょうか？　コロナを理由に厳しく言えば、無策に甘んじることはなかったか。私たち自身NPOとして日々過ごしています。厳しい回答が多くなりましたが、地域の将来が心配です。希望の灯りをもっと明るく照らして頂きたいところですが…。

〇恐らく、ほとんどの方が問題に直面してから分かることができると思います。できるだけ柔軟に対応して頂けるとよいと思います。

〇誰もが支えられ、そして支え楽しく暮らしていけるまちづくりができるとよい。年をとっても、動けなくなってもやれることを提案できるとよいと思います。地域で、子どもを育てる顔見知りの大人が、沢山いるところで子どもたちが笑顔で育っていけるとよいと思います。親と残念ながら合なかった時も他に話せる大人がいて、第３の居場所があるとよい。家と学校のみが世界のすべてでないと分かることで、苦しまなくてよくなる子どもが多くなるとよいと思います。そして、その居場所に高齢の方が多く関わって、生きがいになってくれたらよいと思います。その提案や設計を、誰でもやしやすい形で作ってほしいと思います。

〇（防災・防犯）防災及び防犯は、地域のコミュニティを良くすることで、防止や発生した時の対応や対策が良くなると思います。しかし、現実には町内会に参加しない人々が増えて、地域のつながりが弱くなっています。何か地域全体で盛り上がれる活動をすることが大事で、コロナが収まった後の対策が重要になってくると思います。一丁目町内会では、来年度の夏祭りを盛大にして、盛り上げていきたいと思っています。

〇問２に特化して回答するのがよいのか判断がつかない設問が多い。地域の一市民としての回答が良かったのか、全体的に流れ(アンケート)がつかめない。

〇西部地区は、新型コロナの関係で停滞中なので、早く委員会が開けることを望みます。

〇ベテランと言われる人の中には、新しい考えやデジタル化を受け入れようとしない人がいますので、時代に合った考え方ができる地域活動の担い手や、リーダーの育成が急務だと思います！

〇「若い人」「子育て中のお母さん」「高齢者」から意見や要望を聞く会を定期的に開く。上記で聞いた要望で、できることから実施してみる（失敗を恐れない考えを持つ。）。

〇もっと、アンテナを広げる活動（地域の色々な会から話を聞く）を行う。
案）「独居老人宅」や「シングルマザー宅」の情報地図の作成（自分たちの足で調べる）！

〇高齢化が進んでいる。孤独死も何年に一度発生している。①自治会の担当者。②社協の担当者。③市役所の担当者。現在、誰も巡回してないのが実態であるが、チーム編成して問題の家を巡回する制度が望ましい。

〇親・子が伸び伸びと活動できる広い公園を設営（農地転換等）することが望ましい。

〇空巣や振込詐欺が増えている。新堀地区に新座警察等の交番を設置することが望ましい。

## （4）南部地区（29 件）

○アンケートを見て勉強になりました。色々真心を持って取り組むことの大切さを知りました。ありがとうございます。

○これからの福祉では、次世代のボランティア人材の確保が必要と思います。ボランティアに気軽に参加していただく仕組みを構築しなければ先細りは目に見えています。ボランティアが多ければ、先の問題点等はクリアできるようになると思います（近所への目配り防犯）。ボランティアグループに入ることは面倒だし、グループ化がありそうで嫌という方が多いです。私たちボランティアが気が付かないうちに、一般の方たちは入りにくい雰囲気ができているのかもしれません。ここの仕組みを本当に考えませんか？

○四捨五入！　80 歳の婆より。ガードレールの設置が進んでほしいです。自転車専用路の白線、歩道も広くしてほしい！！（道路の端っこの狭い自転車専用路の白線くらいは、とても恐くて。）狭い歩道を自転車も一緒に通るのはとても怖いです→歩道を歩行している時に、今時の若者の自転車がすごいスピードで追い抜いていきます。一言声をかけたり、減速して…などありません（今まで何度もヒヤッと度肝を冷やしました。）交通ルールをきちんとしっかりと守ること等を、もっとしっかりと厳しくの教育が必要なのか。道路をもう少し広くして（難しくとも）自転車の専用道路をしっかり確保するような改修の問題なのか？　よく考えると、右側通行の歩行者と左側通行の自転車が、同じ歩道を同じ方向に向かって通るということは、普通の交通ルールではあり得ないのですね。これからは私自身気を引き締めて通行します（人は右・車は左の大原則）。そして人にも車（運転の方）にも自分中心にではなく、優しい心を持って—！！　だらだらと余分なことを！！　失礼しました。お忙しい中をここまで読んでいただきありがとうございます。日頃お役所の方々が色々頑張ってくださっていることに恐縮しております。皆々様も健康に安全にがんっばって下さいませ。

○福祉には必ず予算が付き物。コロナを例にすれば設備をしないで。バラ蒔優先では福祉費はいつも期待できない。最初の頃、補償があれば自粛できる。みんなの意見であった。…それが今も２年間延々続いている。設備の設もない。特に不特定多数が集まり語り合う集会の場から生まれる。何事もコロナ最盛期の時でも、専用の会場を作る意気込みが欲しかった。コロナは収まっていない。実証がない。

○地域福祉って何だろう…？　と思いました。実際にどんなことをしているのかイメージしづらく、一般の方にとっては認知度が低いように感じています。もっと取っつきやすく分かりやすい雰囲気があるといいですね。具体的な提案ができず申し訳ありません…。

○漠然とした話で恐縮ですが、地域福祉を当地区で考えてみます。東京周辺はどこでも同様でしょうが、当地区も住民の地域意識は極めて低く、地域活動の中心である町内会は高齢化が進み、存続が危ぶまれる状況になっています。地域福祉は様々な観点から見ていくものでしょうが、この地区は町内会と表裏一体なので、まずはこの状況を確認した上で考えたいと思います。一部、既回答と重複しますが、ご容赦下さい。

『地域の現状』

・班…地域の最小単位である班は、町会費や募金の収集、回覧対応、ごみ収集等を行っていますが、高齢化の進む班では輪番の班長ですら選任に困難が伴い、班ごと町内会を脱会するケースも見られます。班は地域の原点であることから、まずは班内の「まとまり」を推進することが重要です。例えば、避難行動要支援者やひとり暮らしの高齢者は、制度として特定の個人が看るだけでなく、班全員でケアする態勢等。

・町内会…活動は従来通り維持しているものの、スタッフとして企画に加わる人はほとんどなく、その数も高齢化で年々減少し、残った人が複数の役割を兼務せざるを得なくなっています。これらの人たちは実務に加え精神的負担も高まっています。また会員軒数は新築住宅が増加しているにも関わらず、町会員になるメ

リットが無い等の理由で新規加入はほとんどありません。加えて子育ての終わった家庭では、地域に気兼ねすることはなくなった等で脱会するなど、組織率は低下する一方です。貢献回避、実利優先を見直してもらうには？　このような状況を打開するために、様々な取組が必要

です。

①若い世代（特に働き盛り）への働きかけ。昔とは労働形態が変わり共働きが一般になったことで、夫婦とも地域に目を向ける余裕を無くしています。これを子育て支援で捉えれば、⇒親子で楽しめる企画を活発に(祭りのイベント、ゲーム感覚で楽しむもの等）

②学校や PTA と連携した子ども対策（通学の送迎、子ども食堂、子ども会等）

③退職者へ呼びかけ…簡単なものから始め、仲間を作って老後の楽しみへ（防犯パト、小学生送迎、花壇作り等⇔各種娯楽（ゴルフ・囲碁・将棋・カラオケ等）

④高齢者への配慮…老人会との協力も

⑤その他

・害的対応での各地域の連携（救助や避難等）

・町内会非会員への情報提供と加入勧誘

・不要物の処理（ガレージセール、子育てグッズ交換等）。これらを福進協主体で行うか、町内会への手伝いで行うかも含め、地域が一体で連帯意識をもって考え、対応していく状況づくりが大切と思われます。以上

○市として、これから先お年寄りが増えると思うので、ひとり暮らしの方、生活の困っている人などからの支援を助けてほしいです。片親の子どもさんたちにもお願いします。

○基本的に自助、共助で進行しているが、良い方向性が見えたなら、きちんと予算を立ててした方がよいと思う。

○自然豊かな地域であり、都心にも出やすい利点を生かして、これから発展していく兆しが見えます。弱者に優しい、安心、安全な地域であるために私もできることをしていこうと思います。

○子連れのママや高齢者が出かけやすい様に、市内循環のバス停や本数を増やして頂きたいです。

○自己満足にならないように、必要とされている事は何なのか汲み取り、活動してほしいと思う。なかなか理解されないのは、押付けなのか…と考えさせられる。

○高齢化社会への具体的施策が必須。社会生活の中で、全ての事がそこに引っかかってきている。そこで、地域社会の対応として具体的な事項を挙げ、一つずつ解決していってほしい。

（例）・交通手段（運転免許証返却後）、買物手段、交流の機会、ごみ出し、家庭内の作業（電球替えなど）、自治会活動の役員、防災への備え

○高齢の方々が多くなっている世の中ですが、ご自分から声をあげて社会参加をされる方が少ない。どうすれば参加していただけるのか考える必要があるのではないでしょうか！！　自尊心もあり、また体力の衰えもあり、心の痛む時と思います。子どもも若い人もご高齢の方も共に助け合って行われる地域づくりであってほしいと思います。委員さんの経済的負担が大きいボランティア、自主クラブへの援助が必要だと思います（内容により。）。

○育成会（子ども会）がなくなり、町会の行事も減り、子育て世代との交流も減り近くの方しか分からなくなりました。若い方に地域づくりの意見を聞けたらと思います。

○大人はまだどうにかなるが、子どものヤングケアラーの問題などに、市はもっと力を入れるべき。本当にかわいそう。子どもは社会的にも金銭的にも自立はできないので、行政がもっと積極的に手を差し伸べないとならないと思う。福祉といえば、年寄りの事ばかりに労力とお金をもっていかれている印象。未来を支えるのは子どもです！！　どんな家庭に産まれても、どんな親に育てられても、子どもが未来に希望を持てるようにしてあげて下さい。

○コロナ感染が落ち着いてきたら、町内会、自治会中心に年間行事をすすめ、地域の方が集い合う場を多くつくり、地域友好を深める機会をもち、孤立の防止にまた、助け合える交流を進めていければと思います。

○とっても大切な、また必要な施策だと思うが、若い方に関心がない。どうしたら興味を持ってもらえるか、伝えることが大事ではないか。色々な方に福祉の担い手になってもらう。トップが同じ人だと、話はスムーズに行くが、プロ化してしまう地域福祉は色々な方が携わり、試行錯誤しながら進めていくのが良いのでは？100 点でなくてよい。100 点を目指すのが大切なのでは。そこにコミュニケーション、ふれあいが生まれるのでは。

○高齢者、子ども、親子、防災に力を入れてほしい。

○新座市は、障がい者や施設が多いと思います（統計的には把握していませんが。）、特に障が

い者福祉や、雇用をもっと促進させる必要があると思う。市内の各施設間が対話する機会も必要だと思う。

○地域福祉のあり方が（あまりよく知っていないので。）、よくわからないのですみません。

○多くの組織があり、よく似た活動をそれぞれが行っていて無駄が非常に多いように感じる。組織を整理統合し、さらに地域にある社会資産を整理し、これらを全てコーディネートし、ネットワークを作成し、目的に沿ったキメ細かい活動ができる全体的な組織づくりをするべき。

○ボランティア活動に参加する若い人がいない。

○民生委員として活動していますが、日も浅くまたコロナの影響で活動がなかなかできていません。担当地域を見回ってはいるつもりですが、なかなか様子はつかめません。近隣住民からの情報も特になく、個別の訪問はわずかです。できるだけ、足しげく見回りを続け、問題ある時（お困り事）は相談に乗り、行政へ橋渡しをし、該当の方の生活がよりよくなるよう活動して行きたいと思っています。諸先輩の委員の方の具体例などもよくお聞きしながら活動をと考えています。

○これまで様々な機会に意見を述べて参りました。行政はほとんど動きません。
・専門家の育成（行政こそ必要と思われます。）。
・拠点の確保。各地区福進協との情報交換、今大変必要なのではありませんか？
今回は実際に関わっている人のアンケートですから、課題や期待は多々意見が出てくると思います。「お金と人と場所」をどうやって解決し、真の地域のあり方や、支援が少しでも見えると、もっと活動ができると思います（参加者へのアンケートですが、活動を知っているのかなど、そぐわない内容もありますね。）。

○「福祉」って理論ではなく、実践の積み重ねだ。他を思いやる人の心がスタート。生活の場で他に対する思いやりは、隣近所との付合いであり、それをまとめると町会活動につながる。例えば、雪の季節になると、玄関前の除雪が不可能な高齢者住宅に対して除雪を行う。足腰が弱い高齢者のために、買物代行する。伸び放題の庭木の剪定代行等々、町会委員で構成される「お助け隊」的な組織を立上げたい。

○住民でないので、地域のことがよく分からずすみません。大人も子どもも住みよいまちづくりができればよいと思います。なかなか協力することもできずにいますが、できることがあれば参加したいと思います。

○何をするにも若い人の発想、パワーが必要。若者が参加できる組織の環境を整える。

○皆が住んで良かったと思われる地域づくりを目標に、社協でも今以上に集える企画を考えています。現在コロナ禍で「おしゃべりの家、会食会、子ども食堂」活動を停止していますが、終息後を見据えて取り組む案を模索中です。

○（問 12-3，問 12-4，問 13 含む）。新座市の地域福祉六か所を単純に北部、南部に分け、北部は在の方々が住居している。右の者、左の者、中庸の者等それぞれ混線し営みをしている。このようなまちで、なぜ、町内会単位で福祉政策、対策を行うのか不思議に思う。正に『村社会』を温存し、助長した行いと思える。現在、新座市の町内会加入者・世帯はおよそ 5 割程度と認識している。多摩地域では、小グループでの地域福祉を行い、近隣の小グループ同士が連携し集い、中グループとなり行政を中心とした『福祉』事業を行っているところがある。“在”の小グループ、“転入者”の小グループが意見・意思疎通をし、中グループとなりコミュニケーションを取れば、一方的な意見や一方的方向には進まないし、進めない。新座市も、町内会単位ではなく、この様な小グループ単位の政策を行ってみては！！

## （5）北部第一地区（37 件）

○「新座市議会だより」で、複合施設予定が三軒屋公園と東北コミセンにあると気にしておりましたが、東北コミセンを活動の場としております私のようなサークルは、この間 or これからどのようにすれば良いのでしょう？　建設するのは良いのですが、その間の手当（会場等）は宜しくお願い致します。高齢化は速度が早いです。また活動するための交通機関（バスやタクシー）も考慮して検討してください。「新座プラザ」の再開はありますか。（図書分室、学生の勉強室、老人の夏・冬の休憩所）どこへ行きましたか？　地域福祉とはそんなところからではないでしょうか？　足元の活動を大切にして下さい。新座市は最近、文化面でのサービスカットが顕著な気がします。建物は立派ですが、内容が伴ってない気がして、さみしい気

が致します。

〇私が担当している地域は交通手段が乏しく、また、バス停まで遠いので、自家用車等がない高齢者はタクシーを利用するしかなく、色々な催し等に参加したくても躊躇することが多い。今年新座市でデマンドタクシーの実証実験がされていますが、全地域に新バス等交通手段が配車され、高齢者等気軽に活動に参加できるようになれば良いと思います。

〇個人の考えを尊重して外側の人が自分の考えを押し付けない。お話し好きな人や、読書が好きな人、一人でゆっくり部屋で過ごすのが好きな人、買物や旅行も一人が好きな人や友人と一緒が好きな人。自由に選べる窓口を増やすのが大切だと思います。

〇みんなの関心・みんな参加・みんなの協力

〇個人情報保護も大切ですが、このことで活動しにくい場合がとても多いと感じますので、必要な情報はルールを作って教えてほしい。

〇防災に向けた取組がとても少ないので、年に１度ぐらいは実際に行動する。訓練を町内会中心で行ってほしい（ご近所さんの顔が見れるような。）。

〇地域生活者への福祉のあり方は、町内会や社協などの組織が包括的に世話するという発想と実績を見直し、個別具体的な集まり（協議会と組織）の中でまずニーズと対応を考える。

・子育てと教育に関する地域生活者の協議会→就学前、小中学生と別けて設定し、連絡を考える（小中学生の親の経験を活かす。）。

・高齢生活者の困り事協議会

・地域生活の防犯・防災・衛生改善に関する協議会など具体的協議をもつ。それぞれのすり合せ（あるタイミングで必須）の場が「町内会」でも良いし、福進協でもよい。

・社協はこれを地域包括で支援する担当を置く。

・今現在は、やる気も付き合い程度、能力も発揮しない（無い）町内会が慣性（力）でやっている。

・地域生活者の中から「当事者」を適宜（コレ難しいでしょうね。然しどんな背景を持つ人であれ当事者意識と積極性（やる気！）が最重要）。選択して当たってもらう。

・市がいくらか金銭的に支援すべきとすれば、町内会ではなくこれらへの参加者か、そこから出てきたアイディアの実現のため。

〇時期が悪すぎる。家でも用事がなければ出るな。長い話はするな！　要件話してすぐ帰る。そんな気持ちで仕事に追われている。

〇誰もが自分だけとは思わず、相手の立場になって考えられるような、優しさをもって行動していってほしい。

〇暮らしやすい地域と言っても、一人ひとりが違った人生を送り、価値観も違います。実際に福進協や協議体でも明らかに個人の見解のみを押し付けるような方がいます。「何のために…誰のために…」を全員が共有しなければ、どれだけ優れた人や意見があっても役に立たないと思います。自分の意見を持ち、表現することはとても大事ですが「上から発言」、特に以前から活動してきた方などは、一般の住民からすれば参加意欲が低下することを平気で言います。同じ視点で同じ立ち位置で参加できることが前進につながると考えます。また、行政や社協などの経験や情報をしっかりと活かして「目的」を明確にしてもらえればよいかと思います。

〇今後急速に高齢化が進み、「高齢者を支える側」と「支えられる高齢者側」が１対１の肩車型社会になるといわれています。そのためにも、地域包括支援センター（地域支え合い推進員を常駐させる。）、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、町内会等が情報を共有して「引きこもり」、「孤立・孤独者」、「認知症高齢者」を出さない予防対策措置を講じた「地域共生社会づくり」を目指して頂きたい。

〇「一部だけが知っている」が多い社会の改善、難しいですよね！　興味がなければ知ろうと思わないし、民生委員や社協役員の後継者のなり手がいないのもそういう事ですよね。意味がある・知りたい・時代に合っている・参加しやすい、我々「心」を動かす何かがないと、人はなかなか行動できませんよね。どの立場であっても、どの時代でも難しい！！

〇高齢者の方を支える支援の手ははとても大切で、必要不可欠ではありますが、意外と支援の手が行き届いていないのが、働きたいのに子どもがいて思うように就活ができないお母さんへの支援です。一時保育に預けて就活したいのに一時保育にさえ預けられない。ファミサポの利用は費用もかかるし…などという声を聞き

ます。それから次年度保育園に預ける予定だが、生活環境が急に変わってしまうことに対して不安を感じて気持ちが不安定になってしまう声があがっています。現に保育園が始まると必ず体調を崩して保護者の方は仕事を休まなくてはならなくなったり、お母さんも体調を崩してしまうことは、毎年ご家族の負担にもなり、保育園生活に慣れるのが遅れる原因になっています。そこでプレ保育園の設立を提案したいと思います。一時保育を保育園で行っている園はありますが、保育士の確保が難しいということがあります。各保育園はリフレッシュの方に利用していただき、プレ保育園は就労をメインで来年度保育園に預けるお子さんを対象とします。リフレッシュで保育園を利用しているご家庭は就活して仕事が決まったらプレ保育に移行していくシステムを確立させることで、保育園が一時保育を受ける負担も減りますし、移行することで枠が減るので次々に受け入れることができます。プレ保育園は４月入所に向けて保育園に預ける生活リズムと同じにしておくことで、保育者の方の不安も軽減でき、お子さんもほとんど無理なく保育園生活に入ることができます。保育士の負担も軽くなります。本当でしたら、私がそのような施設を個人で立ち上げて支援していきたいと考えていましたが、この施設は膨大な資金も必要になるので…それから建物も…となると、是非市の力をお借りして協力しながら進めていけないかと思い、思い切って提案させていただきました。検討していただけると幸いです。

○私は 87 歳後半、一応健康状態は普通。年齢とともに介護されるということは？　と心配するようになってきました。ピン・コロリで終わるのが一番の望みですが、それに近い形で終わりたい。そのために、ふれあいの家がもっと自由にいつでも、誰でも利用できるよう施設も充実し、健常者の応援も受けるよう行政のバックアップも必要かと思います。以前保健センターで月 1 回ぐらいお医者さんの講話がありましたが、できるだけ介護をあてにしないよう体力・知力の現状維持ができるようにしてほしい。

○福祉といっても、広範で理解できないので、地域福祉が推進された場合の具体例や、暮らしやすくなった地域の紹介など、わかりやすい PR を実施して理解を深めて頂くことが肝要と思われる。

○私が民生委員になっていても知らないことが多く、勉強不足で意見を書くことが難しいが…。そもそも民生委員の発足した時代の流れで、社会状況が変わっていても、厚生労働省からの任命を受けるボランティアが成立するものか疑問を感じてしまいます。引受けた限り自分自身の勉強にもなりますし、責任は感じますが、立場が難しいと思ってしまいます。「暮らしやすい地域づくり」とは違う意見になり申し訳ありません。

○個人情報保護法があることを理由に、市役所、社協、民生委員など、本来協力すべきことについて協力できていないと思います。人を救うことや助けになることなど個人個人にとって大切なことは何か考え、協力できたらよいと思います。個人情報保護法は悪用を防ぐ法律であって、利用目的や利用者が明確であれば利用方法を限定し、責任の所在を明らかにした上で、利用できるのでは。今後、利用していく工夫をしていただきたいと思います。

○社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会「ソーシャルワーク専門職である社会福祉士に求められる役割等について」（2018 年）に、「複合化・複雑化した課題を受け止める多機関の協働による包括的な相談支援体制を構築するために求められるソーシャルワークの機能」と、「地域住民等が主体的に地域課題を把握し、解決を試みる体制を構築するために求められるソーシャルワークの機能」として、計 24 の機能があります。これらを地域の中で発揮できる仕組みを地域福祉計画・活動計画で位置づけて頂きたいと思います。その中の一つに「ソーシャルワーカー自身が市域社会の一員であるということの意識化と実践化」があります。行政、社会福祉協議会の職員もまた「地域住民」である意識を醸成し、実際に地域の中で活動・実践する仕組みを整えて頂きたいと考えます。他の自治体では相当の危機意識をもって行政改革、社協改革を進めており、そうした他地域を鏡に取り組めば、自ずと地域住民側の意識や行動も変化していくと思われます（住まいと活動先の地区が別であるという人もいると思います。私がそのひとりですが、アンケートの集計で、この点踏まえ分析して頂けますと幸いです。）。

○支え合い、助け合い、困りごとのない社会。お茶会など、他人とのつながり、話し相手、相談など各イベント参加、一人で悩まない。

○今は、若い方が共働きで、町内会など横のつながりが難しくなってきました。若い方々の参加が難しく、これからは今まで通りに行かなくなると思いますので、スリム化していかないと、難しいと感じます。

○仕方がありませんが、対象が高齢者に片寄っているように思います。

○社協のふれあい会食のボランティアをしているが、更に高齢化が進んでボランティアがほとんど 80 代、招かれる高齢者の方が 70 代前半が多くなってしまった。むしろ、このボランティアの方々の集いにしてしまった方が良いのではと思う。例えば、「皆で作って食べよう」のように、お客ではなく参加者を募って皆で作る。福進協の茶話会も、単なる雑談をする会でもよいのでは…と考えるが、実際にはビンゴ、クイズ、体操など盛り沢山で、顔見知りを作ってお話をする機会にはなっていない。高齢者といっても 70 代と 80 代では、必要なものが違う気がする。地域でも、町内会、老人会の活動をいろいろやることも必要だが、援助が本当に必要な方々は、町内会にも入っていないのではないかと感じる。

○若い方の力が必要だと思います。考え方にも若い方が柔らかい発想を期待したいと思います。

○市は財政難を理由に様々な小さな福祉サービスの削減や廃止をしています。福祉の里、老人デイサービスセンターの廃止。いきいき広場、公共施設利用の制限、その他このことにより高齢者の楽しみや、活動の場がなくなり家に引きこもることになります。体を動かすことが少なくなり健康をたくし、介護保険や健康保険の使用率が高まることにつながります。目先の財政削減より、長い目でみてほしいです。交流の場や生きがいの持てる、希望を持てる新座にしてほしいです。コロナ禍の中でも、コロナエチケットと守れば、色々な活動もやっていけると思います。

○高齢者の孤立について…家族が同居していても昼間一日中一人で居ることが多いと思う。日常的に交流ができればいいと思う。

○もっと地域の人たちと交流したい。そのためにも入り口を広げて、わかりやすく誰もが参加できるように考えたい。

○事務等の使用に高齢者（65or70 歳以上）に補助する。

○空家住宅を活用し、地域の拠点として使ってもらう。

○お互い助け合いは必要ではあるが、高齢者ばかりの地域では、自分のことで精一杯、人助けが必要。色々と会を催しても、会場から離れている方はそこまで行かない、また出ていかれる方はよいのですが、そこへ出て行かない方（行かれない方）に何かよい方法はないものか。色々な会を盛り上げることもよいかも知れないが、隅にいる人間に愛の手がほしい。

○コロナ禍で民生委員の活動が見えないが、このような時こそ高齢者相談センターや、民生委員の方々、特に町会の細やかな動きに期待します。

○手助けが必要な時、全てが有料であり、年金暮らしの方にとって、たとえわずかな出費も困難な方も多いと思います。

○コロナ禍になる以前は、地域福祉について皆さん前向きに取り組んで、少しづつでも良い方向に進んでた様です。この約２年の間、活動全てストップしてしまい、後向きになってしまいました。これからまた、新たに進めていくしかないと思います。町内会、自治会やボランティア団体等、地域で活動する人と協力して、相談活動や支援活動で「支え合い、つながり合い、安心があり支え合いを支えるまち新座」の基本理念を思い出し、安心、安全、暮らしやすいまち新座を目指し前進！！

○学生や、若い家族がもう少し参加できる地域コミュニティが必要だと思う。また、横のつながりが“個人情報”の名のもとに、あまりないように感じる。もう少しだけ共有できると良い。

○福進協での話し合いの内容が、いまいち下には伝わっていない気がする。。

○地域の困りごとは、地域の自治会、老人会の方々がその地域の事を詳しくご存じと思います。その方々の力を借りて活動することが、一番の近道と思います。実際の活動は今ある社協のボランティア（有料）を活用し、地域の隅々まで活動できるように、地域ごとに社協の担当者を付けて、細部まで見えるようにしたらどうでしょうか？　これから新しい組織を作ることは、動ける方はほんの一部の方々と思います…ので、難しいと思います。それに、自治会・

老人会の方々もいろいろ考えて頂いたりすることで、生きがいになるかもしれません。

○コロナ禍で静まり返った二年目に思うこと。〈公園がにぎわっています〉日中杖をついた人、椅子を持ち同伴の老夫婦、雑木林の遊歩道を２～3 周する人。午前・午後一周ずつの人、公園のベンチで日光浴、出会った 2～3 人の語らいの場となり、健康談義や人生四方山話は、日中独り・老夫婦の皆さんの散歩の日課。お互いに元気を頂く交流の場でもあるようです。クワガタの森公園、早朝はジョギングの若者。早起きの壮年者、日中は園児と老人、休日は小学生・幼児と父親・母親、老若男女問わず犬の散歩者と皆さんに親しまれております。公園は憩いの場のみならず、自己管理による健康維持増進の場として、重要な場であることを実感し、住民として心から感謝致しております。植樹されました桜の育ちを楽しみに大切に使わせて頂きます。

○時間が足りなくて書き入れません。

## （6）北部第二地区（30 件）

○役員を三年間やらせてもらって思うことは、何と地域連携（町内会、社会福祉協議会、公共施設、学校…及び市福祉部門と市社協の連携）が悪い所かを実感しました。各地を 5 年ほど回って取材をしてきましたが、連携を上手にやっているところが、都市でも地方（かなり小規模なところ）でも、縦割りを乗り越えるためのネットワークづくりに行政がリーダーシップをとっているところがあります。上から下ではなく、コーディネーターとしての役割を果たしています。新座市にも人はいます。ぜひ工夫を！！

○私は直接福進協に参画した時、クレームばかりつけていたメンバーがいた印象があり、議題が先に進まないことが多々ありました。これは、福進協の推進に力を入れるあまりの考え方の違いがあったのかもしれません。

○何事も「0」の資金で活動できないことを感じました。どんな立派なビジョンを持ったチームでも活動費「0」ではすぐに行き詰ります。「NPO」も同じといえる。しかし、熱心な活動の源泉とも感じています。「言葉」より、直接的に「体」を動かすことが、いかに大切かを学ばさせてただいております。福祉活動は話し合いより実施（行動）と感じてます。

○北二地区の福祉推進協議会にて行われている「まったり木曜」は本当に行き場や、話する相手がいない。独り暮らしで気持ちが落ち込んでしまっている方のオアシスの様に感じています。今後も可能な限り協力をしていきたく、また地域を支えていきたいと考えています。宜しくお願いいたします。

○とにかく拠点が必要！！　そして、そこが機能的に動けるように、住民主体の福進協（協議体）を形成していけるように、人（コミュニティワーカー）の配置と予算措置を（こうしたアンケートはデータで送っていただきたい。）。

○迷惑のかからない様に、人に接することを心掛けて見回りをしたり人に話しかける。自分もいずれ福祉の方々にお世話になるかと思いますが、色々なサービスや手続きを簡単にできるようにしてほしい。

○新座市だけに限らないと思いますが、福進協メンバーの高齢化と固定化が大きな課題と感じています。ただ、日中に動けるのは高齢者で、学生や現役で仕事をしている世代は、参加できても平日の夜間か休日になるので仕方ないこととも思います。地域福祉活動は時間的、経済的に余裕のある方の方がしやすいものだと思いますし、それを実感していますが、今後いつまでこの体制が続いていられるかが心配でもあります。市外で仕事をしており、地域活動に興味はあっても、参加できる機会が限られている身としては、それでも何かできることがあるのかどうかを知りたいです。今の自分のスタイルでは、地域活動に参加する難しさしか感じられないです。地域福祉に関する取組、活動している人や団体は沢山あると思いますが、その連携、協働の体制がより進むとよいと思います。住民の側にやる気がある時に、バックアップしてくれる組織があるとよいと思います。

○難しいことばかりだと思います。皆さんのご尽力に感謝しています。

○実働するボランティアを育成することが必要と思います。色々な相談を受ける所はありますが、解消のために動く組織は設立されていません。色々な受け入れ皿体制が確立できればと思います。

○地域の福祉を進めていく上で、より多くの方が「新座市に住んでいて良かった」と思えるよう

になっていくこと。また、他の市町村からモデルとなり、一人でも多くの方が「福祉」に対しての関心を持ち、より良い生活ができるようになればと考えます。

○地域福祉推進協議会長や、町内会長等の顔写真を集会所等に大きく張り出し、地域住民に認知させると共に、活動に協調意識を芽生えさせたい。

○地域福祉のあり方について、市内部で大いに議論して頂き、施策に反映させて頂きたい。

○公的な福祉政策の重要性は言うまでもありません。福祉予算の削減は、市民の生命の危機と思います。その上で、昨今の自助・共助が要求される現実の中で、市民は戸惑っています。確かに共助・自助が必要なことは理解できています。共助組織の一つである福進協の支援のために、公的な予算をもっとつけて頂きたいと思います。学習会を作ったり、地域の支え合いの場づくりを進めたりするには、精神的にも資金的にも支えが大切と思います。地域福祉の充実が期待させる一方で、地域福祉の輪に入らない「孤立」した人が少なくないことも気がかりです。実際私は民生委員の立場で、何人かの大変な状況にある皆さんにお会いしましたが、お会いできた人はほんの一部と思います。福祉制度の実際を知らないご家族とも疎遠、町内会（自治会）にも加入していない、加入していたとしても、近所の人に声をあげることができない。…その人の存在に誰が気づくのでしょうか？現在は民生委員の活動も限定的で、ほとんどの困窮状況の人に気づかずにいるのが現状です。高齢者相談センターがとても力強く活動して下さっています。それを期待しつつ、でもそこにも声の届かない困窮状態の人がいるだろう、と思えてなりません。

○緊急事態宣言で、学校が休みになった時、公園で遊んでいたら小学校から「うるさいとクレームがきたので、公園で遊ばせないように」と通達がありました。何かがあった時に最初に犠牲になるのは、子どもたちのような弱者です。少子化を止める気があるならば、このようなことが起きない地域にしていきたいです。また、年齢が上がってできないことが増えていけば、誰もが障がい者となり得ます。世代も障がいの有無も関係なく、地域として共に暮らす人口の輪ができることを祈って活動していきたいです。

○個人情報があまりにもひとり歩きしているため、何を手伝うにしてもするにしても難しい。ちょっとしたスペースがいくつもあるとよい。話ができる高齢者は皆話がしたい、どんどんひとり者になっている、話がしたい人はどこにもい。スペースがほしい。

○地域福祉はここまでやったら終わりというところが無く、やったらやったでそれ以上のことを望む人が多いように思います。できる人ができることをコツコツ行っていけばよいと思いますが、気持ちに余裕がないとできない。人と人とのつながりがないと難しいことだと思います。地域福祉は人材発掘の難しさ、また広く、浅く、まんべんなく全員に与えられるべきものと考えます。

○新規に転居してこられる人には、地域活動の必要性や、近隣者同士の関わりを望まぬ人が多いためなのか、近隣の相互護助の面が無くなっているように思える。

○防災面での活動ができていないことが心配に思う。

○地域での問題点に行政担当者の支援が少ないことが気になる（担当者によって異なるが…。）。

○元気な高齢の介護予防や生きがい対策ではなく、要支援・要介護の高齢者や障がい者も含めた取組として考えるべき。支えはあくまでも支え・支えられの相互関係でなければ上手くいかない。

○障がいのある子を地域から分離することなく、インクルーシブな取組を保育園・幼稚園・学校、そして地域の課題として位置付け共育を拡大することで、共生を展望するべきである。

○第一次地域福祉（活動）計画の原点に戻り、地域で活動をしている住民や、専門職・民生委員の支え合いを支える者として、市や社協は、地域拠点・コミュニティワーカー及び、コーディネーターを位置づけ直してほしい。地域福祉に取り組む組織としての社会福祉協議会は、地域を中心に活動する組織として仕切り直してほしい。地域福祉におけるボランティアのコーディネーターは、日常生活の現場である地域の中にいなければ実行できない。行政や社協の実行力ある支えがなければ、住民ボランティアだけで動けるはずがない。ギリギリのところで頑張っているが、相当の無理が出ており、継続的に住民力を引き出すための行政計画が求めら

れている。地域福祉はボランティアだから、一切お金は掛けないという考えは間違っています。

○一番の課題は、福進協と協議体が一本化されていない点です。連携したくても連携できません。福進協は活発に活動をしているのですが、一部の団体の活動に見えて住民の不信感があります。協議体は担い手がいないため、ほとんど活動が行われておらず、つながりが持てません。この２つは同じ目標のように見えます。一本化して互いの欠点をなくしてほしいです。

○身近な商店街に活気を取り戻すことが地域の福祉にとっても大切なこと。一番元気な頃の商店街の役割、商店街の地域での力の発揮を知っているものとして、商店街の振興策をとってほしいと切に思います。商店街がにぎやかになれば、地域に若い力が戻ってきます。子どもたちも地域ぐるみで見守ることができます。買物困難な高齢者の日常生活も安定し、またコミュニケーションも豊かになります。地域の福祉には、地域の商店街が不可欠です。

○地域と企業のつながりについて、担当としていつも考えていますが、コロナもありなかなか活動に結びつかないところが悩みでもあります。

○35 年民生委員児童委員をやりましたが、自転車の下敷きとなり脊椎圧迫骨折で、ケアマネさんが月一回来てくれます。また近所のお隣さんが何でもしてくれます。本当にありがたいです。

○市財政の非常事態宣言について、考え直してほしい。町内会活動、主として高齢者の集まれる場所づくりを…。助成金の減額はやめてほしい。

○コロナで実質活動ができないタイミングのアンケート調査不適！

○この設問を答える人たちは町会・社協・民生委員の役員がほとんどなので、本当の回答とは思えません。今後は人選に気を付けて頂きたいと思います。

○高齢者や障がい者、生活困窮者など支える上で、福祉は必要だと思う。その上で地域で活動し、支えていくのも分かるが、行政は地域に丸投げし過ぎるように思う。行政（新座市）は、財政が危機だと言って福祉の補助等切っていて、ただ「地域で支えましょう」というのはおかしいと思う。地域で支えなさいと言うのであれば、もっと補助を福祉に使うべき！　ボランティアと言う言葉をうまく利用しているように思えてならない。

# 第３章
# 組織のあり方に関する調査

# 3-1　地域福祉推進協議会と協議体のあり方の理由（問３）

問３　地域福祉推進協議会と協議体は、共に地域福祉に関する組織となっており、組織のあり方について様々な意見が出されています。
あなたは、ご自分の地域における地域福祉推進協議会と協議体は、今後、どのように関わって活動していくのがよいと思いますか。
（※回答した選択肢に対して）その理由を記入してください。

## （1）「1　現状の形態のまま、個別に活動する」と回答した人の意見（11 件）

〇両組織の特徴を生かす。（東部第一）

〇福進協は、行事を策定し集って行事をすることで地域福祉と考えている。そこには、個人に対する意識は薄く、引っ込みがちの人をいかに参加させるという工夫もない。但し予算はある。（東部第一）

〇それぞれを補完する組織と思うため。（東部第一）

〇早い将来には、統合して共に活動できるように推進協議会の中に入れるべきと考える。法律の解釈を解決してください。（南部）

〇お互いに活動するメリットがあるため、現状でよいのではと思います。（南部）

〇各地域の意識を高めるためにも、現状のままが良いのではと思う。（北部第一）

〇設立経過及び役割が違い、特に協議体は個人情報が含まれると思うので、個別に活動した方がよいと思う。（北部第一）

〇活動内容が同じなら、改めて組織は必要ないと思う。（北部第二）

〇協議体はどこが主体で運営されて、メンバーの集め方などが不明（個人的？）。義務化されているからやっているということを聞いた。福進協で解決できないことを、協議体で社会福祉法と介護保険法では不可能では！（北部第二）

〇「3　一つの組織に統一する」「4　まだ検討する時期ではないと思う」～活動を始めたばかりのため、今後の活動への参加を行って行きたいと考えている。（北部第二）

〇現状で問題がないと思う。（北部第二）

## （2）「2　個別に活動し、両者が情報交換できる場を新たに設ける」と回答した人の意見（32 件）

〇「3　一つの組織にする」を目指して、「2　個別に活動し、両者が情報交換できる場を新たに設ける」を取り組む。（東部第一）

〇コロナ禍にあってつながりが薄れていくことの不安（東部第一）

〇情報を交換し、同じ地域福祉を目指し協力し合うことも良いと思う。（東部第一）

〇目的は同じだが、今のところ活動内容が少し違うように見える。いずれは一つの組織に複合することも必要だと思う。（東部第一）

〇協議体が色々な意見を集約し、実行に移す場合は、予算のある福進協の組織と話し合って行う方が実現しやすいのではないでしょうか。（東部第二）

〇統合することによって組織力の強化にはつながりそうだが、各々が持っている組織力（人間関係・地域性等）のよさが失われることになりそう。（西部）

〇地域によって、まちの形態が違うのがよく分かってきた。当地区は銀行員や公務員が多かったが、二世～三世は都内から行き、後にはサラリーマンが多くなった。特に商店街が調整区域のため建て直すこともできず、一部空家が増えたり、リフォームして運送・建設・外国人などの貸家が増え、町会や地域のことに参加せず、ごみ出しなどにも問題が起きてきている。また、特にあたごは 50 年たったので高齢者が増え、引っ越しや建て直しが多くなってきています。そのため、人々の交流が急速に変わってきています。これから色々と問題が多くなり、変化が激しくなりそうです。（西部）

〇内容、目的、また対象の人間は重複していると思う。（西部）

〇団体の人数が違うため、それぞれの活動の仕方があると思います。「新たに」設けなくてもよいです。（西部）

〇時には同じようなテーマを展開している。推進協が立場上、上位にあると思われる。現状で進むなら、両者の定期的に場を設ける必要あり。（南部）

○活動の方向性を共有するため。ただし現状では統合は難しいと思う。（南部）
○協議体の活動はまだ数年と理解してますので、それぞれの活動をしてから、良い点などを情報交換して一つにした方がよいと思います。（南部）
○コロナが収まった後に考えた方がよい。（南部）
○根拠となる法律が異なっても、目指すものの違いが明確じゃない。当面は個別に活動せざるを得ないと思うが、屋上屋の感も否めず、統一化を目指すべきと考える。（南部）
○最終的な目的は同じですが、担う役割ややりたいことは違うと思うので、互いに協力できればよいと思います。（南部）
○情報交換の場として新たに設けるのは難しいと思いますが、それぞれの会議の場に参加してお話を聞く形が無理がなくよいのではないのですか。（南部）
○地域福祉推進協議会はボランティアの集まりであり、無理のない範囲内で活動しているが、協議体との統合は負担を感じられる方が多くなるのではないでしょうか？（南部）
○福進協は、地区活動計画を推進するもの。協議体は個々の課題を支援解決し、課題ごとにメンバーが変わるとのこと。その課題についてよく分かる専門のメンバーが加われば、より良い解決ができると思うので、「2　個別に活動をし、両者が情報交換できる場を新たに設ける」にしました。（南部）
○それぞれがどのような組織となり活動しているのか、現状の把握ができておりませんので何とも言えませんが、住民主体であるべきと考えます。そのような協議体が作られるとよいと思います。（北部第一）
○現在は個別に活動し、お互い情報交換しながらいずれ一つの組織になるように目指したいと思います。（北部第一）
○現状だとそれぞれ…。（北部第一）
○同様な課題や取組･活動と考えられるので。（北部第一）
○町内会の役員会では、各会の代表が集まり話し合いの場所がある。（北部第一）
○有機的なつながりが必要。個別でも統合でも目的は変わらないはず。分かりやすい「方向性」を今一度検討してみてはいかがか？（北部第一）
○根拠法、役割が異なるので、統一するには多くの事を整理する必要がある。情報交換を行い、実施内容を相互補完するとよい。（北部第二）
○地域福祉推進協議会、協議体という枠にとらわれることなく、相方が連携を深め、地域社会に貢献できるような場を新たに設け、より多くの情報を得てそれを地域にフィードバックできることがよいと思います。（北部第二）
○福進協は運営委員が協議会設置要綱に基づき活動している。（北部第二）
○参加したことはないが、協議体ができたことで、そこでつながった人がいるというような話を聞いたので、今はそれぞれに活動し、連携、協力するのがよいのではないかと思う。どのような形であれ、地域の人が幅広い参加できる。参加しようと思うことが望ましい。（北部第二）
○互いに活動状況等をよく理解、重複活動等避ける。（北部第二）
○情報交換をしながら、いずれは一つに統合できるとよいと思います。２つの組織で活動するのは負担が大きいため。（北部第二）
○それぞれの得意分野を活かし、役割り分担を行って目的や目標を明確化し、情報共有できる場を設け、活動拠点を作った方がよいと思う。（北部第二）
○平和的（北部第二）

### （3）「3　一つの組織に統合する」と回答した人の意見（64 件）

○線引きが正直解らない。（東部第一）
○対象は市民なので、活動の内容が個別だと同じようなものになって、進歩がみられないと思う。一つの組織にして充実した内容になることが望ましい。（東部第一）
○地域の皆さんとのつながりや関わりが、かけ離れた組織ではないと思っていますが、具体的にはどこが違うのかよく分かっていません。あまり細かい部分のことを言われてもわからない。覚えられません。（東部第一）
○無駄を除く。活動をわかりやすくする。目的をはっきりすることで活動しやすくなる。（東部第一）
○両方に重なる問題もあり、組織として効率よく活動するため。（東部第一）
○目的は同じだと思うので、（地域福祉の発展や改善）一緒にして活動された方がいいと思います。（東部第二）

○改めて違いを読んでみて（1 頁目）、重複しているようなので一つでよいのでは？（東部第二）
○今年は会議の中止が多く、会議に出てもなかなか話が進まず、他のところと同じような話となる。（東部第二）
○地域のことについて協議する場は一つにまとめた方が、わかりやすく協議がまとまる。（東部第二）
○福進協と協議体が一つになれば、わかりやすく活動しやすいのでは。（東部第二）
○活動目的も内容も同じようであり、メンバーも重複している人が多いが、今までの経過を考えて、情報交換しながら一つに統合しても良いのではないかと思う。（東部第二）
○福進協と協議体に参加している方が主催しているので、一つの組織として活動する方がよいと思う。（東部第二）
○目指すところは地域福祉です。分けたがる意見がありますが、一つにすべきと以前から思っています。（東部第二）
○分けている理由がない。（東部第二）
○活動内容に重複している部分があるのではないか？（西部）
○協議会と協議体は活動が同じようなものがあるので、一本の木から枝分かれして共有してもよいのでは…。（西部）
○支え合い、助け合いの仕組みをつくるには、地域の助けや協力が必要だと思います。福進協には、町内会長や社協支部等が参加されているとのことなので、地域で課題が共通認識できると思う。（西部）
○地域の必要な課題は個々に解決しなくても、共有していけば良いと考えます。（西部）
○話し合う内容が似通っているように思われる。（西部）
○活動内容が近く参加者も同じ事が多い。（西部）
○構成委員も重複し、“支え合いの地域づくり”というテーマにおいても、方向性が同じであるため、より効率よく課題の検討や互いの顔のみえる関係づくりが進むと思われるため。（西部）
○同一地区なら一緒の方がよい。（西部）
○福進協と協議体の両方に入っている方が多数いるが、協議体で今何をしているかあまり言わない。それでは上手く行かないのでは？（西部）
○両方の組織に入っている人が多くいると思います。最終目標は福祉であるため、話し合って一つの組織にするとよいと思います。（西部）
○現在は机上レベルだが、両方の組織に関係した事項を協議していると、地域では全く同じ事業を展開していく様な話になってくるため。（西部）
○地域で生活する上で困っていることがあれば、組織に左右されることがなく、助け合っていければよいと思われます。（西部）
○活動の担い手が限られている中、着実な活動を継続するため、両者の情報交換を行った上で、最終的に一つの組織になるとよいです。（南部）
○合理性、効率性が向上する（予算を含め。）。（南部）
○活動の内容、メンバーの重複、分かれている意味がない。（南部）
○同じようなことをバラバラで行ってもあまり良い結果はできないのでは…。（南部）
○目的が一緒なので統一したほうがよい。（南部）
○お互いに同じようなことを目標にしているように感じます。統一の方向へ行くことを望みます。（南部）
○地域福祉の組織が多すぎる。また、活動する方も少なく、同じ活動をいくつも掛け持ちする方が多い。（南部）
○同じ地域に住んでおり、地域の中で抱える問題は同じだと思います。統合し、協力して地域に向き合うことが必要だと思います。（南部）
○コーディネート（指導・支援）する機関が異なっているが、目的、参加対象住民は重なっている。一方が一方を吸収するのではなく、いかに統合すれば住民が参加しやすい組織になるかを議論すべき。（南部）
○地域の生活者にとって優先的に必要なのは、日々の生活の中で発生する様々な困りごとへの対応と支援。既存のインフラ情報を共有し、Better to have の仕組みを考え合い、然るべき実現ルートにつないでいく。予想できる課題を考え合うことも重要。どのように 1 つの組織に統合するのか、協議体は元々上記のニーズの下に活動しているのでそれを補強する形で統合を考えるのがよいと思う。（北部第一）
○どちらも地域福祉として考えていること、目指すところは同じ内容が多い。お互いの情報、知恵、人力があればより素晴らしい組織が確立すると考えるから。（北部第一）
○同じような活動なら、一つでもよいと思う。（北

部第一）
○協議体の組織は知らなかった。共通の役割等もあり、組織を統合することで、活動の範囲が広がると思う。（北部第一）
○高齢化社会のますますの増大から組織を複雑にする必要がない。（北部第一）
○たくさんの活動に一人の人が参加していると思います。もっとスリム化すれば会議や活動にゆとりが出ると思います。（北部第一）
○統合した方が担い手不足が少し解消する？今までの拠点はそのまま続行する。（北部第一）
○関わる人材の重複が少なからず見受けられ、最終目的＝地域福祉の共通性。行政縦割りの弊害排除。市民目線で運営・活動（北部第一）
○活動の目的は同じだと思いますので、統一したほうがよりよい細かな活動ができると思います。（北部第一）
○目標を明確にし、地域住民の理解のもと、事業展開を進めていく。（北部第一）
○企業として参画させて頂いております。社協様とのコラボも行っていますが、福祉の窓口は一本化が望ましいと思います。（北部第二）
○地域福祉において、同じようなゴールを目指しているのに、各々の考え、方法で話し合いが進められており、それが一つのものとなればよりいい案だったり、活動ができるのではないかと考えるため。（北部第二）
○今のままでは、町会として協働ができません。住民のコンセンサスがとれる団体、そして活動にして下さい。（北部第二）
○同じ目的を持っているのに、分けてある理由がわからない。人手がほしいので統合するなり、力を合せるなりしたい。（北部第二）
○関わっていないとよく分からずにいる人もいます。同じような内容なら一つにするとよいと思う。参加する人も同じでは？（北部第二）
○逆に一市町村で目的とするものは同じであると思うのですが、それがなぜ２つの団体で行うのか分かりません。１つの方がより協力して行われると思うのですが。（北部第二）
○協議体メンバーが誰であるのか知らない。（北部第二）
○内容が似ているから、また細かく分けた方がよい。（北部第二）
○目的が同じなのだから、一体化が望ましい。（北部第二）
○目的は同じと思うので、二つにする必要がない。同じ団体から参加、似たような内容の会議をするのはどうか？（北部第二）
○同じ地域で同じ目的（支え合いの地域づくり）で活動しているのに一本化できていないことは、地域で活動している住民や専門機関に混乱を招き、過度な負担を強いるものである。北二福進協をまずモデル的に一本化させ、協議体メンバーが自由に各地区福進協に参画できることを前提に一本化を図ってほしい。（北部第二）
○活動内容が似ているので、個々の時間を設けて話し合いなどは有効でないと思う。ただ、すぐに統合は色々と難しい気がします。（北部第二）
○参加者も重複しているし、内容も重複していることが多いため。（北部第二）
○それぞれに不足している点は、両者の長所を補い合って一つの組織にすると、大きな力が発揮できる。（北部第二）
○福進協が積み重ねてきた主体的活動を町内会・自治会と連携するには、行政に位置づけられている協議体のコーディネート力が不可欠と思います。市民の目線、地域の独自性で尊重しながら市民の自主活動を支え、展開させていただきたいと望んでいます。（北部第二）
○おおよそ同じ目的に向かっていく上で２つの団体があるのは、時間や費用・人手の無駄なようだ。２つの団体で活動している役員さんもいるようなので、１つにするとより強力になるのではないか。（圏域不明）
○同じ活動内容であれば統一すべき。（圏域不明）
○組織を一体化することにより、多くの人の参加及び予算等の無駄を少なくできる。別々の組織で活動内容がよくわからない。（圏域不明）
○協議体は任意の人の集まりのため、実行力がない。コロナの問題もあったが、現状では何もできないと思う。（圏域不明）

### （4）「4　まだ検討する時期ではないと思う」と回答した人の意見（5件）

○新型コロナウィルス感染拡大を防ぐ観点から、制限がかかることが多く、しばらく続きそうであるため、現時点では検討できないと思う。（東部第一）
○各組織の役割が違う。今の役割分担では無理。

福進協は地域全体の活動。協議体は個々の問題解決のため、メンバーは都度集める。（東部第二）

○コロナで会議などができない。（東部第二）

○福進協は今までの活動が馴染んでるのでそのまま（年代問わない）。協議体は高齢者の分野で身近な問題解決に向けて充実させればよいと思います。コロナの状況落ち着いてからでも…。（西部）

○現況の状態が（コロナ）良好の状態にならないとどうにもならない。（北部第一）

## （5）「5　その他」と回答した人の意見（４件）

○西地区の場合は福進協と協議体が同時に作られています。このケースであれば一つの組織に統合した方が、効率がよいと思われます。（西部）

○アンケート調査（福進協と協議体は、今後どのように関わって活動していくのが良いと思いますか。）。に回答するにあたって

以前、協議体を発足させる時期、北部第二圏域には北部第二地域福祉推進協議会（北二福進協）が現に活動していた。協議体は屋上屋を重ねることになるのではないかという疑念を誰しもが持ったところですが、市の説明は、「北二福進協は社会福祉事業として実施しているものであり、協議体は介護保険法の改正に基づき実施するものであり、別物である。」との説明のもとに進められてきました。協議体は何を目指しているのか、旗振り役は誰か、誰が参加しているのかが漠としてわからない。「このような事業を進めるには、要綱なり要領があるはずだ。あるならば見せてほしい」とコーディネーターに要望したところ、要綱は平成 30 年 11 月 20 日開催第三回協議体で配布されました。要綱からは、生活支援体制整備事業の目的は地域における支え合いの仕組みづくりを推進すること、第一層協議体、第二層協議体を設置し、旗振り役はコーディネーター、第二層協議体には第二層協議体コーディネーター、地域住民、地縁組織、社会福祉協議会、地域包括支援センター、その他関係団体等（事業所）が参画している、ということが判明しましたが、それをどう使うのか検討を充分する必要があります（未だ検討されたとは承知しておりません。）。

少子化に伴い、人口減少や人手不足が問題となっています。この影響は行政のサービスだけではなく、民間企業が提供するサービスにも及び、今まさに様々な形で私たちの生活に現れています。公助から共助・自助への転換が必要です。市民の方同士が主体となり、支え合う仕組みづくりが求められています。その仕組みづくりをサポートしていくのが生活支援整備事業です。との説明をあえての理解に至らせて協議体に参加してきました。

ここで、福進協と協議体に関するアンケート調査をされるということで、新たな疑問が生じました。福進協と協議体を併設してきたが、何か不都合が生じたということなのでしょうか。市は福進協と協議体は、共に地域福祉に関する組織と考えているようですが、似たようなものを併設するからには、担当部署、地域福祉における役割分担等々、それなりの検討があってのことだと思います。検討の結果これこれの理由で併設することになったと、明確に説明する必要があると思いますが、それがなされておりません。ですから、組織のあり方について、様々な意見が出されるのは当然のことでしょう。併設せざるを得なかったことを率直に示すことがまずは大事なことだと思います。そのことがあって初めて、どのように関わっていくのがよいか、活動して行くのがよいかを考えることができるのではないでしょうか。いや、福進協と協議体は共に地域福祉に関する組織と考えると、従来の別物であるとの説明のもとに進めてきたことに矛盾が生じてしまうとの考えに到ったのではないかと思わざるを得ないのです。

以上のことを前提にして考えると、問３は回答しがたいのです。だが、あえて「5 その他（直ちに検討すべき時と考えます。）」。と回答させて頂きます。現状で進むことは避けなければならないと思います。一つの組織に統合する方向に向かうのが良いかと思いますが、そのためには乗り越えなければならない問題が多々あると思います。まずは、社会福祉協議会と地域福祉のあり方について、十分話し合って共通認識を持って頂きたいと思います。だが、悠長に時間をかけることは避けるべきです。

〈他に関する意見〉

・コーディネーターの活用について…。（コーデ

ィネーターは庁内ではなく地域に配置するのが望ましいと思います。)。

・福進協は、地域において日常的に活動する必要はないと考えておられたようですが、福進協は地域において日常的に活動する必要があるという観点に立ち、空家対策も念頭に置いて、活動の拠点を確保しやすいように支援できませんか。

・協議体は、支え合いの仕組みを考えるのであって組織ではない、との説明が従前あったが、腑に落ちません。協議体は組織ではないのですか。メンバーは課題毎に変わり、誰でも参加できるから、それを指してそう説明したのでしょうか。（西部）

〇「一つの組織に統合する」とすると軋轢を生む。後から立上げた協議体はひとまずの役目を終えたとし、そこで培ったネットワークを今後に生かし、場合によっては新たな生活団体として継続する。生活支援コーディネーターは地域福祉推進協議会を「地域福祉のプラットホーム」とするよう共に動く。（北部第二）

〇早い時期の設立は、地域からであり北二のように各町内会が柱として参加していないのは意味がない。今の任命式の設立に変わらないと、地域としての活動にならないと感じる。（北部第二）

## (6)「6　わからない」と回答した人の意見（５件）

〇西部はできてないので、ただどのような形にしても、今後の方向性や市の責任と金銭的なバックアップは必要だと思います。（西部）

〇地域福祉推進協議会があることは知っていましたが、内容はわかっていませんでした。協議体が参加していますが、今のところ進歩がないように思います。今後の課題と思います。（南部）

〇去年町内会の役員として、福祉の仕事をしましたが、コロナで福祉協議会の会議にも一度も出席できず、何もわからずにおりました。（北部第一）

〇両方の現状における関係性もあまりわかっていないため、今後について述べることは控えたい。（北部第一）

〇この数か月、北二の協議体はこの問題での話が続いている。そもそもの成り立ちが違うことや今までの福進協の活動について知ることができたが…。（北部第二）

## (7) 無回答の人の意見（５件）

〇お互いに声を掛け合って和を広げたいものですね。（東部第二）

〇共に、地域の発展について話し合い行動しているので、一つになっても良いのではないか。活動についての話し合いで、多数参加はいかがなものか？（東部第二）

〇協議体と地域福祉推進協議会の違いがわからないし、現在の協議体と同様（ほぼ）と思う。（西部）

〇実際、活動がコロナのためできていない。（西部）

〇「２　個別に活動をし、両者が情報交換できる場を新たに設ける」または「３　一つの組織に統合する」。２、３迷います。（南部）

# 3-2　その他地域福祉推進協議会と協議体の活動に関する意見

ほかに地域福祉推進協議会と協議体の活動に関するご意見があれば、ご記入ください。

## （1）地域福祉推進協議会に関する意見（54 件）

### ①東部第一地区（８件）

○会員の高齢化が進んできた。新しいイベントができない（人数が少ないため。）。
○活動の一つにうどん打ちがあるが、会場の都合で一般の参加者が数名に限られている。材料を揃える以外は、参加者がうどんを作る人、汁物を作る人としたらよいと思う。
○現在コロナで活動できないが、今後は活動を増してほしい。
○社会福祉協議会の職員の方が、組織の核となってまた裏方として熱心にやっていただいていることに感謝しています。
○福進協には限界がある。①社協に頼りすぎて住民が主でない。②何人集まるかが重要で、質については考えていない。
○他の地区がどのような活動を行っているのか、近隣市も含め参考にできたらと思うので、資料があるとありがたい。
○まだまだ地域に知られておらず、そのための活動が必要。現在はコロナ禍で無理ではあるが…。
○もっと一般人を巻き込むことがよりよい地域を作っていくと思います。

### ②東部第二地区（７件）

○イベント活動に終始している意識を変えていかないと、コロナの影響もあり、いつまでたっても活動再開の見込みは立たない。協議体と統合し、社協も生活支援体制整備事業にしっかりと組み込まれるべきと考えます。
○協議体より、ある程度の実績はあると思う。
○多数の参加が必要（一部の人のためにあるのではない。）。
○地区内における他団体、グループ等との連携をとっていきたい。そのために社協または市が働きかけをしてほしい。
○町内会、民生委員等との協議の場があれば…と思います。
○福進協は、今までの歴史があり、それを少しづつ広げていければよい。
○本来の地域福祉のあり方を理解していなく、イベントをやるのが協議会？　と思っています。何の功績を残したいのでしょうか？

### ③西部地区（８件）

○Zoom など利用して会議が行われるとよいと思います。
○現在コロナ禍で中断しているが、長い目で見て具体策予算の充実策、実行・評価策を作ることが望ましい。
○コロナ禍のため、一時休止となってからしばらく経ちますので、リモート会議などが可能であれば、少しずつでも再開の方法を検索してほしい。
○コロナ禍の中で、活動が停止してしまった感がある。この協議会は必要性のないものなのかと思ってしまった。
○西部地域は新しくて、まだ何も実績がないと思いますが、すごく進んでいる地域もあると聞いているので、別の地域の内容を共有したい。
○西部地区は新型コロナの関係で停滞中なので、早く委員会が開けることを望みます！
○西部地区は今休止中でまだ活動まで行ってません。今後どうなっていくか？
○組織にとらわれず、地域一体となって行動すべきである。

### ④南部地区（10 件）

○イベントが休止となるなか、活動を続けることが大切だと思います。
○会議は毎月あるが、いつも同じ問題でなかなか新しい意見とか話し合いが進まず、これもコロナのせいかも知れませんが、地域のお年寄りのことも考えてほしい。
○各地域の協議会の方針が一致しない。各地域の考えを吸い上げ整理し、発展させていってほしい。
○地域ぐるみで問題解決に望むことができると思います。また、地域福祉を通じて他団体との連携が取れていると思います。
○地域の町内会との連携を強めていますが、町内会同志のネットワークづくりに動き出しています（当面のテーマは防災です。）。

○地域福祉に関心を持っている方が少ない。個人情報などがあるので訪問やちょっとした手助けが難しい。
○町会、民生委員、社協支部、事業所の職員が中心になっているため、持続性が高い反面、様々な地域活動を行いたい住民やボランティアが参加しにくい実態があるように思えます。個人的には、目標があいまいになってきたため参加への意欲が低くなっています。
○まだよく内容が分かっていませんので…。
○やることが町会のことになる。メンバーが同じ、あまり知らない人は町会福進協なのか迷うことがある。
○西部地区は、コロナで活動中止状態ですが、感染防止に努め再開すべき。

⑤北部第一地区（８件）
○新しい生活様式に見合った事業展開を期待しています。
○介護予防ガイドブック活用
○活動には制限があり、どのような活動するか限られており、また参加者も限られており活動の範囲を広げるのは難しい。
○参加したいのですが、どうしたら参加できますか？　地域福祉を考える。←地域福祉推進協議会＋協議体ー参加者（住民）
○自分自身が理解できないまま関わりました。
○とにかく運営・活動を再開したい。
○予算内にできる活動を年計して実行している、と理解している。内容については詳しく知らない（周りの人も同じ）。
○リーダーを含め、何をしなければいけないのかが不明確

⑥北部第二地区（13 件）
○（運営の立場ですが。）一生懸命進めています。地域福祉は細かいところに配慮するため、時間も必要です。拠点があればもっと活動しやすいと切実に思います。
○各町会が参加してこない理由を市も協議してください。
○活動していると思う。
○協議体ができてから参加したので福進協のことはよくわからない。協議体は誰が来ても良いのが特徴なのだろうが、話し合って決まったことについてむし返す質問をしたりする人もいて話が進まない。“市民主体での支え合いの仕組”をつくることに大変さを感じる。福進協の方は「今までやってきたこと」の話、福進協があるのに協議体をやる意味は？　との話も、この雑多な集まりでは解決できないのでは？と思う。そもそもの話や、成り立ちの話は二層より上で話して決めてほしい。
○拠点の選挙事務所利用をやめるか、新しい拠点を立ち上げて下さい。経緯に縛られず、大きな気持ちで協議体を温かく包み込むことが、歴史ある団体の役目だと思います。
○子育て世代が入りやすい時間帯であってほしい。各地区に拠点があるとよい。
○コロナの終息を願っております。
○コロナ禍で孤立を深める人々の交流の機会を作りたい。「コロナ禍だから何もできない」と言ってしまえば、地域福祉の本来の目的は果たせない。その思いで、福進協はこの２年間できることをしてきました。でも、もっと多くの方が参加できるようにするには…？　課題です。
○第一次地域福祉（活動）計画では、住民のボトムアップ計画として、団体の役職の人だけでなく、広く意欲のある自主参加者の参画を認めて来たので、コミュニティワーカーを軸に事務局を構成することができ、拠点を中心に活動を広げることができた。また、推進委員は事業計画を承認し、各地域の連絡役ではあるが、各事業はプロジェクトや実行委員会として幅広い人々の参画により、柔軟な展開を心掛けてきた。第一次計画の原点に戻らない限り、住民の主体的な取組はできず、社協職員が丸抱えで身動きできない状況を改善することはできないだろう。
○熱心な役員で活動が継続されている。コロナ騒ぎで、地区全体の活動ができていないのが残念である。
○メンバーの固定化と高齢化が大きな問題と感じています。
○特定の人だけでなく、多くの人が参加できるようにすればよい。①足の不自由な人の交通手段の検討。②時間的制約の有する人、参加しやすくする工夫。③存在を知らぬ人がいる（広報の工夫）。
○マンネリになっていく。

## （2）協議体に関する意見（44 件）

### ①東部第一地区（5 件）

〇空家を利用した集まりの場を設け、週 1～2 回は近くの人がコミュニケーションをとる。子どもたちが寄合って食事したりすることも考える。

〇介護保険法の裏付けがある協議体の設置義務を市民にアピールすることが第一である。先行している福進協と同じことをやるのか何か違うのかわかりづらさがある。これを丁寧に説明する。市民に理解を得ること、そして計画的に目標を立て一歩づつ進む。

〇この団体について理解できていません。

〇まだ活動内容を理解していない。

〇緩やかなネットワークで、実現可能な取組を徐々に増していけばよいと思う。

### ②東部第二地区（5 件）

〇「住民体制」だけでなく、市や協議体（コーディネーター）はもっと具体的なビジョンを持って協議体を支援していくべき。

〇会議だけで、具体的取組があまりないように思う。

〇形から入ろうとしている住民が多く、自然に～という考えはないので話が進みません。

〇個々の問題解決するための方法、活動の仕方、メンバー集めをもっと考えるべき。

〇誰が行動するのかよくわからない。地域福祉は、ある程度リーダーが音頭を取らないと活動が難しいと思う。

### ③西部地区（8 件）

〇協議体の中で話し合れていることをもっと広くお知らせする方法があるといいと思いました。協議体の中でだけで、終わってはもったいない。そこから広げるのがそれぞれの役目とも思いますが…。

〇個々に必要であれば、やさしい手を差し延べるべきであると思います。

〇小回りが利いてよいと思います。

〇少しずつ参加する団体、ボランティアの方が増えていて、情報を共有したり理解できる場になってきている。話し合いで終わるものではないとわかっているが、どのように進めていくか周知していくかが難しい。

〇他府県と話をよく交わすので、新座市の取組は進んでいると思います。老人クラブの役員をしたり、県老連の役員（公務員）やってると、埼玉の中でもうらやましがられます。

〇誰でも参加できるのなら、町内会の掲示板とかでお知らせしたい。あまり知られていないと思います。

〇地域ケア会議等で挙がってくる地域問題についての共有と、インフォーマルセクションで何ができるかの検討の場も位置づけてほしい。

〇私を含め、参加者の中には「協議体が向かう方向（事業等）がわからない！

### ④南部地区（8 件）

〇介護保険制度を維持するとの目的が明確であり、設置義務もあるため、市の関与もそれなりになされており、今後に期待しています。しかし、今後活動を本格的なものにするつもりなら、町会等の協力が必須です。

〇介護保険法により設置が義務化されたことは了解しておりますが、今後の制度改正（悪）が不安でなりません。

〇現状、コロナ禍で活動が継続せず、間が空き過ぎ。推進・まとめることが難しい。

〇個別に活動するにあたり、協議体は地域に寄添って問題解決に向けて、皆さんが意見を出し合い、より良い方向性（集約）に導いていければと思います。

〇参加していないのでよく分かりません。

〇どのような具体的活動をしているのか不明

〇なかなか話がまとまらない様子であると伺っています。今は色々話し合うことで、今後の方向性が見つけられるのではないかと思います。

〇まだまだ皆さんの理解が足りないと思うのでＰＲ

### ⑤北部第一地区（7 件）

〇協議体があること自体知らなかった。

〇個々の課題に参加する方はどのくらいいるのか、年間活動の回数はどのくらいあるのか、よくわからないが一つの組織に統合した方がよいと思う。

〇参加しているので、予算が無いことを痛感している。然し福進協の反面教師的な話を聞くと、予算が無いことが奏功して「知恵の出し合い」「利用できる資源情報」の持ち合いが活発だと感じる。必要な予算はアイデア次第だろうし、協議体は「行動隊」ではないと思われるので、

アイディアをきちんとつなげるその先に必要経費･予算が用意されればそれでよいのかもしれない。
○知名度の向上を図る PR を実施してください。
○防災マップ、ハンドブック活用
○毎回、集まることは大切であるが、中身が伴っていないように感じます。
○予備知識のある方が関わっている。

⑥北部第二地区（11 件）
○活動が不明瞭である。情報を発信してほしい。
○以前何度か一市民として参加していましたが、専門的な知識もないので、有識者の方々の中ではなかなか発言しにくい雰囲気があり、参加するのをやめてしまいました。もっとアットホームな雰囲気になればと思いました。
○各町会内で賄わないと間に合わないのが現状なのでは…。ボランティアは難しいと感じる。
○北二地区協議体の今後の活動案を拝見したところ、まち歩きなどすでに北二福進協が実施しているものが多い印象である。協議体だけに参加される人には、ぜひ北二福進協の事業に参加（少なくとも見学）してほしい。
○コーディネーターさんの力で、地区内の福祉資源を見やすく示していただきました。協議体に参加することで、限定的ですが、地区内の組織の活動を知ることができ、有意義な情報交換もできました。それらは身近な組織（自治会や社協支部）でも活かしています。
○参加してまだ日は浅いけれど、大切さは理解しています。
○参加しない者には、協議体で行われていることのイメージが湧きにくい。市 HP で協議体の連絡や資料などが見られるのはとてもありがたいです。
○生活支援体制整備事業は、介護保険を財源としているが、新座市においては地域福祉の取組としてやっていくことは、市長が議会でも答弁し、介護保険課から福祉政策課に移した経過がある。自由参加を掲げているが組織の体はなしていない。生活支援コーディネーターを軸に、社協と高齢者相談センターのみがはっきりした構成員として位置付いているだけで、何をやろうとしているのか見えてこない。他の自治体とは異なり、既に６地区に福進協を設立されている新座市の場合、福進協を軸に生活支援コーディネーターが活動する以外に存在意義はないと思う。
○町会の役員を退任後、全て動向がわからない。
○何かと思うが、具体的にできることがわからない。
○福進協との活動連携を考えて一本化の道を検討して下さい。

## （３）地域福祉推進協議会及び協議体の両方に関すること（46 件）

### （1）東部第一地区（５件）
○個人に対してどれだけ寄添えるかが考えること。住民を面で見てはいけない。空き家を上手に活用する知恵が不足している。
○互いに協力し合いできることを住み分けていけばよいのではないか。
○活動の PR をもっとすべきと思います。
○拠点と地域常駐のコーディネーターを置き、両方が一緒になり、それぞれの活動をすればよいと思う。
○両方とも正直参加が少ない。

### （2）東部第二地区（５件）
○協議の場は一つの方がよい。
○町会の活動と似ており、特色が出せていないと感じる。
○一緒になればよいと思う。
○実行力が必要だと思う。
○一つにすべきと思います。

### （3）西部地区（８件）
○高齢者の相談が多くなり、高齢者相談センターへの負担が多くなってきているのでは、もっと窓口を広げては…。
○地域住民の困り事を吸い上げるにはどうしたらよいか？　この吸い上げ方法を、まず考えねばならないと思います。
○特に関連がないことですが、民生委員がほとんど仕事がないのに依然と地域の中で回し役で選ばれ、その人たちは自分の地域外の世話をしているので全くわからないと言っています。ほとんど高齢相談センター（新座市受託）が細かく把握しているので、そろそろ解散した方がよいと思います。
○完全な統合とまではいかないとしても、テーマ

や分野を軸にした分科会のような形にして、互いの関連性、連携体制を作ってほしい。

○コロナが落ち付かないとどうしようもない。安易に一緒にしない方がよいと思います。福進協は大きいイメージ、協議体は身近な細やかなイメージです。

○一つにまとまり、福祉社会として弱者に対応すべきであると思われます。

○同じようなことをするのですが、西部地区は今協議体のみなので、これを土台にできていけるのでは…と思います。

○まだまだ両会とも認知度が低いと思います。
例）知人に「両会へ参加しています」と言っても「何の会ですか？」とよく言われます。
案）市の広報誌等を利用して PR してみる！
集会所等で説明会を実施する！

（4）南部地区（6 件）

○常に困りごとを発信し、対応してもらえるところを増やし、皆さんの不安を少しでも解消できたらよい。開いてもらえるだけでもよいと思う。

○お互いですが、活動の中身が見えにくく、特に後に組織にされた協議体は広報もないため、一般市民にもわからない。また、協議体からは地域福進協の活動が見えないと思われます。

○活動される方の呼びかけ。

○問３でも回答しましたが、それぞれの組織がもつネットワークや経験を共有することで、また違うものが見えたりできたりすることがあるので、交流の場があるのはよいと思います。

○一長一短があると思われます。現状は個々に活動をして、先行き両者で検討した上で統合するという一案もあるのではと思います。

○推進協・協議体とも、それほど大きな活動になっていないので、今のところ各々ができる範囲のやり方で、活動する方がやりやすいと思います。しかし、活動する住民にとって、戸惑いが起こらないよう負担が掛からないようマネジメントをお願いします。

（5）北部第一地区（6 件）

○協議体活動で、地域住民で共有の価値ありと用意した情報の共有が、進言しても町内会で積極的に行われない。福進協の活動ポリシーと被るところがあり、町内会長はそちらに参加しているので、何やら確信があるやに聞く。上手な交通整理（町内会－福進協－協議体）が必要

○社会福祉協議会、協議体など知らない人も多い。

○組織をつくるのみでなく、機能の統合を図り合理化すべきである。コロナ禍を契機に活動の統合を図ってほしい。

○お互い組織の壁を乗り超える努力をしてほしいです。

○市民に活動の情宣をして、市民の皆さんがボランティアとして活動に参加して、輪が広がっていけばよいと思う。

○住民が自発的に事を行うことは非常に難しい。社協の地域福祉に関する経験と情報をもう少し活用できないか？

（6）北部第二地区（16 件）

○問３に記述の通りです。地域に貢献できることを色々アドバイス頂きたいと思っています。

○過去の歴史的な経緯を乗り越えて、共に地域を作る団体として、手を携えることに挑戦してください。

○北二をモデルに統合した形で今後を模索してはどうか？！

○広報にも時々両者の動向、情報を市民に伝えて頂きたい。

○大学生もたくさん参加する工夫が必要

○地域の人々により、近づいた関係を作り上げていかなければ、ただ会議を開いて終わりになります。

○力を合せて、コロナで暗くなったまちを明るく灯したい。

○北二は難しいことが多いと感じる。

○集会所やふれあいの家を活用し、集いの場や体操のできる場が広がっていけるとよいと思います。各地区に…。

○専門職（ソーシャルワーカー等）が地域住民と共に縦割な領域分野を超えて、動く仕組み、意識が無ければ、身近な支援体制も住民主体の地域づくりも十分に進まないのではないでしょうか？　また、市町村域の総合相談支援機能の講習と併せての「地域づくり」が必要と考えます。

○福進協と協議体が住民や専門職の分裂を抱かないように、頑張って両方に参画してきたが、行政や社協の都合で振り回され、両方に顔を出すほど暇ではない。地域で頑張っている住民や専門職・民生委員等が、主体的に力を合せ、消耗しないような支援方法を考えてほしい。

〇二つの組織は名称が違うが、活動内容は重複（似ている）している部分があるので、一つの組織でもよいのではないのか。
〇両者の良さを組み合わせることで、もっと地区内の活動は広がり、多くの人や組織とつながったものになると思います。連携、そして将来両者が一つの形になることを期待しています。
〇両方の力を組み合せると、今よりずっと大きな力を発揮できると思います。
〇無駄を省き、効率よく運営し参加者を多くする工夫が必要
〇実行性のある地域福祉推進協議会と、法的な裏づけがあるが実行力がない協議体は、組織を一本化することが望ましい。メンバーもかなりダブっている。

# 第４章
# 社会福祉事業者調査

# 4-1　巻末自由記入

最後になりますが、本市の地域福祉について、ご意見やご提案等がありましたら、自由にお書きください。

## （1）高齢者福祉や介護保険に関わる事業者の意見（14 件）

○高齢化が進行する中で、ごみ出し・受診等の介護保険での支援が難しい事例が増えている。

○コロナ禍でストップした地域の活動が再開され、より充実したものになることを願っています。

○金銭的に余裕のない人がこんなに多いとは思わなかった。働ける人が働けるよう市に採用枠を設けていくとか、仕事を作っていくとかできるようにしてほしい！　金銭的に自立することが大事。生保の方々は特に必要

○交流できる場をもと作ってほしい。

○たいした活動参加をしていないのに申し訳ございませんが、地域福祉推進協議会と協議体との区別がわかりません。住民の生活支援という観点からすると区別する必要があるのでしょうか。

○包括主体の研修や地域の取組がわかりづらい。また相談しづらいです。

○居宅のケアマネの使命として、地域の様々な情報を利用者や家族に提供していくことは必須と思います。協議体への参加も、いつもは難しくても年に数回は顔を出し、情報交換などをしていきたいといつも思っていますが、なかなか実現できずにいます。

○地域密着型施設として、地域に貢献しきれていないもどかしさを抱えております。職員体制が整ってきたら何かお役に立てればと思います。よろしくお願いします。

○看取りの家を作るための行政支援等があったら知りたい。

○自治会、民生委員、社協有償ボランティア等もう少し横のつながりの道を作り（協議体も含め。）活動されるともっと良い活動になると思います。

○新座市の現状について知りたいです。それを踏まえて活動目標を立てたいです。

○もっとPRすべき！

○高齢者福祉サービス等削減になってしまい残念です。市の協力体制が充実してこそ地域での社会福祉が活性化するものと考えます。

○福祉用具取扱い事業ですので、提案というより事業として協力できることを願っています。

## （2）障がい者（児）福祉に関わる事業者の意見（6 件）

○いつもお世話になっております。新座市の皆様にはいつも大変よくして頂き感謝しております。これからも新しいことにチャレンジしたり、支援の質の向上に注力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

○市の財政非常事態宣言に伴い、福祉に関わる多くの事業が後退し、障がい者などに影響を及ぼしています。これら影響を受けた福祉施策について、復活等の道筋を計画策定の中で明らかにしていただきたい。

○コロナ禍の中では難しいところですが、様々な事業所との連携を深め、情報共有をするための会があれば良いと思います。

○社会福祉事業所が増えているので、連携してできることも見つけていきたい。また地域福祉の質の向上を目指したい。

○福祉が細分化されていってわかりにくくなっていると感じます。窓口を減らしてそこから各所へつなぐコンシェルジュ的な役割ができたらと思います。

○福祉は地域との連携は必要ではあるが、現在は職員体制が厳しく、法人の事業を継続するだけとなっています（現在 65 歳以上の方を２名ほど雇用しました。）。

## （3）児童福祉や子育て支援に関わる事業者の意見（4 件）

○児童福祉施策があっても障がい児や気になる子の受け入れをしていない園もある。市全体で障がい児に関する保育園等のあり方を考えるべきだと思う。

○新座市地域福祉計画・社会福祉協議会福祉活動をもっとアピールして下さい。

○健康教室を行っていますが、市の方で幅広くお知らせしていただけたら嬉しいのですが。

〇志木街道、ふるさと新座館と野火止用水公園の間の横断歩道は、渡ろうと待っているのにスピードを出している車が多くて渡るのに苦労してます。

## （4）種類が不明な事業者の意見（1件）

〇各地区に地域や事業所、協議会や協議体をつなぐ地区常勤のコーディネーターのような人が必要である。

# 新座市の地域福祉に関するアンケート
# に係る記入回答

― 令和４年８月発行 ―

発　　行：新座市
　　　　　社会福祉法人　新座市社会福祉協議会
編　　集：新座市 総合福祉部 福祉政策課
〒352-8623　埼玉県新座市野火止一丁目１番１号
Tel　048-477-1111（代表）
Fax　048-477-1590
メール　fukushi@city.niiza.lg.jp